

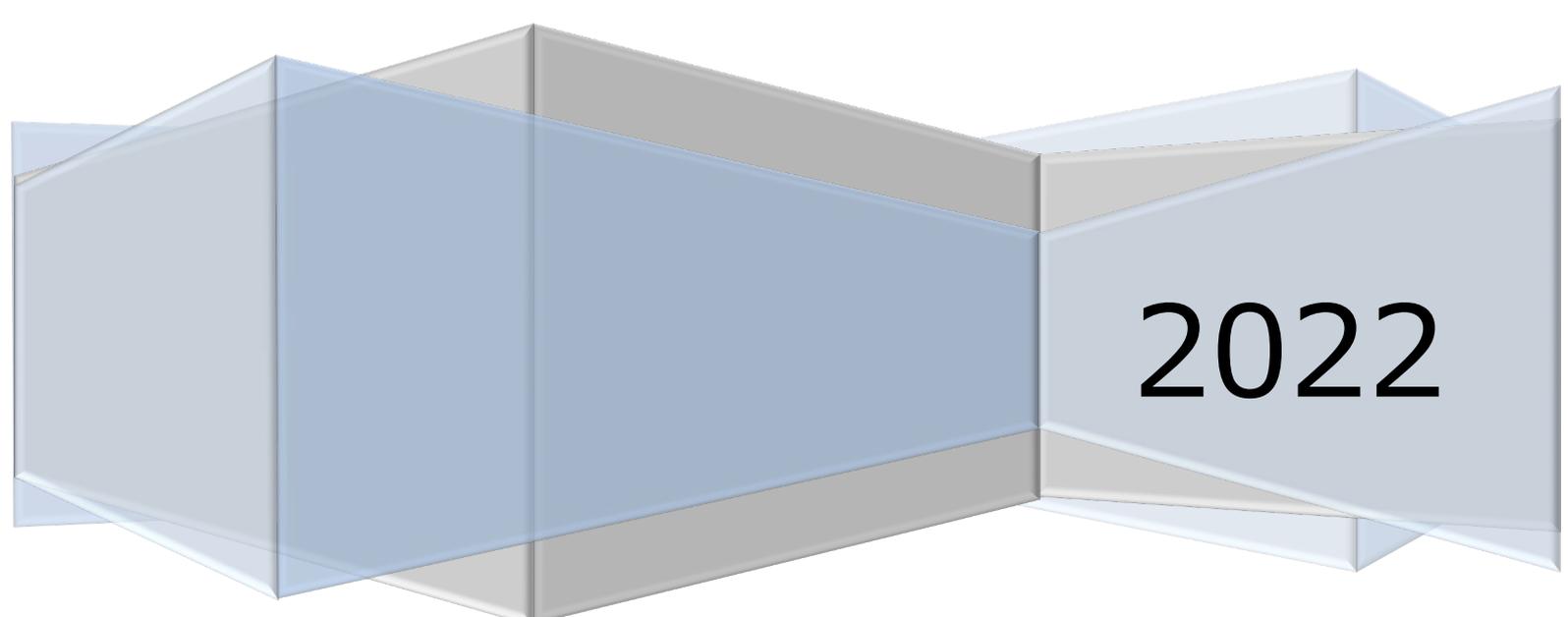
東京医科歯科大学教養部

教 育 要 項

－ 教養教育 －

医学部医学科 2・3 年

歯学部歯学科 2・3 年



2022

目次

2022年度医歯学融合教育（教養教育）	1
教養教育	2
生命科学基礎	3
生命科学基礎（化学 A）	4
生命科学基礎（化学 B）	6
生命科学基礎（生物 A）	8
生命科学基礎（生物 B）	10
主題別選択 I・II	18
主題別選択 I（科学と疑似科学の境界）	19
主題別選択 I（環境への適応）	21
主題別選択 I（物理数学演習）	23
主題別選択 I（生命科学と技術）	24
主題別選択 I（生命科学と医学）	25
主題別選択 I（食品の科学）	26
主題別選択 I（生物の中の糖）	28
主題別選択 I（宇宙と生命）	30
主題別選択 I（生物間のコミュニケーション）	32
主題別選択 I（医療の社会学）	34
主題別選択 I（ヒトの脳と言語）	36
主題別選択 I（現代社会と時間）	38
主題別選択 I（ドコモロジーと人間）	40
主題別選択 I（植物の科学）	42
主題別選択 I（昆虫にみられる社会性の進化）	44
主題別選択 I（昆虫の社会性の維持機構）	46
主題別選択 I（中国語と中国文化）	48
主題別選択 I（中国社会の現在）	50
主題別選択 I（微分方程式演習）	52
主題別選択 I（タンパク質科学の光と影）	53
主題別選択 I（危険物の科学）	55
主題別選択 I（老化と寿命）	57
主題別選択 I（民主主義を再考する）	59
主題別選択 I（英語で学ぶヒトの脳と言語）	61
主題別選択 I（医歯系のための物理）	63
主題別選択 I（人体・医療の物理）	65
主題別選択 I（Explorations in Literature Philosophy and Science）	67
主題別選択 I（Understanding Language and Society）	69
主題別選択 I（小説の言語と演劇の言語）	71
主題別選択 I（発がんと確率過程）	73
主題別選択 I（視覚情報と言語）	74
主題別選択 I（数理で理解する発がん）	76
主題別選択 I（外国につながる多様な人々と医療）	77
主題別選択 I（外国につながる多様な人々と教育）	79
主題別選択 I（医療行動経済学における患者の意思決定）	81
主題別選択 I（医療行動経済学における医療者の意思決定）	83
主題別選択 II（Explorations in Literature Philosophy and Science）	85
主題別選択 II（Understanding Language and Society）	87
主題別選択 II（科学と疑似科学の境界）	89
主題別選択 II（環境への適応）	91

主題別選択Ⅱ（物理数学演習）	93
主題別選択Ⅱ（食品の科学）	94
主題別選択Ⅱ（生物の中の糖）	96
主題別選択Ⅱ（宇宙と生命）	98
主題別選択Ⅱ（生物間のコミュニケーション）	100
主題別選択Ⅱ（医療の社会学）	102
主題別選択Ⅱ（ヒトの脳と言語）	104
主題別選択Ⅱ（植物の科学）	106
主題別選択Ⅱ（現代社会と時間）	108
主題別選択Ⅱ（ドロモロジーと人間）	110
主題別選択Ⅱ（昆虫にみられる社会性の進化）	112
主題別選択Ⅱ（昆虫の社会性の維持機構）	114
主題別選択Ⅱ（微分方程式演習）	116
主題別選択Ⅱ（タンパク質科学の光と影）	117
主題別選択Ⅱ（生命科学と技術）	119
主題別選択Ⅱ（生命科学と医学）	120
主題別選択Ⅱ（危険物の科学）	121
主題別選択Ⅱ（老化と寿命）	123
主題別選択Ⅱ（民主主義を再考する）	125
主題別選択Ⅱ（英語で学ぶヒトの脳と言語）	127
主題別選択Ⅱ（中国語と中国文化）	129
主題別選択Ⅱ（中国社会の現在）	131
主題別選択Ⅱ（医歯系のための物理）	133
主題別選択Ⅱ（人体・医療の物理）	135
主題別選択Ⅱ（小説の言語と演劇の言語）	137
主題別選択Ⅱ（発がんと確率過程）	139
主題別選択Ⅱ（視覚情報と言語）	140
主題別選択Ⅱ（数理で理解する発がん）	142
主題別選択Ⅱ（外国につながる多様な人々と医療）	143
主題別選択Ⅱ（外国につながる多様な人々と教育）	145
主題別選択Ⅱ（医療行動経済学における患者の意思決定）	147
主題別選択Ⅱ（医療行動経済学における医療者の意思決定）	149
主題別人文社会科学セミナー・講義	151
医学科・歯学科（3年生）：主題別人文社会科学セミナー・講義スケジュール	152
人文社会科学講義（医療と社会人文社会科学講義（医療と社会）	153
人文社会科学講義（医療と法）	155
主題別人文社会科学セミナー（文化と人間）	157
主題別人文社会科学セミナー（生命と人間）	159
主題別人文社会科学セミナー（言語と人間）	161
主題別人文社会科学セミナー（制度と人間）	164
主題別人文社会科学セミナー（時間と人間）	166
東京医科歯科大学全学共通科目履修規則	169

2022年度医歯学融合教育(教養教育)

2022年度医歯学融合教育(教養教育)												
● 医学科・歯学科(2年生)					● 医学科・歯学科(3年生)							
月日	曜日	回数	1時限(9:00~9:50)	2時限(10:05~10:55)	3時限(11:10~12:00)	月日	曜日	回数	1時限(9:00~9:50)	2時限(10:05~10:55)	3時限(11:10~12:00)	
4月7日	木	1	生命科学基礎(生物) (医学科・歯学科2年生対象) Zoom	主題別選択Ⅰ(前半) (医学科・歯学科2年生対象) Zoom		4月7日	木	1		主題別選択Ⅱ(前半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom	主題別人文社会科学セミナー (前期・前半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom	
4月14日	木	2										
4月21日	木	3										
4月28日	木	4										
5月5日	木	祝	子どもの日									
5月12日	木	5	生命科学基礎(生物) (医学科・歯学科2年生対象) Zoom	主題別選択Ⅰ(前半) (医学科・歯学科2年生対象) Zoom		5月12日	木	5		主題別選択Ⅱ(前半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom	主題別人文社会科学セミナー (前期・前半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom	
5月19日	木	6										
5月26日	木	7										
6月2日	木	8										
6月9日	木	9										
6月16日	木	10		主題別選択Ⅰ(後半) (医学科・歯学科2年生対象) Zoom		6月16日	木	10		主題別選択Ⅱ(後半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom (6/16はオンデマンド)	主題別人文社会科学セミナー (後期・後半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom (6/16はオンデマンド)	
6月23日	木	11										
6月30日	木	12										
7月7日	木	13										
7月14日	木	14										
7月21日	木	15				7月21日	木	15				
8月25日	木	予備		主題別選択Ⅰ(予備日)		8月25日	木	予備		主題別選択Ⅱ(予備日)	主題別人文社会科学セミナー (予備日)	
9月1日	木	/		対面試験	対面試験							
9月8日	木	予備	生命科学基礎(生物・予備日)									
9月15日	木	1	生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) Zoom			9月15日	木	1			主題別人文社会科学セミナー (後期・前半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom	
9月22日	木	2										
9月29日	木	3										
10月6日	木	4		専門科目								
10月13日	木	5					10月13日	木	4			主題別人文社会科学セミナー (後期・後半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom
10月20日	木		専門科目									
10月27日	木	6	生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) Zoom		解剖体追悼式	10月27日	木	6				
11月3日	木	祝	文化の日									
11月10日	木	7	生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) Zoom (11/10・12/22はオンデマンド)			11月10日	木	7			主題別人文社会科学セミナー (後期・前半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom	
11月17日	木	8										
11月24日	木	9		主題別人文社会科学セミナー (後期・後半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom (11/17はオンデマンド)			11月17日	木	8			主題別人文社会科学セミナー (後期・後半) (医学科・歯学科3年生対象) Zoom (11/17はオンデマンド)
12月1日	木	10										
12月8日	木	11										
12月15日	木	12										
12月22日	木	13										
1月12日	木	14										
1月19日	木	15										
1月26日	木	予備			生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) 予備日			1月26日	木	予備		
2月2日	木	/	対面試験	対面試験								
2月9日	木	/	対面再試験	対面再試験	対面再試験							

教養教育

教養教育

世界に通用する医療人になるためには、専門教育で獲得する知と技に加えて、様々な文化や多様な世界を理解できる教養と、他者を理解するための人間としての力が求められています。教養部では、そのためには、教養教育と、専門教育を学ぶための基礎教育を並行して行うことが必要だと考えています。

1年次には国府台キャンパスで、自然科学や人文社会科学の基本的な考え方を学ぶとともに基礎学力の充実を図りました。2年次と3年次には湯島キャンパスで、専門教育と密接にかかわる自然科学の分野を「生命科学基礎」として学びます。さらに、自然科学、人文社会科学、語学について複合的に学ぶことをとおして、自己問題提起・解決型の想像力を付けることを目的とした、「主題別選択Ⅰ・Ⅱ」と「主題別人文社会科学セミナー」の授業が行われます。

科目概要

1) 生命科学基礎（生物学・化学）

1年次の学習だけでは不十分であった生物学、化学の内容を補うとともに、生命科学に関するトピックも取り上げ、医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学ぶことで、基礎学力のさらなる充実を図り、専門教育への円滑につないでいくことを目的としています。

2) 主題別選択Ⅰ・Ⅱ

「人間」という存在について、人間を生物的社会的存在たらしめている要素である「文化」「生命」「言語」「制度」「時間」という5つの視点の中から各自が1つの視点を選択し、その視点から「人間」を考えてみる授業です。3年次に行われる「主題別人文社会科学セミナー」へ向け、視野を広げ、基礎的な知識や考え方を身につけることを目的としています。

3) 主題別人文社会科学セミナー

各主題に別れて、担当者の指導のもと、自ら問題を設定し、調査・考察・討論を経て、一定の結論を導きます。自分が選択した主題の観点を中心に、「人間」という存在について、自分の考えを持つことが期待されています。

生命科学基礎

時間割番号	000501																																																																																		
科目名	生命科学基礎(化学 A)	科目 ID	LA-210401-Z																																																																																
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO]																																																																																		
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2																																																																																
実務経験のある教員による授業																																																																																			
<p>・曜日・時間: 木曜1限</p> <p>・対象学科: 医学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																																																																			
主な講義場所 医学科講義室 1、共用講義室 2																																																																																			
授業の目的、概要等 1年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。																																																																																			
授業の到達目標 生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができる。 試験時の問題演習を通して、7割程度の理解ができていれば、GPAにおける「B」に相当する。																																																																																			
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/15</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>2</td><td>9/22</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>3</td><td>9/29</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/6</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/13</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>6</td><td>10/27</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/10</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/17</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>9</td><td>11/24</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/1</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/8</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/15</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>13</td><td>12/22</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/12</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/19</td><td>09:00-09:50</td><td></td><td>奈良 雅之, 澤野 頼子</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/15	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子	2	9/22	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子	3	9/29	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子	4	10/6	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子	5	10/13	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子	6	10/27	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子	7	11/10	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子	8	11/17	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子	9	11/24	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子	10	12/1	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子	11	12/8	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子	12	12/15	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子	13	12/22	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子	14	1/12	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子	15	1/19	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	9/15	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																															
2	9/22	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																															
3	9/29	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																															
4	10/6	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																															
5	10/13	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																															
6	10/27	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																															
7	11/10	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																															
8	11/17	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																															
9	11/24	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																															
10	12/1	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																															
11	12/8	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																															
12	12/15	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																															
13	12/22	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																															
14	1/12	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																															
15	1/19	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																															
授業方法 主に講義形式で授業を行いますが、適宜、演習、ディスカッションなどアクティブラーニングを取り入れます。																																																																																			
授業内容 第1週から第10週はクラス分けなしで生命科学に関する生体高分子、反応速度論を学習します。 第11週から第15週は学科別で医学、歯学に関連した化学に関するトピックを学習します。																																																																																			
成績評価の方法 評価: 試験 100% ・レポート0% その他(授業中の回答状況等も考慮される。) 再評価: 有 再試験																																																																																			

<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習:授業で行う項目について、講義資料(WebClassに掲載)、教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。 復習:授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験(考査)・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席</p>
<p>教科書</p> <p>生体分子化学/秋久俊博, 長田洋子 編,秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊幸, 宮澤三雄 著.: 共立出版, 2008 反応速度論/真船文隆, 廣川淳著,真船, 文隆,廣川, 淳.:裳華房, 2017</p>
<p>参考書</p> <p>マクマリー有機化学(下)/JOHN McMURRY/著,伊東椒/訳者代表,児玉三明/訳者代表,McMurry, John,伊東 椒,児玉:東京化学同人, 2017 アトキンス生命科学のための物理化学/Peter Atkins, Julio de Paula 著,稲葉章, 中川敦史 訳.:東京化学同人, 2008 ライフサイエンス系の高分子化学 新版/宮下 徳治 (編著):三共出版, 2010 数学いらずの化学反応論: 反応速度の基本概念を理解するために/齋藤勝裕著,齋藤, 勝裕.:化学同人, 2009 一般化学/Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳,Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一國, 雅巳, 1930-,.:オーム社, 1995</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>生命科学基礎の評価は、生物学、化学の総合評価で行う。前期の定期試験では化学、後期の定期試験では生物学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階</p>

時間割番号	000502			
科目名	生命科学基礎(化学B)	科目ID	LA-210402-Z	
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行 [NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO, KATSUMATA TOSHIYUKI]			
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける 				
主な講義場所				
共用講義室 2、医学科講義室 1				
授業の目的、概要等				
1年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。				
授業の到達目標				
生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができる。 試験時の問題演習を通して、7割程度の理解ができていれば、GPAにおける「B」に相当する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	9/15	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
2	9/22	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
3	9/29	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
4	10/6	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
5	10/13	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
6	10/27	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
7	11/10	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
8	11/17	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
9	11/24	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
10	12/1	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
11	12/8	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
12	12/15	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
13	12/22	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
14	1/12	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
15	1/19	09:00-09:50		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行
授業方法				
主に講義形式で授業を行いますが、適宜、演習、ディスカッションなどアクティブラーニングを取り入れます。				
授業内容				
第1週から第10週はクラス別なしで生命科学に関係する生体高分子、反応速度論を学習します。 第11週から第15週は学科別で医学、歯学に関連した化学に関するトピックを学習します。				
成績評価の方法				
評価: 試験 100% ・レポート0% その他(授業中の回答状況等も考慮される。)				
再評価: 有 再試験				

<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習:授業で行う項目について、講義資料(WebClass に掲載)、教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。 復習:授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験(考查)・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席</p>
<p>教科書</p> <p>生体分子化学/秋久俊博, 長田洋子 編,秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊幸, 宮澤三雄 著.: 共立出版, 2008 反応速度論/真船文隆, 廣川淳著,真船, 文隆,廣川, 淳.:裳華房, 2017</p>
<p>参考書</p> <p>マクマリー有機化学(下)/JOHN McMURRY/著,伊東椒/訳者代表,児玉三明/訳者代表,McMurry, John,伊東 椒,児玉:東京化学同人, 2017 アトキンス生命科学のための物理化学/Peter Atkins, Julio de Paula 著,稲葉章, 中川敦史 訳.:東京化学同人, 2008 ライフサイエンス系の高分子化学 新版/宮下 徳治 (編著):三共出版, 2010 数学いらずの化学反応論: 反応速度の基本概念を理解するために/齋藤勝裕著,齋藤, 勝裕.:化学同人, 2009 一般化学/Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一國雅巳 訳,Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一國, 雅巳, 1930-,.:オーム社, 1995</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>生命科学基礎の評価は、生物学、化学の総合評価で行う。前期の定期試験では化学、後期の定期試験では生物学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室</p>

時間割番号	000505			
科目名	生命科学基礎(生物 A)	科目 ID	LA-210403-Z	
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]			
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜 1 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。 				
主な講義場所				
3 号館、医学科講義室 1				
授業の目的、概要等				
1 年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスを取り上げることにより、専門教育の基礎となる部分を学習する。また、医歯学の専門と関わる教育の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。				
授業の到達目標				
1) 医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。				
2) 生命科学の基礎的な分野について必要に応じて自学自習を行い、理解を深めることができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	09:00-09:50		伊藤 正則
2	4/14	09:00-09:50		伊藤 正則
3	4/21	09:00-09:50		伊藤 正則
4	4/28	09:00-09:50		伊藤 正則
5	5/12	09:00-09:50		伊藤 正則
6	5/19	09:00-09:50		伊藤 正則
7	5/26	09:00-09:50		伊藤 正則
8	6/2	09:00-09:50		伊藤 正則
9	6/9	09:00-09:50		伊藤 正則
10	6/16	09:00-09:50		伊藤 正則
11	6/23	09:00-09:50		伊藤 正則
12	6/30	09:00-09:50		伊藤 正則
13	7/7	09:00-09:50		伊藤 正則
14	7/14	09:00-09:50		伊藤 正則
15	7/21	09:00-09:50		伊藤 正則
授業方法				
基本的には講義形式による。アクティブラーニングとして、毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。次の講義においてこの問題点に対する答えを教員が説明する。また、課題を出す。その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。				
授業内容				
生命科学のトピックスを取り上げ、基本的な知識とその知識の発展性・応用性を説明する。				
成績評価の方法				

<p>評価:試験による。生物学と化学の総合的評価による。前期の定期試験では生物学、後期の定期試験では化学の試験を行う。</p> <p>試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。</p> <p>再評価:有</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>アクティブラーニングとして、知識が体系的になるようにノートを整理する等の複習を行うこと。質問があればアクションペーパーに記入すること。次週の授業で教員が質問に答える。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>2/3 以上出席したものに試験の受験資格を与える。</p>
<p>教科書</p> <p>必要に応じて参考資料を配布する。</p>
<p>参考書</p> <p>時間生物学の基礎／富岡憲治, 沼田英治, 井上慎一 共著,:裳華房, 2003</p> <p>よくわかるゲノム医学 : ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部成介, 水島-菅野純子 著,菅野純夫 監修,:羊土社, 2016</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムで出欠を記録する。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>itohmt.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室</p>

時間割番号	000506			
科目名	生命科学基礎(生物B)	科目ID	LA-210404-Z	
担当教員	服部 淳彦[HATTORI ATSUHIKO]			
開講時期	2022 年度通年	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学 力・思考力を身につける 				
授業の目的、概要等				
1年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスである『時間生物学・時間医療科学』を取り上げるにより、専門教育の基盤を学習する。また、医歯学の専門の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。				
授業の到達目標				
1) 医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックス(特に時間生物学)について理解し、説明することができる。 2) 生命科学の基礎的な分野について自学自習を行い、理解を深めることができる。 これらが7割できればGPAにおける「B」に相当する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	09:00-09:50		服部 淳彦
2	4/14	09:00-09:50		服部 淳彦
3	4/21	09:00-09:50		服部 淳彦
4	4/28	09:00-09:50		服部 淳彦
5	5/12	09:00-09:50		服部 淳彦
6	5/19	09:00-09:50		服部 淳彦
7	5/26	09:00-09:50		服部 淳彦
8	6/2	09:00-09:50		服部 淳彦
9	6/9	09:00-09:50		服部 淳彦
10	6/16	09:00-09:50		服部 淳彦
11	6/23	09:00-09:50		服部 淳彦
12	6/30	09:00-09:50		服部 淳彦
13	7/7	09:00-09:50		服部 淳彦
14	7/14	09:00-09:50		服部 淳彦
15	7/21	09:00-09:50		服部 淳彦
授業方法				
講義と一部グループワークや演習形式による。				
授業内容				
生命科学の中でも『時間生物学・時間医療科学』のトピックスを中心に、生命現象の背後にある『時間』という概念の基本的な知識とその発展・応用例を取り上げる。				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 時間医療科学とは 2. 生体が示すリズム(自由継続リズム) 3. サーカディアンクロックの性質 4. サーカディアンクロックの存在部位 5. 時計の存在部位の証明実験 				

<p>6.時計遺伝子 1 7.時計遺伝子 2 8.体内時計からの出力系 9.メラトニン 10.概日リズム障害 11.フリーラジカルと活性酸素 12.フリーラジカルが関与する疾患 13.抗酸化物質 14.抗酸化酵素 15.まとめ</p>
<p>成績評価の方法 評価: 生命現象について総合的に理解するための基礎学力をつけるために 試験: 90%、授業内でのグループワークや演習への貢献度、質問への回答等: 10% 生物学と化学の各試験の成績を元に総合評価を行う。前期は生物学の試験、後期は化学の試験を行う。試験のいずれか1つでも受験しなかった場合は履修放棄とみなす。 再評価: 有(再試験の成績は60点を上限とする)</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 講義の内容と関連のある書物を読むこと。</p>
<p>教科書 適宜関連するプリントを配布する。</p>
<p>参考書 時間生物学の基礎／富岡憲治, 沼田英治, 井上慎一 共著, :裳華房, 2003</p>
<p>連絡先(メールアドレス) ahattori.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)</p>

主題別教育(医学科・歯学科)について

【目的】

新型コロナウイルスの流行する日々の中で、皆さんの中には「自分とは何か」という問いに向き合った方も少なくないのではないのでしょうか。自分とはどのような人間なのか、何をしてどのように生きてきたのか、何が好きで何をしたいのか。進路はどうすべきか、また、今後どのように生きたいのか。さらに、新型コロナウイルスが私たちの生活を一変させたのは、家族、学校、予備校など「集合体」、つまり「密」を形成して生活してきた人類の歩み自体を覆すものだったからでしょう。その中で「人間の幸福とは何か」「人間とは？」という問いに行き着いた方もおられるかもしれません。

しかし、人類の歩みは、この「人間とは何か」という疑問の連続であったのかもしれませんが。偉大な先人達は、「人間」の解明にあらゆる観点からいどみ、説明を試みてきました。それらは、「知」として蓄積され、私たちをさらなる思索へと導いてくれます。

東京医科歯科大学では、「主題別教育」という科目において、皆さんにこの「人間」という存在について、学び、思考し、また自分の知見をまとめる授業をもうけています。人間を生物的また社会的存在たらしめている要素を、「文化」「生命」「言語」「制度」「時間」という5つの視点にし、そこから考えてみようという取り組みです。

1年次および2年次には、その準備として、視野を広げ、基礎的な知識や考え方を身につけます。ゴールは、3年次に行う「主題別人文社会科学セミナー」です。このセミナーでは、各主題に分かれて、担当者の指導のもと、自ら問題を設定し、調査・考察・討論を経て、セミナー論文としてまとめ、一定の結論を導出します。セミナー修了時に、皆さん自身が、自分が選択した主題の観点を中心に、「人間」という存在について、自分なりの考えを持つことになることが目的です。

もちろん、それは三年間もしくはこれまでの人生における段階的な「結論」であり、絶対ではないはずです。皆さんは今後の人生で学びを深め、また問題を与えられるたび、「人間とは何か」「人間とは何か」という疑問を持ち続けるでしょう。換言すれば、人間というものに向き合わざるを得ない職業に就かれる皆さんが、その問いを描かなくなった時、皆さんの歩みも学びも終わるのかもしれませんが。

その問いへの「結論」は段階や状況によって変わるでしょう。しかし、自らの疑問に向き合い、考え、調べ、学び、時に意見を交換し、結論を導くという「方法」をこの授業で身につけた人は、その各段階において、思索を深め、さらに「新たな問い」に向き合うことに楽しさや充実感を覚えるはずです。

この「喜び」は、将来、「人間」そのものを職業とする医学・歯学系の皆さんを支える、大きな力となるはずです。

【5つの主題】

文化と人間	生命と人間	言語と人間	制度と人間	時間と人間
-------	-------	-------	-------	-------

各主題の目的は次の通りです。

文化と人間	文化とは、人間が創造し習得する精神的な価値の総体である。また、文化とは象徴的記号の体系である。そのような文化を理解することによって、人間の本質を捉えようとするのが目的である。
生命と人間	人間を含むあらゆる生物には生命が宿っている。医療はその生命と常に向き合わなければならない。その生命の多様な現象と、それに対する人間の様々な認識のありようを理解することが目的である。
言語と人間	人間と動物とを区別する最大の要素は言語の使用にある。人間は言語によって、自らの世界を構築してきた。その言語に関する様々な事象を理解することによって、人間の本質を捉えようとするのが目的である。
制度と人間	社会的生物である人間は、様々な制度に取り巻かれて生きている。その制度を相対的に理解することと、制度の構造を分析することによって、人間のありようを理解することが目的である。
時間と人間	人間は時間的存在であり、時間的拘束のもとに生きている。時間を相対的に理解し、その構造を明らかにすることによって、人間存在の本質を理解することが目的である。

上の5つの主題の中から、1つを選択します。各主題とも、定員は約30名です。

3年次の「主題別人文社会科学セミナー」は、この主題に分かれて開講されます。各セミナーは、1年次の人文社会科学科目の「主題に関連の深い科目」の担当者が担当する予定です（この1年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」については、次の【各学年の履修について】で説明します）。

どの主題に進むかを決定するのは、2年進級時です。1年生の2月に「希望調査」をし、希望を考慮しながら、各主題とも約30名になるように振り分けます。

1年生の間に、色々な科目を履修しながら、自分がどの主題を選択するかを考えておいて下さい。

【各学年の履修について】

1 年生：基盤の形成

必修科目・必修選択科目・自由選択科目などで、さまざまな分野の科目が開講されています。それらに取り組むことにより、ある学問分野における基礎的な知識や、科学的な思考方法を身につけます。

同時に、人間に関する根源的な問いに対して、これまで人間自身がどのようにアプローチし、どのように理論化してきたのかということ学びます。そして、「問いの継続と発展」という学問のありようを理解します。

1 年生は、3 年生のセミナーに向けて基礎体力を養いながら、自分がどの主題に進むかを考える期間です。

特に、人文社会科学科目には、「主題に関連の深い科目」が設けられています（下表）。自分が進むかもしれないと思う主題については、その「主題に関連の深い科目」の中にある科目を、積極的に履修しておくことをお勧めします。

各主題に関連の深い科目は次の通りです。授業内容については、それぞれのシラバスを参照して下さい。

主 題	関連の深い科目
文化と人間	歴史学、文学、社会学、文化人類学、人文社会科学特論
生命と人間	哲学、倫理学、宗教学
言語と人間	哲学、文学、文化人類学、人文社会科学特論
時間と人間	歴史学、社会学、社会思想史
制度と人間	法学、政治学、人文社会科学特論

2・3 年生前期：主題別選択科目—視点の拡充—

2・3 年生では、前期の木曜日午前中に、「主題別選択科目」が開講されます。

「主題別選択科目」とは、主題について考察できる、様々な学問分野にまたがった複合的な内容の選択科目です。各科目とも、50 分間の授業が7 回行われ、2 年生と3 年生が合同で受講します。具体的には、各主題において、下表のような科目が開講される予定です。2 年前期と3 年前期の前半8 回、後半7 回にそれぞれ1 科目ずつ履修します。自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から2 科目以上を履修することが必要です。

ただし、2 年前期の前半・後半はいずれも、自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から履修しなければなりません。また、同一教員の科目を2 回以上選択することはできません。前半8 回と後半7 回、合計2 科目を履修して、1 単位取得となります。

(例)「言語と人間」を選択した学生

→2 年前期の前半8 回「生物間のコミュニケーション」履修

〃 後半7 回「民主主義を再考する」履修

(この2 科目で1 単位取得)

主 題	主題別選択科目（2022年度開講予定）	
	2年生の前期前半8回（50分×8回）	2年生の前期後半7回（50分×7回）
文化と人間	小説の言語と演劇の言語（木谷） 現代社会と時間（飯田） 外国につながる多様な人々と医療（伴野） 医療行動経済学における患者の意思決定（鶴田） 中国語と中国文化（包） 医歯系のための物理（檜枝） 物理数学演習（越野） 科学と疑似科学の境界（奈良） 食品の科学（澤野） 愛という名の欲望（チャンネル）	視覚情報と言語（木谷） ドロモロジーと人間（飯田） 外国につながる多様な人々と教育（伴野） 医療行動経済学における医療者の意思決定（鶴田） 中国社会の現在（包） タンパク質科学の光と影（奈良）
生命と人間	医療の社会学（藤井） 外国につながる多様な人々と医療（伴野） 発がん和確率過程（中林） 医歯系のための物理（檜枝） 物理数学演習（越野） 食品の科学（澤野） 生物の中の糖（勝又） 宇宙と生命（服部） 生物間のコミュニケーション（伊藤） ヒトの脳と言語（時本） 昆虫に見られる社会性の進化（山崎） 生命科学と技術（仁科他）	数理で理解する発がん（中林） 人体・医療の物理（檜枝） タンパク質科学の光と影（奈良） 植物の科学（澤野） 老化と寿命（服部） 環境への適応（伊藤） 英語で学ぶヒトの脳と言語（時本） 昆虫の社会性の維持機構（山崎） 生命科学と医学（仁科他）
言語と人間	外国につながる多様な人々と医療（伴野） 中国語と中国文化（包） 生物間のコミュニケーション（伊藤） ヒトの脳と言語（時本）	民主主義を再考する（藤井） 外国につながる多様な人々と教育（伴野） 中国社会の現在（包） 人体・医療の物理（檜枝） 微分方程式演習（越野） 英語で学ぶヒトの脳と言語（時本） 言語と社会を把握する（チャンネル）
制度と人間	現代社会と時間（飯田） 医療の社会学（藤井） 外国につながる多様な人々と医療（伴野） 医療行動経済学における患者の意思決定（鶴田） 科学と疑似科学の境界（奈良） 昆虫に見られる社会性の進化（山崎）	ドロモロジーと人間（飯田） 民主主義を再考する（藤井） 外国につながる多様な人々と教育（伴野） 医療行動経済学における医療者の意思決定（鶴田） 中国社会の現在（包） 人体・医療の物理（檜枝） 微分方程式演習（越野） 危険物の科学（勝又） 昆虫の社会性の維持機構（山崎）
時間と人間	医療の社会学（藤井） 発がん和確率過程（中林） 医歯系のための物理（檜枝） 食品の科学（澤野） 宇宙と生命（服部）	民主主義を再考する（藤井） 数理で理解する発がん（中林） 微分方程式演習（越野） タンパク質科学の光と影（奈良） 植物の科学（澤野） 老化と寿命（服部） 環境への適応（伊藤）

また、3年次に行われる主題別人文社会科学セミナーの担当者から、2年生の間に取り組むべき課題が提示される場合があります。2年生は、「主題別選択科目」を受講し、同時にその課題に取り組みながら、主題に関する視点の拡充をめざします。

3年生：主題別人文社会科学セミナー ―思考の深化―

3年生では、主題ごとに、セミナーを受講します。

各主題の学生30人を、10人ずつのグループA・B・Cに分けます。セミナーは、このグループごとに、7回ずつ行われます。セミナーを担当する教員は、1年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」の教員が担当する予定です。

セミナーと並行して、「医療と法」および「医療と社会」という二つの講義科目が7回ずつ開講されます。グループごとに「セミナー」「医療と法」「医療と社会」を7回ずつ受講します。そして、学年の最後に開講される「総括セミナー」において、主題に関する自らの取り組みをレポートにまとめます。「総括セミナー」は、主題ごとに30人全員が参加し、討論を経てレポート執筆に取り組みます。

グループ (各10人)	前 期		後 期	
	前半7回	後半7回	前半7回	後半7回
グループA	セミナー	医療と社会	医療と法	総括セミナー (セミナー論文 執筆)
グループB	医療と法	セミナー	医療と社会	
グループC	医療と社会	医療と法	セミナー	

1年生において基礎力を身に付け、自ら問いを見出す意識を養い、2年生「主題別選択科目」において視野を広げてきました。3年生「主題別人文社会科学セミナー」では、それらを前提にして、問題を設定し結論の導出を目指します。

問題は、自らの興味や関心にもとづいて、担当教員のアドバイスを受けながら、学生それぞれが設定します。その問題について、調査や考察を行い、またその結果を他の受講生と共有して、改善点を指摘しあいながら結論を導き出すのが「セミナー」です。そして、これらを集大成するのが、「総括セミナー（セミナー論文執筆）」です。

「総括セミナー（セミナー論文執筆）」がこの主題別教育のゴール地点となります。

「総括セミナー（セミナー論文執筆）」までの予定

4月7日（木）：各主題でオリエンテーション。

担当者より、セミナー計画・日程・セミナー論文の問題設定の仕方などについて説明。

4月7日（木）～11月10日（木）：セミナーと講義

11月17日（木）～2023年1月19日（木）：総括セミナー

2月2日（木）：提出締切（予定）

【今後の予定】

- 2年生 4月～9月 「主題別選択Ⅰ」受講
3年生 4月～9月 「主題別選択Ⅱ」受講
4月～3月 「主題別人文社会科学セミナー」受講

【成績・評価について】

主題別選択Ⅰ・Ⅱ 前半と後半をあわせてそれぞれ1単位。

原則としてレポート（80点）、授業への参加度（20点）で評価。

（筆記試験で評価する場合は、その旨を周知する。）

ただし、レポートの代替として、授業の最終日に試験を実施することがある。

主題別人文社会科学セミナーと講義 あわせて2単位

原則として講義における試験と総括セミナーにおけるレポート（80点）、授業への参加度（20点）で評価。

主題別選択 I・II

時間割番号	000604																																															
科目名	主題別選択 I (科学と疑似科学の境界)	科目 ID	LA-210521-Z																																													
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する</p> <p>1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>巷には「マイナスイオン」、「パワーストーン」、「活性水素水」「ホメオパシー」など科学的な根拠がないもの、曖昧なもので溢れています。大学生の科学的な知識があれば、このようなニセ科学(疑似科学)に属するものには絶対だまされるはずはないと過信しがちですが、科学とニセ科学の間に明確な境界線があるわけではなく、白黒がはっきりつかないことがしばしばです。この授業では、社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。受講者にはできるだけ授業に参加できるように、発言、発表する機会を設けたいと思います。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>授業の関連したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める。</p> <p>2000 字以上のレポートとしてまとめられることが、GPA における「B」に相当する。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。</p>																																																
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験0%・レポート80%</p> <p>その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況)</p> <p>再評価: 有</p> <p>授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。</p>																																																
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習: 配付資料、関連資料に目を通してください。</p>																																																

復習:興味のある項目について、文献を調べてください。

試験の受験資格

・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
(レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)

参考書

嘘と絶望の生命科学／榎木英介 著, : 文藝春秋, 2014

メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著, : 名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫, 2010

科学と人間の不協和音／池内了 [著], : 角川書店, 2012

活性酸素／高柳 輝夫 編,大坂 武男 編,大坂 武男 [ほか] 共著,日本化学会 監修, : 丸善

博士漂流時代 : 「余った博士」はどうか?／榎木英介 [著], : ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2010

水素水とサビない身体／太田成男 著, : 小学館, 2013

疑似科学入門／池内 了 著, : 岩波書店

なぜ疑似科学が社会を動かすのか : ヒトはあやしげな理論に騙されたがる／石川幹人著,石川, 幹人, : PHP 研究所, 2016

連絡先(メールアドレス)

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000605			
科目名	主題別選択 I (環境への適応)	科目 ID	LA-210530-Z	
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<p>・曜日・時間: 木曜 2 限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表 1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する。</p> <p>別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p>				
授業の目的、概要等				
<p>外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物ではほぼ定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に、生物の環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いる。</p>				
授業の到達目標				
<p>1)生体の基本構造を説明することができる。</p> <p>2)生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。</p> <p>3)知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。</p> <p>4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を計画することができる。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
2	6/16	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
3	6/23	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
4	6/30	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
5	7/7	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
6	7/14	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
7	7/21	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
授業方法				
<p>基本的には講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。アクティブラーニングとして、必要であれば、その場で、インターネットにより情報検索を行う。疑問点を抽出する能力を向上させるために、毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。</p>				
授業内容				
<p>生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文(生物の環境適応に関する論文)を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。</p>				
成績評価の方法				
<p>評価: 試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20%</p> <p>再評価: 有</p>				
成績評価の基準				
<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。</p>				
準備学習等についての具体的な指示				
<p>アクティブラーニングとして、予習では予め配布した参考資料(主に英語で書かれた論文)を読んでおくこと。授業内容について疑問点があれば、コメントシートに書く。次回の授業において疑問点について説明する。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案したレポートを提出する。</p>				

試験の受験資格 2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。
教科書 資料を配布する。
参考書 Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,: Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015 ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳.:医学書院, 2005 はじめの一歩のイラスト生理学：はじめて学ぶ人のための目で見える教科書／照井直人 編.:羊土社, 2012
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000606			
科目名	主題別選択 I (物理数学演習)	科目 ID	LA-210519-Z	
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2-1) 別表4-2) 				
授業の目的、概要等				
<p>私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。</p>				
授業の到達目標				
<p>問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること。GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、演習問題が 7 割程度解けていることである。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
2	4/14	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
3	4/21	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
4	4/28	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
5	5/12	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
6	5/19	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
7	5/26	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
8	6/2	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
授業方法				
各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を演習時間に充てる。				
授業内容				
物理数学・力学・電磁気学に関する、やや進んだトピックについて説明し、後半に演習問題を解く。				
成績評価の方法				
評価: 試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での小テスト)100%				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。				
参考書				
「詳解物理応用数学演習」後藤憲一ほか 共立出版				
履修上の注意事項				
数学・物理学の双方に十分な予備知識を有することが望ましい。				
連絡先(メールアドレス)				
越野 和樹: ikuzak.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
越野 和樹: 毎週月曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 4 階				

時間割番号	000609				
科目名	主題別選択 I (生命科学と技術)	科目 ID	LA-210537-Z		
担当教員	瀬川 勝盛, 澁谷 浩司, 松田 憲之, 伊藤 暢聡, 佐々木 雄彦, 田中 光一, 二階堂 愛, 高地 雄太[SEGAWA Katsumori, SHIBUYA HIROSHI, MATSUDA Noriyuki, ITO NOBUTOSHI, SASAKI Takehiko, TANAKA KOICHI, NIKAIKIDOU Itoshi, KOUCHI Yuuta]				
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2		
実務経験のある 教員による授業	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) <ul style="list-style-type: none"> 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 2-2) 自然現象を探求するための手法を知る 				
授業の目的、概要等					
<p>難治疾患研究所は、難治疾患をその学理と応用の研究により克服し、人々の健康と社会の福祉に貢献することを理念とします。本研究所では、がん・感染症・生活習慣病など様々な難治疾患を対象として、ビッグデータ・ゲノム編集など最新の技術を駆使して基礎医学研究に取り組んでいます。本授業では、各回、異なる教員がそれぞれ専門の話題を提供し、最前線の研究に触れてもらうことを目的とします。生命科学を飛躍的に発展させたテクノロジーに力点を置いた研究を紹介します。</p>					
授業計画					
	回	日付	時刻	講義室	担当教員
	1	4/7	10:05-10:55		瀬川 勝盛
	2	4/14	10:05-10:55		澁谷 浩司
	3	4/21	10:05-10:55		田中 光一
	4	4/28	10:05-10:55		松田 憲之
	5	5/12	10:05-10:55		伊藤 暢聡
	6	5/19	10:05-10:55		佐々木 雄彦
	7	5/26	10:05-10:55		二階堂 愛
	8	6/2	10:05-10:55		高地 雄太
授業方法					
講義形式を予定していますが、積極的な質問を歓迎し、これに対する討論を行うなど、アクティブラーニングを取り入れます。					
授業内容					
各回、異なる教員がそれぞれ専門の話題を提供し、最前線の研究に触れてもらいます。生命科学を飛躍的に発展させたテクノロジーに力点を置いた研究を紹介します。					
成績評価の方法					
評価: 試験 0% レポート 90% 授業への参加度 10%					
再評価: 有					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習等についての具体的な指示					
試験の受験資格					
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験、再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 (レポートにより定期試験、再試験の代替とする。) 					

時間割番号	000610																																										
科目名	主題別選択 I (生命科学と医学)	科目 ID	LA-210538-Z																																								
担当教員	仁科 博史, 岡澤 均, 古川 哲史, 檜木 俊聡, 田賀 哲也, 清水 重臣, 佐藤 憲子[NISHINA HIROSHI, OKAZAWA HITOSHI, FURUKAWA TETSUSHI, OTEKI TOSHIAKI, TAGA TETSUYA, SHIMIZU SHIGEOMI, SATO NORIKO]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) <ul style="list-style-type: none"> 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 2-2) 自然現象を探求するための手法を知る 																																										
授業の目的、概要等	<p>難治疾患研究所は、難治疾患をその学理と応用の研究により克服し、人々の健康と社会の福祉に貢献することを理念とします。本研究所では、がん・感染症・生活習慣病など様々な難治疾患を対象として、再生医療・核酸医薬など最新の技術を駆使して基礎医学研究に取り組んでいます。</p> <p>本授業では、各回、異なる教員がそれぞれ専門の話題を提供し、最前線の研究に触れてもらうことを目的とします。医療現場を意識した基礎研究を紹介します。</p>																																										
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>岡澤 均</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜木 俊聡</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>古川 哲史</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>田賀 哲也</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>清水 重臣</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>佐藤 憲子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>仁科 博史</td> </tr> </tbody> </table>			回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		岡澤 均	2	6/16	10:05-10:55		檜木 俊聡	3	6/23	10:05-10:55		古川 哲史	4	6/30	10:05-10:55		田賀 哲也	5	7/7	10:05-10:55		清水 重臣	6	7/14	10:05-10:55		佐藤 憲子	7	7/21	10:05-10:55		仁科 博史
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		岡澤 均																																							
2	6/16	10:05-10:55		檜木 俊聡																																							
3	6/23	10:05-10:55		古川 哲史																																							
4	6/30	10:05-10:55		田賀 哲也																																							
5	7/7	10:05-10:55		清水 重臣																																							
6	7/14	10:05-10:55		佐藤 憲子																																							
7	7/21	10:05-10:55		仁科 博史																																							
授業方法	<p>講義形式を予定していますが、積極的な質問を歓迎し、これに対する討論を行うなど、アクティブラーニングを取り入れます。</p>																																										
授業内容	<p>各回、異なる教員がそれぞれ専門の話題を提供し、最前線の研究に触れてもらうことを目的とします。医療現場を意識した基礎研究を紹介します。</p>																																										
成績評価の基準	<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>																																										
準備学習等についての具体的な指示																																											
試験の受験資格	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験、再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 (レポートにより定期試験、再試験の代替とする。) 																																										

時間割番号	000611		
科目名	主題別選択 I (食品の科学)	科目 ID	LA-210523-Z
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]		
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2
実務経験のある 教員による授業			
<p>曜日・時間:木曜日・2 時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。</p>			
主な講義場所			
Zoom による遠隔授業(同期型)			
授業の目的、概要等			
<p>食品は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食品とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性(生体調節機能)」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。本授業では、食の歴史的背景、食品成分の化学的性質を学び、食品の様々な側面についての理解を深めることを目的とする。</p>			
授業の到達目標			
<p>講義、PBL・課題発表により食品を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。 GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。</p>			
授業計画			
回	日付	時刻	講義室
1	4/7	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)
2	4/14	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)
3	4/21	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)
4	4/28	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)
5	5/12	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)
6	5/19	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)
7	5/26	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)
8	6/2	10:05-10:55	遠隔授業(同期型)
授業方法			
講義形式およびアクティブラーニング形式(PBL、課題発表など)で行う。			
授業内容			
食の歴史的背景および食品成分の化学的性質について学ぶ。			
成績評価の方法			
評価 : 試験 0% ・ レポート 75% ・ その他(授業への参加度・課題発表) 25%			
再評価: 有			
成績評価の基準			
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による			
準備学習等についての具体的な指示			
<p>講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 授業で扱った事項について、参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。</p>			
試験の受験資格			
<p>定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席(各回の Zoom 授業への参加および WebClass への課題提出の双方により出席確認を行う) (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)</p>			

参考書

食品の科学／上野川修一, 田之倉優 編, : 東京化学同人, 2005

食品学 : 食品成分と機能性／久保田紀久枝, 森光康次郎 編, 久保田, 紀久枝, 1948-, 森光, 康次郎, 1963-, : 東京化学同人, 2016

ニューフードサイエンス／鮫島邦彦, 高橋史生 編著, 鮫島, 邦彦, 1938-, 高橋, 史生, : 三共出版, 2005

健康と食生活／吉田勉 編著, 吉田, 勉, 1927-, : 学文社, 2016

パソコンで学ぶ食品化学 : 目で見える食品成分とその変化／高野克己, 渡部俊弘編著, 高野, 克己, 渡部, 俊弘, : 三共出版, 2005

健康と調理のサイエンス : 調理科学と健康の接点／大越ひろ, 品川弘子 編著, 渡辺敦子, 大須賀彰子, 藤井恵子, 高橋智子, 飯田文子 著, : 学文社, 2017

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000612			
科目名	主題別選択 I (生物の中の糖)	科目 ID	LA-210525-Z	
担当教員	勝又 敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<p>曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る</p>				
授業の目的、概要等				
<p>糖は生物の中で構造体、エネルギー源をはじめとして、タンパク質、核酸、脂質などと結合して重要な機能を担っている物質である。糖の化学的性質および生体内での機能を、疾病との関連等最新の知見を交えながら講義形式で紹介していく。最後に自分の興味を持った事柄について調べ、各自がプレゼンテーションを行ってもらう(アクティブラーニング)。</p>				
授業の到達目標				
<p>糖の性質と機能について基礎的な知識を身につけ、レポート、プレゼンテーションにまとめられる。 GPA における「B」の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
2	4/14	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
3	4/21	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
4	4/28	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
5	5/12	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
6	5/19	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
7	5/26	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
8	6/2	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
授業方法				
講義形式および一部アクティブラーニングを取り入れる。				
授業内容				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 糖とは何か 2. 糖の種類、および構造、性質 3. 糖の分析法 4. 植物における糖 5. 人の中の糖1 6. 人の中の糖2 7. 糖と疾病 				
成績評価の方法				
<p>評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(発表を含む)等 50% アクティブラーニングを取り入れ以上の通りとする。</p>				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。				
参考書				
コールドスプリングハーバー糖鎖生物学/Ajit Varki [ほか編]鈴木康夫, 木全弘治 監訳,丸善, 2010				
連絡先(メールアドレス)				

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000613																																															
科目名	主題別選択 I (宇宙と生命)	科目 ID	LA-210527-Z																																													
担当教員	服部 淳彦[HATTORI ATSUHIKO]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p> <p>2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う。</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>日本人宇宙飛行士が次々と宇宙に飛び立つ光景を見て、宇宙がますます身近な存在として感じられた学生さんも多いのではないだろうか。この授業では、宇宙環境、例えば「無(微小)重量状態」や「宇宙放射線」などが、さまざまな生物(ヒトも含めて)に与える影響について簡単に解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらおう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスをを行う。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>生命科学のトピックス(特に宇宙生物学)について理解し、説明することができる。7割できればGPAにおける「B」に相当する。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>セミナー形式による(各自に発表してもらおう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>国際宇宙ステーションと宇宙環境と生物(概論)</p> <p>無(微小)重力がもたらす脊椎動物への影響</p> <p>無(微小)重力がもたらす無脊椎動物への影響</p> <p>無(微小)重力がもたらす植物への影響</p> <p>重力感受機構</p> <p>宇宙放射線</p> <p>宇宙放射線の生物への影響</p> <p>宇宙医学</p> <p>宇宙医学が地上の医学にもたらすもの</p>																																																
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: その他 100%</p> <p>平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。</p> <p>再評価: 有</p>																																																
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>																																																

準備学習等についての具体的な指示

主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。

連絡先(メールアドレス)

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000614																																															
科目名	主題別選択 I (生物間のコミュニケーション)	科目 ID	LA-210529-Z																																													
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>・曜日・時間: 木曜 2 限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。</p> <p>別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>この授業の目的は次の1)~4)である。</p> <p>1)生物間におけるコミュニケーションの方法(ヒトによる言語を含む)とその制御メカニズムを理解する。</p> <p>2)この分野における研究の現状を理解する。</p> <p>3)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させる。</p> <p>4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得する。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>1)生物間におけるコミュニケーションの方法、その制御メカニズム、この分野における研究の現状を説明することができる。</p> <p>2)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。</p> <p>3)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案することができる。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>講義形式で行う。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。アクティブラーニングとして、毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。自身でテーマを見つけ、レポートを作成する。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>ヒトによる言語等の生物間におけるコミュニケーションの方法とその制御メカニズムを説明する。主に、最近の研究論文を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。</p>																																																
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20%</p> <p>再評価: 有</p>																																																
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。</p>																																																
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案したレポートを提出する。</p>																																																

試験の受験資格

2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。

教科書

必要に応じて参考資料を配布する

参考書

脳とホルモンの行動学：行動神経内分泌学への招待：カラー版／近藤保彦，小川園子，菊水健史，山田一夫，富原一哉 編：西村書店，2010

はじめて学ぶ、脳の構成細胞と情報伝達の基盤／渡辺雅彦著：羊土社，2008-12

行動の神経生物学／ギュンター・K.H.ツープンク 著，山元大輔 訳，シュプリンガー・ジャパン，2007

化学受容の科学／東原和成編：化学同人，2012-02

履修上の注意事項

出欠管理システムで出欠を記録する。

連絡先(メールアドレス)

伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000615			
科目名	主題別選択 I (医療の社会学)	科目 ID	LA-210531-Z	
担当教員	藤井 達夫[FUJII Tatsuo]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間： 木曜 2 限 対象学科： 医・歯学科 募集人数： 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、1-10)、2-4)				
授業の目的、概要等				
この授業では、テクノロジーの発展の中で医療が理想とした社会像や、医療が実際に可能にした社会の仕組みを批判的に検討します。その上で、医療との関係において、現在の社会がどこに向かおうとしているのかを考えます。具体的には、18世紀から 20 世紀にかけての近代社会の形成と医療の発展との間の根深く暗い関係を優生思想の観点から議論します。さらに、20 世紀後半に登場する新しい優生思想の影響下で現代の医療が目指す社会像を検討します。今年度は、「優生手術」を手掛かりに、優生思想と障害者問題にも焦点を当てる予定です。				
授業の到達目標				
(1)人文科学・社会科学的な考察から得られる医療に対する知見を深めることができる。 (2)社会のあり方やその仕組みに位置付けて医療の抱える問題を発見し、解決を模索するための視座を得ることができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
2	4/14	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
3	4/21	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
4	4/28	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
5	5/12	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
6	5/19	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
7	5/26	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
8	6/2	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
授業方法				
講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。				
授業内容				
第 1 回 医療が描く理想社会——民族衛生から SDH、そして COVID-19 へ 第 2 回 医療と優生思想 第 3 回 健康優良者からなる社会——ナチス・ドイツの例 第 4 回 健康優良者からなる社会——日本の例 第 5 回 現代の優生思想とそのユートピア 第 6 回 生命が廃棄される社会における障害者——戦後の障害者政策と障害者運動 第 7 回 「青い芝の会」と障害者の自己決定権 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。				
成績評価の方法				
評価： レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価： 有(再評価方法)レポート				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
必要があれば、授業内で適宜、指示します。				
教科書				

教科書は使用しません。
参考書 ハクスレー『素晴らしい新世界』(講談社文庫、1974 年) カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』(ハヤカワ epi 文庫、2008 年) ジグムント・バウマン『近代とホロコースト』(大月書店、2006 年) 横塚晃一『母よ！殺すな』(生活書院、2007 年) 横田弘『障害者殺しの思想』(現代書館、2015 年) 優生手術に対する謝罪を求める会編『優生保護法が犯した罪』(現代書館、2018 年) マイケル・マーモット『健康格差』(日本評論社、2017 年)
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。
連絡先(メールアドレス) 藤井 達夫:fujii.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 藤井 達夫:毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階)

時間割番号	000616																																															
科目名	主題別選択 I (ヒトの脳と言語)	科目 ID	LA-210533-Z																																													
担当教員	時本 楠緒子[TOKIMOTO Naoko]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間： 木曜・2 限(10:05-10:55)</p> <p>対象学科： 医・歯学科</p> <p>募集人数： 30 人</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。別表 1-7) 人間の心への理解を深める。</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>ヒトに特有の機能とされる言語。なぜヒトだけが言語を持つのでしょうか。講義では言語構造および言語を可能にするヒトの脳構造と心的機能を概観し、失語症、子どもの言語獲得と脳神経系の発達、臨界期仮説を解説します。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた言語の生物学的起源についての知見を紹介します。言語学、心理学、神経科学の側面から、言語への理解を深めましょう。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>(1) 言語の成り立ちとメカニズムを学ぶ。(2) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶとともに、言語コミュニケーションを担うヒトの脳構造について理解する。(3) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>基本的に講義形式で行う。アクティブラーニングの形式を取り入れ、毎回の授業の初めにリアクションペーパーへのフィードバックも予定している。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>4 月 7 日 言語とは 4 月 14 日 言語の研究法・失語症 4 月 21 日 言語獲得と脳 4 月 28 日 言語獲得の臨界期 5 月 12 日 言語の神経基盤 5 月 19 日 言語の神経基盤(2) 5 月 26 日 言語の生物学的起源 6 月 2 日 ヒトの脳と言語</p>																																																
<p>成績評価の方法</p> <p>評価： 試験 % ・ レポート 70 % ・ その他(リアクションペーパー) 30 %</p> <p>再評価： 有(レポート) ・ 無</p>																																																
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																
<p>準備学習等についての具体的な指示</p>																																																

予習は特に求めませんが、授業の理解が難しい場合は、適宜紹介する参考文献で復習してください。また、講義後に疑問点やコメントを書いて頂くリアクションペーパーをもとに解説や議論を行います。

教科書

指定しない

参考書

「カンデル神経科学 第5版」金澤一郎 他監修, メディカルサイエンスインターナショナル, 2014.

「あいまいな会話はなぜ成立するのか」時本真吾, 岩波書店, 2020. その他、抗議中に随時紹介します。

履修上の注意事項

レポート提出の資格は、原則として授業回数の2/3以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000617																																															
科目名	主題別選択 I (現代社会と時間)	科目 ID	LA-210541-Z																																													
担当教員	飯田 卓[IIDA SUGURU]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間:木曜2限 募集人数:10名以内 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)人間の歴史的営みを理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>ドイツの児童文学作家ミヒャエル・エンデの『モモ』に登場する「灰色の男たち」(時間泥棒)は、次のように語っている。「人間の時間を手中に収めれば、無限の権力を握ることができる」と。だが、時間はどのような意味で権力と言えるのだろうか。また、私たちは毎日のように時間に追われる生活を送っているが、たとえば時間を節約するとはどういうことだろうか。そもそも節約などできるのだろうか。同じ1時間を長く感じたり短く感じたりするのはなぜだろうか。さらに、現代社会において自明なものとして表象される直線的な時間は、時間というものを適切に捉えているのだろうか。時間を直線として、すなわち様々な時点が並列した秩序として捉えることは、時間ではなく空間的なものを想定しているのではないだろうか。時点とは本来、そのつど生成しては消滅してゆく今(現在)を意味するはずであり、そうした意味での今は、点として他の点と並んで残り続けるようなものとは対極をなすものではないだろうか。この授業では、私たちが自明視している時間概念に疑いの眼差しを向けることを通じて時間の本性に迫るとともに、とくに時間と社会との密接なつながりについて考察したい。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>(1)時間に関する基礎概念を身につける。 (2)「主観的時間」と「客観的時間」との関係を理解する。 (3)部分と全体とを関連づけて思考する技法を身につける。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>演習形式、アクティブラーニング</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>主として、文献講読と受講者によるプレゼンテーションを予定している。現代社会と時間に関する文献を用いて、以下の内容を中心に考察する予定である。</p> <p>(1)暦と時計時間 (2)権力としての時間 (3)量的時間・質的時間 (4)線形時間 (5)社会と時間</p>																																																
<p>成績評価の方法</p>																																																

<p>評価：試験 0%・レポート 0%・その他(授業への参加度——発表、質疑応答、毎回の課題による) 100%</p> <p>再評価：有(レポートの予定)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>配布された文献は、次回までに精読しておいてください。</p>
<p>教科書</p> <p>とくに必要ありません。</p>
<p>参考書</p> <p>M.エンデ『モモ』岩波少年文庫(2005年)、伊藤美登里『現代人と時間——もうみんないっしょではいられない』学文社(2008年)、西本郁子『時間意識の近代——「時は金なり」の社会史』法政大学出版局(2006年)、橋本毅彦・栗山茂彦編著『遅刻の誕生——近代における時間意識の形成』三元社(2001年)、内山節『時間についての二章——哲学における時間の問題』岩波書店(2011年)、B.アダム『時間と社会理論』法政大学出版局(1997年)、J.リフキン『タイムウォーズ』等</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>コメントシートを配布し、出欠をとります。</p>

時間割番号	000618																																										
科目名	主題別選択 I (ドロマロジーと人間)	科目 ID	LA-210542-Z																																								
担当教員	飯田 卓[IIDA SUGURU]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間:木曜2限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:10名以内 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)人間の歴史的営みを理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>情報革命は時間と空間を極度に圧縮することによって、それ以前の革命とはまったく異なる質的変化を個人と社会に引き起こした。P・ヴィリリオはこのような変化を「速度」という観点から考察し、「今・ここ」ではない「いつか・どこか」の前方へと追い立てる強制力を「ドロマロジー」と呼んでいる。これは、「今・ここ」という現在を「いつか・どこか」という未来へと総動員することによって、「今・ここ」という現在を収奪することを意味している(「今・ここ」ではない「いつか・どこか」の為に生きること)。この授業では、国家や政治や社会の体制を、それゆえ社会的存在たる人間の生き方をその内部から規定し突き動かす「ドロマロジー」の原理とその派生的問題について、主として時間の観点から考察し、現代社会における人間の生の意味を問うてみたい。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>(1)ドロマロジーの基本構造について、社会制度(や制度が生み出す問題)と関わらせて理解する。 (2)「今・ここ」(現在)の意味を問い直すことができる。 (3)部分と全体とを関連づけて思考する技法を身につける。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>演習形式、アクティブラーニング</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>主として、文献講読と受講者によるプレゼンテーションを予定している。参考書の欄に挙げたような文献を用いて、以下の内容を中心に考察する予定である。</p> <p>(1)線形時間 (2)ドロマロジー (3)前望構造と進歩史観 (4)生のユーティリティ化 (5)生きられる現在</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加度——発表、質疑応答、毎回の課題による) 100% 再評価: 有(レポートの予定)</p>																																											

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

配布された文献は、次回までに精読しておいてください。

教科書

とくに必要ありません。

参考書

P.ヴァリリオ『瞬間の君臨——リアルタイム世界の構造と人間社会の行方』新評論(2003年)、P.ヴァリリオ『速度と政治——地政学から時政学へ』平凡社(2001年)、古東哲明『瞬間を生きる哲学——〈今ここ〉に佇む技法』筑摩書房(2011年)、古東哲明『ハイデガー＝存在神秘の哲学』講談社現代新書(2002年)、佐藤透『人生の意味の哲学——時と意味の探求』春秋社(2012年)、J・レフキン『タイムウォーズ』早川書房(1989)、鷲田清一『だれのための仕事』講談社学術文庫(2011年)、鷲田清一『「待つ」ということ』角川選書(2006年)等

履修上の注意事項

コメントシートを配布し、出欠をとります。

時間割番号	000619			
科目名	主題別選択 I (植物の科学)	科目 ID	LA-210524-Z	
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<p>曜日・時間:木曜日・2 時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>				
主な講義場所				
Zoom による遠隔授業(同期型)				
授業の目的、概要等				
植物は地球上のあらゆる生物の生存を支えている。動物の食物として役立つだけでなく、光合成によって大気圏の二酸化炭素を吸収して酸素を供給し、大気環境を保持する役割をもつ。また、人間は、太古に繁殖していた植物の遺体を化石燃料として、医療現場では植物中の有効成分から誘導された医薬品を利用している。本授業では、植物の構造・成長・代謝などに関する基礎的な知識を講義を通して学び、人類と植物との関わりについて考える。				
授業の到達目標				
講義、PBL・課題発表により植物を歴史のおよび科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。 GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55		澤野 頼子
2	6/16	10:05-10:55		澤野 頼子
3	6/23	10:05-10:55		澤野 頼子
4	6/30	10:05-10:55		澤野 頼子
5	7/7	10:05-10:55		澤野 頼子
6	7/14	10:05-10:55		澤野 頼子
7	7/21	10:05-10:55		澤野 頼子
授業方法				
講義形式およびアクティブラーニング形式(PBL、課題発表など)で行う。				
授業内容				
植物の構造・成長・代謝や人類との関わりについて学ぶ。				
成績評価の方法				
評価 : 試験 0% ・ レポート 75% ・ その他(授業への参加度・課題発表) 25% 再評価: 有				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 授業で扱った事項について、参考書やインターネット等で知識を整理し、自分なりの考えをまとめる。				
試験の受験資格				
定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席(各回の Zoom 授業への参加および WebClass への課題提出の双方により出席確認を行う) (レポートをもって、定期試験・再試験の代替とする。)				
参考書				
植物生理学/三村徹郎, 鶴見誠二 編著, : 化学同人, 2009				

ベーシックマスター 植物生理学／塩井祐三, 井上弘, 近藤矩朗 共編.:オーム社, 2009

植物生理学概論／桜井英博 [ほか] 共著,桜井, 英博,柴岡, 弘郎(1934-),高橋, 陽介,小関, 良宏,藤田, 知道(1964-),.:培風館, 2017

新しい植物科学 : 環境と食と農業の基礎／神阪盛一郎, 谷本英一 共編,神阪, 盛一郎, 1940-,谷本, 英一,.:培風館, 2010

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000621																																															
科目名	主題別選択 I (昆虫にみられる社会性の進化)	科目 ID	LA-210543-Z																																													
担当教員	山崎 和久[YAMASAKI Kazuhisa]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科、歯学科 募集人数:20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表 2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 ヒトは社会を高度に発達させ、現代まで繁栄してきた。社会性は哺乳類に限られた機構ではなく、実際には様々な分類群で見られる。そのなかでも昆虫は、最も社会性を多様に進化させた分類群の 1 つである。昆虫には親が子を守り育てる亜社会性から、繁殖階級と労働階級が分業する真社会性まで、多様な社会性の機構が存在する。そのなかでは、個体間の協働や繁殖競争などの特徴的な生態が見られる。本講義では真社会性を持つハチやアリの仲間を中心に、昆虫の多様な社会性とその進化について紹介する。彼らの社会とヒトの社会を比較し、その共通点と相違点について学ぶ。</p>																																																
<p>授業の到達目標 昆虫をはじめとした生物にみられる社会の多様性について理解を深める。また、当該分野における研究手法を学ぶ。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。また、課題発表等を介したアクティブラーニングを実施する。</p>																																																
<p>授業内容 第 1-4 回:社会性の成り立ち 第 5-7 回:社会性の多様化</p>																																																
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加) 30% 再評価: 有(レポート)</p>																																																
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																

準備学習等についての具体的な指示

予習は教員が指定した回に限って要求する。教員が提示したキーワード等に対して、各人が自らの考えをまとめておく。各回の講義の終了後には、教員がアップロードするなどして資料を公開する。そのまとめの項目などを参考に、各人で復習する。意見や疑問点はリアクションペーパーに記述して教員に提出する。

教科書

指定なし。

参考書

- ・生き物の進化ゲーム—進化生態学最前線:生物の不思議を解く— 大改訂版 酒井聡樹ほか(共立出版) 2012
- ・社会性昆虫の進化生態学 松本 忠夫、東正剛 共編(海遊舎) 1993
- ・社会性昆虫の進化生物学 東正剛、辻 和希 共編(海遊舎) 2011

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと授業中の点呼を併用する。また、3分の2以上の出席を前提とし、評価の対象とする。時勢により遠隔授業となる場合も、基本的に形式は同様である。決められた時限に双方向型の授業を行い、そのなかで出席確認を行う。

時間割番号	000622																																										
科目名	主題別選択 I (昆虫の社会性の維持機構)	科目 ID	LA-210544-Z																																								
担当教員	山崎 和久[YAMASAKI Kazuhisa]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科、歯学科 募集人数:20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表 2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 社会性を持つ生物は個体間で協力的行動をとる。この協力的行動は単なる自己犠牲ではなく、自己の利益に繋がる適応的な行動という側面を持つ。ヒトが制度や法令に従って社会を維持することと同様に、他の生物も彼らの社会性を維持するための機構を持つ。本講義では昆虫のなかでも高度に社会性を進化させたハチ・アリ類を中心に、社会性の維持機構を紹介する。彼らがどのような制度に従うことで社会性を維持し得るのか、何が社会性を崩壊させる脅威になり得るのかを理解することで、ヒトが自らの社会を安定的に維持するためのヒントを学ぶ。</p>																																											
<p>授業の到達目標 昆虫をはじめとした生物の社会性の維持機構とその崩壊要因について理解を深める。そこから、ヒトが社会で生きる上での制度の重要性を学ぶ。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。また、課題発表等を介したアクティブラーニングを実施する。</p>																																											
<p>授業内容 第 1-4 回:社会性の成り立ち 第 5-7 回:社会性の維持と制度のかかわり</p>																																											
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加) 30% 再評価: 有(レポート)</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											

準備学習等についての具体的な指示

予習は教員が指定した回に限って要求する。教員が提示したキーワード等に対して、各人が自らの考えをまとめておく。各回の講義の終了後には、教員がアップロードするなどして資料を公開する。そのまとめの項目などを参考に、各人で復習する。意見や疑問点はリアクションペーパーに記述して教員に提出する。

教科書

指定なし。

参考書

- ・生き物の進化ゲーム—進化生態学最前線:生物の不思議を解く— 大改訂版 酒井聡樹ほか(共立出版) 2012
- ・社会性昆虫の進化生態学 松本 忠夫、東正剛 共編(海遊舎) 1993
- ・社会性昆虫の進化生物学 東正剛、辻 和希 共編(海遊舎) 2011

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと授業中の点呼を併用する。また、3分の2以上の出席を前提とし、評価の対象とする。時勢により遠隔授業となる場合も、基本的に形式は同様である。決められた時限に双方向型の授業を行い、そのなかで出席確認を行う。

時間割番号	000623					
科目名	主題別選択 I (中国語と中国文化)	科目 ID	LA-210545-Z			
担当教員	BAO MIN[BAO Min]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2			
実務経験のある 教員による授業						
<p>・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表1-4) 異なる空間の文化を理解する</p> <p>別表3-4) 外国文化を理解する</p>						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
<p>言語は文化のキャリアーであります。民族、国家、社会制度、経済形態、価値観、思考方式、風俗習慣等はそのいずれをとっても言語に反映されないものはないです。本授業では、中国語の語音と中国文化、漢字と中国文化、中国語の語彙と中国文化、中国語の文法と中国文化、中国語の数字と中国文化、氏名・別称・地名と中国文化、中国語と中国の生活風俗に関する内容などを紹介します。中国語の短文と共に、日本語訳を配付して解説するので、中国語履修者でなくても、中国文化に興味があれば受講できます。</p>						
授業の到達目標						
授業を通して、中国語と中国文化の関係を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/7	10:05- 10:55		第1回 授業の概要説明、中国語の語音と中国文化	語音による置換と縁起かつぎ 語音と言葉の改造	BAO MIN, 奈良 雅之
2	4/14	10:05- 10:55		第2回 漢字と中国文化	文字に関する迷信と崇拝について 漢字から見た古代女性の社会的地位	BAO MIN, 奈良 雅之
3	4/21	10:05- 10:55		第3回 中国語の語彙と中国文化	語彙と科挙制度 語彙および特有の思想、観念	BAO MIN, 奈良 雅之
4	4/28	10:05- 10:55		第4回 中国語の文法と中国文化	中国語の語彙の兼類現象 中国語の対句芸術と民俗	BAO MIN, 奈良 雅之
5	5/12	10:05- 10:55		第5回 中国語の数字と中国文化	中国語の中の数字文化	BAO MIN, 奈良 雅之
6	5/19	10:05- 10:55		第6回 氏名・別称・地名と中国文化	中国人の姓氏と姓氏観念 地名と文化	BAO MIN, 奈良 雅之
7	5/26	10:05- 10:55		第7回 中国語と中国の生活風俗	食の問題及び関連する言語現象 婚姻と婚姻に関連する言語現象	BAO MIN, 奈良 雅之
8	6/2	10:05- 10:55		第8回 まとめ	これまでの内容を振り返り、中国語と中国文化の関係をまとめる	BAO MIN, 奈良 雅之
授業方法						
講義と演習による。						
事前にプリントを渡し、関連内容を調べておくこと。毎回2, 3の短文を購読する。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。						
授業内容						
第1回 授業の概要説明、中国語の語音と中国文化						

<p>第2回 漢字と中国文化 第3回 中国語の語彙と中国文化 第4回 中国語の文法と中国文化 第5回 中国語の数字と中国文化 第6回 氏名・別称・地名と中国文化 第7回 中国語と中国の生活風俗 第8回 まとめ</p>
<p>成績評価の方法 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度) 30% 再評価: 有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 毎回プリントを配布する。中国語の原文を使い、日本語で説明するが、事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。</p>
<p>試験の受験資格 2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。</p>
<p>教科書 魯宝元著(2006)『漢語與中国文化』、華語教学出版社 プリントを配布します。</p>
<p>参考書 中国文化 55 のキーワード／武田雅哉, 加部勇一郎, 田村容子 編著, 武田, 雅哉, 1958-, 加部, 勇一郎, 1973-, 田村, 容子, 1975-, : ミネルヴァ書房, 2016 テーマで読み解く中国の文化／湯浅邦弘編著, 湯浅, 邦弘, 宮本, 一夫, 横田, 恭三, 中村, 未来, 佐藤, 一好, 宇田川, 幸則, 古田, 茂美, 浅見, 洋二, 谷口, 高志, 草野, 友子, 福田, 一也, 鶴成, 久章, 椛島, 雅弘, 川野, 明正, 近藤, 浩之, 渡邊, 英幸, 町, 泉寿郎, 合山, 林太郎, 陶, 徳民, 柿沼, 陽平, : ミネルヴァ書房, 2016 中国百科／中国国際放送局日本語部編訳 ; 王丹丹 [ほか] 翻訳, 北京放送局日本語部, 王, 丹丹, : 科学出版社東京, 2016</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。</p>

時間割番号	000624					
科目名	主題別選択 I (中国社会の現在)	科目 ID	LA-210546-Z			
担当教員	BAO MIN[BAO Min]					
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2			
実務経験のある 教員による授業						
<p>曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する</p> <p>別表1-4) 異なる空間の文化を理解する</p> <p>別表3-4) 外国文化を理解する</p> <p>別表3-5) 国際情勢を理解する</p>						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
映像と資料を使いながら、中国の政治・経済・社会に関する最新のトピックを紹介します。本講義を通して現代中国のありのままの姿を理解することを目指します。日本語の資料を使うので、中国語履修者でなくても、中国社会に興味があれば受講できます。						
授業の到達目標						
授業を通して、中国社会を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/9	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	第1回 授業の概要説明	オリエンテーション、トピックの担当を決める	BAO MIN
2	6/16	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	第2回 中国の素顔	習近平時代の中国社会の全貌	BAO MIN, 奈良雅之
3	6/23	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	第3回 岐路に立つ米中関係	“アメリカVS中国”未来の覇権争い、米中貿易戦争	BAO MIN, 奈良雅之
4	6/30	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	第4回 一帯一路の大望とリスク	巨大経済圏構想の実態	BAO MIN, 奈良雅之
5	7/7	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	第5回 都市部と農村部の格差	中国農村部のいま	BAO MIN, 奈良雅之
6	7/14	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	第6回 実験都市 深圳	メイド イン チャイナの行方	BAO MIN, 奈良雅之
7	7/21	10:05- 10:55	遠隔授業(同期型)	第7回 報告会	課題に関する報告	BAO MIN, 奈良雅之
授業方法						
講義と演習による。						
事前にプリントを渡し、関連内容を調べておくこと。毎回2, 3の短文を購読する。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。						
授業内容						
第1回 授業の概要説明、担当を決める。						
第2回 中国の素顔						
第3回 岐路に立つ米中関係						
第4回 一帯一路の大望とリスク						
第5回 一国二制度の行方						

<p>第6回 14億人の消費革命 第7回 報告会 第8回 まとめ</p>
<p>成績評価の方法 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度) 30% 再評価: 有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがってください)</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。</p>
<p>試験の受験資格 2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。</p>
<p>教科書 : 明石書店 : 小学館</p>
<p>参考書 現代中国を知るための 52 章 / 藤野彰 編著, 藤野, 彰, 1955-, : 明石書店, 2018 習近平が変えた中国 / 天児慧 編著, 茅原郁生, 関志雄, 佐藤考一, 中兼和津次, 菱田雅晴, 毛里和子 著, 天児, 慧, 1947-, 茅原, 郁生, 1938-, 関, 志雄, 1957-, 佐藤, 考一, 1960-, : 小学館, 2018 幸福な監視国家・中国 / 梶谷懐, 高口康太 著, 梶谷, 懐, 1970-, 高口, 康太, 1976-, : NHK 出版, 2019 中国「強国復権」の条件 : 「一帯一路」の大望とリスク / 柯隆 著, 柯, 隆, 1963-, : 慶應義塾大学出版会, 2018</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。</p>

時間割番号	000625			
科目名	主題別選択 I (微分方程式演習)	科目 ID	LA-210520-Z	
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2-1) 別表4-2) 				
授業の目的、概要等				
<p>私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。</p>				
授業の到達目標				
<p>問題演習をととして、数理科学的能力を高めること。GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、演習問題が 7 割程度解けていることである。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
2	6/16	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
3	6/23	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
4	6/30	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
5	7/7	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
6	7/14	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
7	7/21	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
授業方法				
各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を演習時間に充てる。				
授業内容				
物理数学・力学・電磁気学に関する、やや進んだトピックについて説明し、後半に演習問題を解く。				
成績評価の方法				
評価: 試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での小テスト)100%				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。				
参考書				
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版				
履修上の注意事項				
数学・物理学の双方に十分な予備知識を有することが望ましい。				
連絡先(メールアドレス)				
越野 和樹: ikuzak.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
越野 和樹: 毎週月曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 4 階				

時間割番号	000626																																										
科目名	主題別選択 I (タンパク質科学の光と影)	科目 ID	LA-210522-Z																																								
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-3)人間の歴史的営みを理解する。</p> <p>1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る</p> <p>4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業ではタンパク質研究におけるX線、核磁気共鳴(NMR)、赤外線という電磁波の活用に焦点を当てます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、タンパク質科学の「光と影」について理解を深めます。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める。</p> <p>2000 字以上のレポートとしてまとめられることが、GPA における「B」に相当する。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この18年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポスドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験0%・レポート 80%</p> <p>その他(授業への参加度 20%)</p> <p>再評価: 有</p> <p>授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。</p>																																											
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											

準備学習等についての具体的な指示

予習: 配付資料に目を通してください。

復習: 興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。

試験の受験資格

・定期試験・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席
(レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)

参考書

タンパク質の生命科学: ポスト・ゲノム時代の主役 / 池内俊彦 著, : 中央公論新社, 2001

ポストゲノム時代のタンパク質科学: 構造・機能・ゲノミクス / Arthur M. Lesk 著, 高木淳一 訳, : 化学同人, 2007

入門構造生物学: 放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く / 高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編, : 共立出版, 2010

タンパク質の構造と機能: カラー図説 / グレゴリー A. ペツコ / 著, ダグマール リンゲ / 著, 横山 茂之 / 監訳, 宮島 郁子 / 訳, : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005

連絡先(メールアドレス)

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000627																																										
科目名	主題別選択 I (危険物の科学)	科目 ID	LA-210526-Z																																								
担当教員	勝又 敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 化学物質を扱うために、安全や環境保護など様々な理由から法による規制が行われている。その中で火災予防を目的として危険物が消防法により規定され、その取り扱いの監督者には資格が必要となる。危険物の化学的性質やその火災事例、消火法などを講義形式で紹介していく。最後にグループ討論を行い安全について議論してもらう。</p>																																											
<p>授業の到達目標 危険物の安全な取扱方法を理解し、レポートにまとめることができる。 GPA における「B」の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法 講義形式一部アクティブラーニングを取り入れる。</p>																																											
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 関係法令 2. 危険物とは何か 3. 消火法について 4. 第1類～第2類の性質、事故事例等 5. 第3類～第4類の性質、事故事例等 6. 第5類～第6類の性質、事故事例等 7. グループ討論 																																											
<p>成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(グループ討論などを含む)等 50% レポートの内容および授業への参加度を考慮し、以上の通りとする。</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。</p>																																											
<p>参考書 基礎火災現象原論／James G.Quintiere 著,大宮喜文,若月薫 訳.:共立出版, 2009</p>																																											
<p>連絡先(メールアドレス) 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp</p>																																											

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000628			
科目名	主題別選択 I (老化と寿命)	科目 ID	LA-210528-Z	
担当教員	服部 淳彦[HATTORI ATSUSHIKO]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) <ul style="list-style-type: none"> 2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。 2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う。 				
授業の目的、概要等				
<p>「生あるものは必ず死を迎える」というが、果たして本当であろうか。生物学的に言えば、NOである。細菌などの原核生物は環境さえ良ければ無限に分裂を繰り返し、生き延びることができるのである。一方、我々ヒトを含めた有性生殖を行う動物は、どんなに環境を整えても必ず死が訪れる。この授業では、「老化」に焦点を当て、老化の原因と老化と関連した病気についてははじめに解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。</p>				
授業の到達目標				
生命科学のトピックス(加齢現象)について理解し、説明することができる。7割できればGPAIにおける「B」に相当する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
2	6/16	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
3	6/23	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
4	6/30	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
5	7/7	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
6	7/14	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
7	7/21	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
授業方法				
セミナー形式による(各自に発表してもらう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。				
授業内容				
<p>老化現象と老化の原因(概要)</p> <p>骨と筋の老化</p> <p>感覚器(視覚・聴覚)の老化</p> <p>皮膚の老化</p> <p>脳の老化</p> <p>血管の老化</p> <p>老化と遺伝子</p> <p>老化と環境要因</p> <p>抗加齢医学</p>				
成績評価の方法				
<p>評価: その他 100%</p> <p>平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。</p> <p>再評価: 有</p>				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示				
主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。				
連絡先(メールアドレス)				

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000631																																										
科目名	主題別選択 I (民主主義を再考する)	科目 ID	LA-210532-Z																																								
担当教員	藤井 達夫[FUJII Tatsuo]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間：木曜 2 限 対象学科：医・歯学科 募集人数：25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)1-1)、1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、2-4)、3-5)</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 民主主義は今、危機にあります。その危機は二つの方面から到来しています。一つは、民主主義国の国内から。欧米の民主主義諸国は軒並みポピュリズム化し、権威主義的自由主義に飲み込まれつつあります。もう一つは、中国をはじめとする非民主主義国の台頭です。非民主主義的権威主義国家の国際社会でのプレゼンスの増大は、外側から民主主義諸国を動揺させ始めています。「もしかして、民主主義は時代遅れなのか？」と。そこで、民主主義の理念と制度の基礎を押さえつつ、今年度は、世界のそして日本の民主主義が機能不全に陥った原因について検討します。批判の焦点は近代民主主義の制度的基礎である代表制度——選挙と政党——です。そしてポスト代表制度の民主主義はどうあるべきかについて議論することで、これからの私たちの社会を立て直す道筋を履修生の皆さんと一緒に考えます。</p>																																											
<p>授業の到達目標 (1)民主主義理論の基本的な理解を習得し、現代の社会が抱える問題について議論することができる。 (2)人権、社会的公正さといった規範的な視点から現代社会のあるべき姿について検討し、議論することができる。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。</p>																																											
<p>授業内容 第 1 回 今の政治に満足か？——中国的統治モデルの誘惑—— 第 2 回 古代の民主主義——クジと非支配 第 3 回 近代民主主義①——国民主権 第 4 回 近代民主主義②——代表制度 第 5 回 代表制度と選挙——その黄金期の社会的条件 第 6 回 代表制度の行き詰まりとその病理——ポピュリズムと二つの権威主義 第 7 回 ポスト代表制度の民主主義を構想する——参加と熟議 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。</p>																																											
<p>成績評価の方法 評価：レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価：有(再評価方法)レポート</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示</p>																																											

必要があれば、授業内で適宜、指示します。

教科書

代表制民主主義はなぜ失敗したのか／藤井達夫:集英社, 2021

参考書

不平等を考える : 政治理論入門／斎藤純一:筑摩書房

ポピュリズムとは何か : 民主主義の敵か、改革の希望か／水島治郎:中央公論新社

代議制民主主義 : 「民意」と「政治家」を問い直す／待鳥聡史:中央公論新社

選挙制を疑う／ダーヴィッド・ヴァン・レイブルック:法政大学出版局, 2019

「平成」の正体 : なぜこの社会は機能不全に陥ったのか／藤井達夫:イースト・プレス, 2018

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

連絡先(メールアドレス)

藤井 達夫:fujii.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

藤井 達夫:毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階)

時間割番号	000632																																										
科目名	主題別選択 I (英語で学ぶヒトの脳と言語)	科目 ID	LA-210534-Z																																								
担当教員	時本 楠緒子[TOKIMOTO Naoko]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間： 木曜・2 限(10:05-10:55)</p> <p>対象学科： 医・歯学科</p> <p>募集人数： 20 人</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。別表 1-7) 人間の心への理解を深める。別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>地球上でヒトだけが言語を持ちます。この講義では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を資料として、言語構造および言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、失語症、子どもの言語獲得と脳神経系の発達、臨界期仮説を学びます。また、近年の言語研究において、動物の音声コミュニケーション研究が与える影響についても取り上げる予定です。講義は英語資料に基づき、日本語と英語で行い、言語学、心理学、神経科学の側面から、言語への理解を深めていきます。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>(1) 言語の成り立ちとメカニズムを学ぶ。(2) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶとともに、言語コミュニケーションを担うヒトの脳構造について理解する。(3) 言語と脳に関する英語の文献を読み、議論する。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>初回から数回は講義形式で行う。以降はアクティブラーニングを取り入れ、受講生が選んだテーマをもとに論文紹介と討論を行う。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>6月9日 Overview of the human language 6月16日 Language circuits in the brain 6月16日 Language acquisition 6月23日 Critical period for language learning 6月30日 Second-language and sign language 7月7日 Animal behavior similar to language 7月14日 Comparison between bird song and human language 7月21日 Comparison between behavior of primates and human language</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価： 試験 0%・レポート(英語) 60%・その他(論文紹介・討論) 40%</p> <p>再評価： 有(レポート提出)</p>																																											
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>講義回の予習は求めませんが、授業の理解が難しい場合は、参考文献で復習してください。論文紹介のため、早めに興味</p>																																											

を絞っていきます。テーマの選択や論文検索については、適宜相談にのります。

教科書

指定しない

参考書

Principles of Neural Science, Sixth Edition, Eric R. Kandel et al., 2012 McGraw-Hill. その他、講義中に随時紹介します。

履修上の注意事項

レポート提出の資格は、原則として授業回数の 2/3 以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000635																																															
科目名	主題別選択 I (医歯系のための物理)	科目 ID	LA-210517-Z																																													
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間:木曜2限</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2-1)別表2-2)別表2-4) 別表4-2)</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>医療は物理学と大いに関係しています。例えば、人体の動きや歯の矯正治療は力学が関係しており、医療でお馴染みの X 線、MRI、レーザーなど現代医療技術は物理学者によって発見されました。本授業は講義形式で進め、医歯学に関係した物理について理解を深めていきます。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>医歯学に関係した物理を習得する。</p> <p>各授業で設定したテーマについて演習(小レポート)を実施するのでそれらについて解答し、総合点(レポート+参加度)で合格点以上をとること。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>講義と演習</p>																																																
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医歯系のための物理 1:力学 2. 医歯系のための物理 2:流体 3. 医歯系のための物理 3:熱 4. 医歯系のための物理 4:音 5. 医歯系のための物理 5:光 6. 医歯系のための物理 6:磁気 7. 医歯系のための物理 7:放射線 8. まとめ 																																																
<p>成績評価の方法</p> <p>授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらった演習内容(小レポート)によって評価する。</p> <p>評価 : レポート 80 % その他(授業の参加度) 20%</p> <p>再評価: 無</p>																																																
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。</p>																																																

<p>試験の受験資格</p> <p>試験は実施しないが、原則 2/3 以上の出席が必要</p>
<p>参考書</p> <p>生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,：共立出版, 2015 物理学入門から医用物理へ：超音波、磁気共鳴、X線理解のために／本間康浩 著,：ブイツーソリューション, 2013 医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,：東京教学社, 2013</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取るとる出欠を優先させる。</p>
<p>備考</p> <p>2019 年度の学生授業アンケートで授業に関する指摘は特に無かった。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3</p>

時間割番号	000636																																										
科目名	主題別選択 I (人体・医療の物理)	科目 ID	LA-210518-Z																																								
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間:木曜2限</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2-1)別表2-2)別表2-4) 別表4-2)</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>生命も含め物質現象は物理学の原理と大いに関係しています。例えば人体の動きや歯の矯正治療は力学、血流の流れは流体力学、また体内に取り込み消費するエネルギーは熱力学の原理に従っています。また、X 線、MRI、重粒子線治療など多くの現代医療測定技術は物理学の成果です。本授業は講義形式で進め、人体や医歯学に関係した物理を学んでいきます。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>人体・医療に関係した物理を習得する。</p> <p>各授業で設定したテーマについて演習(小レポート)を実施するのでそれらについて解答し、総合点(レポート+参加度)で合格点以上をとること。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>講義と演習</p>																																											
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 力学と人体・医療 2. 流体と人体・医療 3. 熱と人体・医療 4. 音と人体・医療 5. 光と人体・医療 6. 磁気と人体・医療 7. 放射線と人体・医療 																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらった演習内容(小レポート)によって評価する。</p> <p>評価 : レポート 80 % その他(授業の参加度) 20%</p> <p>再評価: 無</p>																																											
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。</p>																																											
<p>試験の受験資格</p>																																											

試験は実施しないが、原則 2/3 以上の出席が必要

参考書

生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,：共立出版, 2015
物理学入門から医用物理へ：超音波、磁気共鳴、X線理解のために／本間康浩 著,：ブイツーソリューション, 2013
医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,：東京教学社, 2013

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取ると出欠を優先させる。

備考

2019 年度の学生授業アンケートで授業に関する指摘は特に無かった。

連絡先(メールアドレス)

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000637			
科目名	主題別選択 I (Explorations in Literature Philosophy and Science)	科目 ID	LA-210540-Z	
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある教員による授業				
授業の目的、概要等				
<p>What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
2	4/14	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
3	4/21	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
4	4/28	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
5	5/12	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
6	5/19	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
7	5/26	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
8	6/2	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
授業方法				
A mix of class discussion and mini-lecture				
授業内容				
Tentative Outline				
Week Date				
1 Orientation, Robert Nozick "Love's Bond"				
2 Nozick "Love's Bond"				
3 Poetry				
4 Poetry				
5 Hamabata "Crested Kimono"				
6 Fisher "Romantic Love: a mammalian brain system for mate choice"				
7 Fisher "Romantic Love: a mammalian brain system for mate choice"				
8 Wrap-up + Term Paper Interviews				
準備学習等についての具体的な指示				
教科書				
Texts will be available as email attachments or handouts.				
備考				
Participation				
There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.				
Absence policy				

Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.

連絡先(メールアドレス)

CANNELL DAVID:cannell.isc@tmd.ac.jp

時間割番号	000638			
科目名	主題別選択 I (Understanding Language and Society)	科目 ID	LA-210536-Z	
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
Language is more than just a tool to communicate ideas or a skill to learn such as speaking a foreign language. Modern thinkers such as John Searle and Pierre Bourdieu have shown that language is primarily responsible for the creation of the social realities and imaginative worlds we live in. In this course we will read and discuss the writings of these thinkers and thereby enlarge our conception of language and the role it plays in modern life.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
2	6/16	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
3	6/23	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
4	6/30	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
5	7/7	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
6	7/14	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
7	7/21	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
授業方法				
A mix of class discussion and mini-lecture				
There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.				
*Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.				
授業内容				
Tentative Schedule				
Week				
1 Orientation, Metaphors We Live By (Lakoff)				
2 Metaphors We Live By (Lakoff)				
3 Mind, Language, and Society (Searle)				
4 Mind, Language, and Society (Searle)				
5 Language & Symbolic Power (Bourdieu)				
6 Language & Symbolic Power (Bourdieu)				
7 Matrix quiz, wrap-up, term paper interviews				
準備学習等についての具体的な指示				
教科書				
Texts will be available as email attachments or handouts.				
備考				
クラス討論は英語				
教材は英語				
Absence policy				
Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.				

Journal

Notebook, A-5 size

連絡先(メールアドレス)

CANNELL DAVID:cannell.isc@tmd.ac.jp

時間割番号	000639																																															
科目名	主題別選択 I (小説の言語と演劇の言語)	科目 ID	LA-210549-Z																																													
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-6) 優れた芸術作品に触れて完成を高める 別表 1-7) 人間の心への理解を高める 別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表 3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>私たちは「言語」を用いながらも、「言語」以外の情報から判断することも少なくない。ある程度文化的な背景を共有していれば、非言語的感覚の共有によって意思の疎通が可能になるだろう。そこで本授業では、小説と戯曲(演劇脚本形態の文学作品)の両方を精読することによって、言語が唯一の情報となる小説の「言語」と、身体表現によってさまざまな情報が補われる演劇の「言語」を比較、分析する。授業を通して、受講者が、「そもそも『言語』とは何なのか」を考え、その答えを共有する契機としたい。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>①日本近代文学を代表する小説と戯曲の両方を読む。 ②精読を通し、小説と戯曲の中の「言語」について考察する。 ③「言語の役割」について、受講者自身が現時点での答えを得る。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>授業で扱う作品を精読して授業に臨む。授業はアクティブラーニングの形式を取り入れ、作品と映像化作品の両方についてコメントシートなど課題を提出する。授業では毎回、リアクションペーパーを課す。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>1) ガイダンス 2) ピエール・ロチ『秋の日本』① 3) ピエール・ロチ『秋の日本』② 4) 芥川龍之介『舞踏会』① 5) 芥川龍之介『舞踏会』② 6) 三島由紀夫『鹿鳴館』① 7) 三島由紀夫『鹿鳴館』② 8) 総括</p>																																																
<p>成績評価の方法</p> <p>期末レポート 60% ・ その他(授業への参加度、毎授業でのリアクションペーパー、提出物など) 40%</p>																																																

再評価： 有(再レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 作品を精読し、授業に臨むこと。コメントシートなど課題は、期日を守って提出すること。
試験の受験資格 3分の2以上の授業に出席していること。 10分以内の遅刻、早退は、3回で1回分の欠席としてカウントする。
教科書 秋の日本／ピエール・ロチ [著]；村上菊一郎，吉永清訳：角川書店，1953 鹿鳴館／三島由紀夫：新潮社，1984 必要に応じて授業内で配布。
参考書 必要に応じて授業内で配布
履修上の注意事項 授業内で扱う作品数は、進行度で変化する。 出欠は毎回取るが、出欠そのものよりも、授業内アンケートやリアクションペーパーの内容を重要視する。
備考 リアクションペーパーや課題を遅れることなく丁寧に取り組み提出しているかを重要視する。

時間割番号	000641			
科目名	主題別選択 I (発がんと確率過程)	科目 ID	LA-210551-Z	
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
がん細胞は体細胞の遺伝子に変異が蓄積することによって生じる。遺伝子の変異は偶然によって生じる確率的な事象である。確率的な現象の時間発展は確率過程として記述される。この講義では発がんのプロセスを確率過程として記述し、解析する手法について説明する。				
授業の到達目標				
発がんのプロセスを確率過程として記述し、解析するために必要な理論について理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
2	4/14	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
3	4/21	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
4	4/28	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
5	5/12	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
6	5/19	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
7	5/26	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
8	6/2	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
授業方法				
講義とアクティブラーニングを実施する				
授業内容				
発がんのプロセスを体細胞の遺伝子に突然変異が蓄積する確率的な事象として捉え、その時間発展である確率過程の理論について説明する。				
<ul style="list-style-type: none"> ・確率論の基礎 ・確率過程 ・がんの基礎知識 ・ランダムウォーク ・ライトフィッシャーモデル ・モランモデル 				
成績評価の方法				
出席、レポート、筆記試験などを参考に総合的に判断する。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
準備は特に不要。各自しっかりと復習すること。				
連絡先(メールアドレス)				
中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
中林 潤:月曜～金曜				
A.M.10:00 - P.M. 05:00				
国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9				

時間割番号	000642																																										
科目名	主題別選択 I (視覚情報と言語)	科目 ID	LA-210552-Z																																								
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-6) 優れた芸術作品に触れて完成を高める 別表 1-7) 人間の心への理解を高める 別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表 3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける																																											
授業の目的、概要等 私たちは「言語」を用いながらも、「言語」以外の情報から判断材料を得ようとすることが多い。ではその情報を得られない人には、どのように伝えるのか。本授業では、目の見えない人物が登場する文学作品から「言語による情報のみで表現する」場合と、「言語を含む情報で表現する」場合の、作家の言語の扱いについて考察する。可能であれば、授業内で「見えない」状況を作り、それを言語のみで正しく伝える試みも企画している。授業を通して、受講者が、「そもそも『言語』とは何なのか」を考え、その答えを共有する契機としたい。																																											
授業の到達目標 ①古典と日本近代文学を代表する作品の両方を読む。 ②「言語」とそれ以外の機能について考察する。 ③「言語の役割」について、受講者自身が現時点での答えを得る。																																											
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																							
授業方法 扱う作品を精読して授業に臨むこと。授業はアクティブラーニングの形式を取り入れ、作品と映像化作品の両方についてコメントシートなど課題を提出する。授業では毎回、リアクションペーパーを課す。																																											
授業内容 1) ガイダンス 2) 謡曲「弱法師」 3) 日本の伝統芸能について 4) 説経節「しんとく」 5) 三島由紀夫「弱法師」① 6) 三島由紀夫「弱法師」② 7) 総括																																											
成績評価の方法 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による																																											
成績評価の基準																																											

<p>期末レポート 60% ・ その他(授業への参加度、毎授業でのリアクションペーパー、提出物など)40%</p> <p>再評価: 有(再レポート)</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>必ず作品を精読して臨み、コメントシートなど課題は必ず期日を守って提出すること</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>3分の2以上の授業に出席していること。</p> <p>10分以内の遅刻、早退は、3回で1回分の欠席としてカウントする。</p>
<p>教科書</p> <p>近代能楽集／三島由紀夫:新潮社</p> <p>必要に応じて授業内で指示。</p>
<p>参考書</p> <p>必要に応じて授業内で指示。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>授業内で扱う作品数は、進行度で変化する。 出欠は毎回取るが、出欠そのものよりも、授業内アンケートやリアクションペーパーの内容を重要視する。</p>
<p>備考</p> <p>毎回のリアクションペーパーや課題を、丁寧に取り組み遅れることなく提出しているかを重要視する。</p>

時間割番号	000644			
科目名	主題別選択 I (数理で理解する発がん)	科目 ID	LA-210554-Z	
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
分子生物学の発展によって発がんのプロセスの詳細は分子のレベルで明らかとなりつつあるが、がん細胞が生体内で発生してから臨床的にがんと診断されるまでには、がん細胞が増殖し、周囲の細胞へ影響を与え、また免疫細胞から逃れたり、複雑なプロセスを経る必要があり、いまだに不明な点が数多く残されている。発がんのプロセスの全容を解明するためには、分子生物学だけでなく様々な視点から発がんのプロセスを捉えることが必要である。この講義では数理科学的な観点から発がんのプロセスを理解するための理論について解説する。				
授業の到達目標				
がん細胞の発生、増殖、がん組織の進展など発がんのプロセスの諸過程を記述する数理モデルについて、その理論を理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
2	6/16	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
3	6/23	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
4	6/30	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
5	7/7	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
6	7/14	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
7	7/21	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
授業方法				
講義とアクティブラーニングを実施する				
授業内容				
発がんのプロセスの諸過程を数理モデルで記述し、解析手法について解説する。 <ul style="list-style-type: none"> ・確率論の基礎 ・確率過程 ・がんの基礎知識 ・ライトフィッシャーモデル ・モランモデル 				
成績評価の方法				
出席、レポート、筆記試験などを参考に総合的に判断する。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
準備は特に不要。復習を各自しっかりと行うこと。				
連絡先(メールアドレス)				
中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
中林 潤:月曜～金曜 A.M.10:00 - P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9				

時間割番号	000645																																															
科目名	主題別選択 I (外国につながる多様な人々と医療)	科目 ID																																														
担当教員																																																
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学部医学科、歯学部歯学科 募集人数: 40 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する 1-4) 異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 1-7)人間の心への理解を深める 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 この授業では、日本で暮らす「外国につながる言語文化的に多様な人々」(日本国籍者も含む)について、特に医療の観点から考えていきます。医療に関わるみなさんが今後どのように「外国につながる人々」と関わっていきたいか／関わっていか／関わっていくことが求められるかについて自分自身の「やり方」と「あり方」を講義と対話を通じて検討し、意識化・言語化していきます。クラスで検討したいトピックがある場合には第一回の授業時にお知らせください。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国につながる人々が置かれている状況について医療と関連づけながら説明できる 2. 外国につながる人々の医療に関する情報を必要に応じて検索したり関連機関に問い合わせたりすることで自ら得ることができる 3. 外国につながる人々との自らの関わり方について言語化し、人に説明することができる 																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
<p>授業方法 講義、アクティブラーニングの形式を取り入れたディスカッション、質疑応答、グループディスカッションの全体共有</p>																																																
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①2つの異なる文化の見方 ――文化の中に人がいるか人の中に文化があるか ②在留資格と日本の医療制度・多文化共生と医療 ③医療通訳と第三者返答 ④やさしい日本語と医療 ⑤国際移動とメンタルヘルス 																																																

<p>⑥「移民の女性化」と医療 ⑦日本で働く「外国人材」と医療 ⑧まとめ——日本社会と「移民・難民」</p>
<p>成績評価の方法 評価：レポート 40%、授業への参加度（リアクションペーパー含む）30%、課題 30% 再評価：有（試験もしくはレポート）</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 初回のための予習：文化とは何か、異文化とは何かについて自分自身の考えを言語化しておいてください。 第2回以降：毎回短い動画(10分-15分程度)の視聴をお願いします。 毎回の復習：リアクションペーパー</p>
<p>教科書 なし(全てオリジナル教材で授業を進めます)</p>
<p>参考書 <外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル> https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000795505.pdf <厚生労働省「医療通訳に関する資料 一覧」> https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000056944.html</p>
<p>履修上の注意事項 原則的に3分の2以上の出席を期末考査・再考査等の受験資格とする。</p>
<p>備考 キーワード：内なるグローバル化、社会言語文化的多様性と医療、在留資格、医療通訳、移民・難民、移民の女性化</p>

時間割番号	000646																																										
科目名	主題別選択 I (外国につながる多様な人々と教育)	科目 ID																																									
担当教員																																											
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学部医学科、歯学部歯学科 募集人数: 40 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する 1-4) 異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 1-7)人間の心への理解を深める 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 この授業では、日本で暮らす「外国につながる言語文化的に多様な人々」(日本国籍者も含む)について、特に教育の観点から考えていきます。医療に関わるみなさんが今後どのように関わっていきたいか／関わっていけるか／関わっていくことが求められるかについて自分自身の「やり方」と「あり方」を講義と対話を通じて検討し、意識化・言語化していきます。クラスで検討したいトピックがある場合には第一回の授業時にお知らせください。</p>																																											
<p>授業の到達目標 1. 外国につながる人々が置かれている状況について教育と関連づけながら説明できる 2. 外国につながる人々の教育に関する情報を必要に応じて検索したり関連機関に問い合わせたりすることで自ら得ることができる 3. 外国につながる人々との自らの関わり方について言語化し、人に説明することができる</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		奈良 雅之,	2	6/16	10:05-10:55		奈良 雅之,	3	6/23	10:05-10:55		奈良 雅之,	4	6/30	10:05-10:55		奈良 雅之,	5	7/7	10:05-10:55		奈良 雅之,	6	7/14	10:05-10:55		奈良 雅之,	7	7/21	10:05-10:55		奈良 雅之,
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
2	6/16	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
3	6/23	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
4	6/30	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
5	7/7	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
6	7/14	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
7	7/21	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
<p>授業方法 講義、アクティブラーニングの形式を取り入れたディスカッション、質疑応答、グループディスカッションの全体共有</p>																																											
<p>授業内容 ①2つの異なる文化の見方 ――文化の中に人がいるか人の中に文化があるか ②外国につながる子どもたちと日本語 ③外国につながる子どもたちと継承語 ④外国につながる子どもたちと教育制度 ⑤子どもたちのことばとアイデンティティ ⑥外国につながる大人たちと教育・ボランティアによる学習支援 ⑦まとめ――越境と教育</p>																																											

<p>成績評価の方法</p> <p>評価：レポート 40%、授業への参加度（リアクションペーパー含む）30%、課題 30%</p> <p>再評価：有（試験もしくはレポート）</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>初回のための予習：文化とは何か、異文化とは何かについて自分自身の考えを言語化しておいてください。</p> <p>第2回以降：毎回短い動画(10分-15分程度)の視聴をお願いします。</p> <p>毎回の復習：リアクションペーパー</p>
<p>教科書</p> <p>なし(全てオリジナル教材で授業を進めます)</p>
<p>参考書</p> <p>＜外国人児童生徒等教育の現状と課題＞</p> <p>https://www.mext.go.jp/content/20210526-mxt_kyokoku-000015284_03.pdf</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>原則的に3分の2以上の出席を期末考査・再考査等の受験資格とする。</p>
<p>備考</p> <p>キーワード：内なるグローバル化、社会言語文化的多様性と教育、教育制度、ことばとアイデンティティ、外国につながる子ども、外国につながる大人、ボランティア</p>

時間割番号	000647																																															
科目名	主題別選択 I (医療行動経済学における患者の意思決定)	科目 ID																																														
担当教員																																																
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
曜日・時間:木曜2限 募集人数:40 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-5), 1-7)																																																
授業の目的、概要等 行動経済学では、合理的な意思決定から系統的に逸脱する傾向、すなわち意思決定のバイアスについての研究がなされている。本講義では、医療現場で起こる行動経済学的な意思決定のバイアスを学ぶ。まず基本的な行動経済学の枠組みを学び、その後、患者やその家族が意思決定をする際に起きやすいバイアスを学習する。どうすればがん治療で適切な意思決定支援ができるのだろうか、どうすればがん検診の受診率を上げられるのだろうか、などを行動経済学的な枠組みで理解する。																																																
授業の到達目標 1. 行動経済学の基礎を理解できるようになる 2. 医療者として医療現場で起こりやすい意思決定のバイアスを理解できるようになる																																																
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
授業方法 講義形式。アクティブラーニングとして、講義内でのグループワークと講義後のリアクションペーパーの提出を課す。																																																
授業内容 1. イントロダクション 2. 行動経済学の基礎1 3. 行動経済学の基礎2 4. 医療現場における患者の意思決定1 5. 医療現場における患者の意思決定2 6. 医療現場における患者の意思決定3 7. 医療現場における患者家族の意思決定 8. まとめ																																																
成績評価の方法 評価：試験 50% ・ レポート 50% ・ その他(講義の参加度と講義毎のリアクションペーパーの内容) 50% 再評価：無																																																

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義後に講義の内容を復習し、リアクションペーパーを提出する。

教科書

特に指定しない

参考書

大竹 文雄・平井 啓 編著『医療現場の行動経済学—すれ違う医者と患者』東洋経済新報社 2018 年
筒井義郎・佐々木俊一郎・山根承子・グレッグ・マルデワ著『行動経済学入門』東洋経済新報社 2017 年

履修上の注意事項

出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理する。

時間割番号	000648																																										
科目名	主題別選択 I (医療行動経済学における医療者の意思決定)	科目 ID																																									
担当教員																																											
開講時期	2022 年度前期	対象年次	2																																								
実務経験のある教員による授業																																											
<p>曜日・時間:木曜2限 募集人数:40 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-5), 1-7)</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 行動経済学では、合理的な意思決定から系統的に逸脱する傾向、すなわち意思決定のバイアスについての研究がなされている。本講義では、医療現場で起こる行動経済学的な意思決定のバイアスを学ぶ。まず基本的な行動経済学の枠組みを学び、その後、医療者が意思決定をする際に起きやすいバイアスを学習する。医療者は医療の専門家であるが、医療者自身も様々な行動経済学的なバイアスのもとで意思決定をしがちであることを理解する。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動経済学の基礎を理解できるようになる 2. 医療者として医療現場で起こりやすい意思決定のバイアスを理解できるようになる 																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		奈良 雅之,	2	6/16	10:05-10:55		奈良 雅之,	3	6/23	10:05-10:55		奈良 雅之,	4	6/30	10:05-10:55		奈良 雅之,	5	7/7	10:05-10:55		奈良 雅之,	6	7/14	10:05-10:55		奈良 雅之,	7	7/21	10:05-10:55		奈良 雅之,
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
2	6/16	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
3	6/23	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
4	6/30	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
5	7/7	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
6	7/14	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
7	7/21	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
<p>授業方法 講義形式。アクティブラーニングとして、講義内でのグループワークと講義後のリアクションペーパーの提出を課す。</p>																																											
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 行動経済学の基礎 1 3. 行動経済学の基礎 2 4. 医療現場における医療者の意思決定 1 5. 医療現場における医療者の意思決定 2 6. 医療現場における医療者の意思決定 3 7. まとめ 																																											
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 % ・ レポート 50% ・ その他(講義の参加度と講義毎のリアクションペーパーの内容) 50% 再評価: 無</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											

準備学習等についての具体的な指示

講義後に講義の内容を復習し、リアクションペーパーを提出する。

教科書

特に指定しない

参考書

大竹 文雄・平井 啓 編著『医療現場の行動経済学—すれ違う医者と患者』東洋経済新報社 2018 年
筒井義郎・佐々木俊一郎・山根承子・グレッグ・マルデワ著『行動経済学入門』東洋経済新報社 2017 年

履修上の注意事項

出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理する。

時間割番号	000701			
科目名	主題別選択Ⅱ (Explorations in Literature Philosophy and Science)	科目 ID	LA-310539-Z	
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある教員による授業				
授業の目的、概要等				
<p>What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
2	4/14	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
3	4/21	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
4	4/28	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
5	5/12	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
6	5/19	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
7	5/26	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
8	6/2	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
授業方法				
A mix of class discussion and mini-lecture				
授業内容				
<p>Tentative Outline</p> <p>Week Date</p> <p>1 Orientation, Robert Nozick "Love's Bond"</p> <p>2 Nozick "Love's Bond"</p> <p>3 Poetry</p> <p>4 Poetry</p> <p>5 Hamabata "Crested Kimono"</p> <p>6 Fisher "Romantic Love: a mammalian brain system for mate choice"</p> <p>7 Fisher "Romantic Love: a mammalian brain system for mate choice"</p> <p>8 Wrap-up + Term Paper Interviews</p>				
準備学習等についての具体的な指示				
教科書				
Texts will be available as email attachments or handouts.				
備考				
<p>Participation</p> <p>There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.</p>				

Absence policy

Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.

連絡先(メールアドレス)

CANNELL DAVID:cannell.isc@tmd.ac.jp

時間割番号	000702			
科目名	主題別選択Ⅱ (Understanding Language and Society)	科目 ID	LA-310136-Z	
担当教員	CANNELL DAVID[David Cannell]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
Language is more than just a tool to communicate ideas or a skill to learn such as speaking a foreign language. Modern thinkers such as John Searle and Pierre Bourdieu have shown that language is primarily responsible for the creation of the social realities and imaginative worlds we live in. In this course we will read and discuss the writings of these thinkers and thereby enlarge our conception of language and the role it plays in modern life.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
2	6/16	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
3	6/23	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
4	6/30	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
5	7/7	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
6	7/14	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
7	7/21	10:05-10:55		CANNELL DAVID, 奈良 雅之
授業方法				
A mix of class discussion and mini-lecture				
There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.				
*Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.				
授業内容				
Tentative Schedule				
Week				
1 Orientation, Metaphors We Live By (Lakoff)				
2 Metaphors We Live By (Lakoff)				
3 Mind, Language, and Society (Searle)				
4 Mind, Language, and Society (Searle)				
5 Language & Symbolic Power (Bourdieu)				
6 Language & Symbolic Power (Bourdieu)				
7 Matrix quiz, wrap-up, term paper interviews				
準備学習等についての具体的な指示				
教科書				
Texts will be available as email attachments or handouts.				
備考				
クラス討論は英語				
教材は英語				
Absence policy				

Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.

Journal

Notebook, A-5 size

連絡先(メールアドレス)

CANNELL DAVID:cannell.isc@tmd.ac.jp

時間割番号	000707																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(科学と疑似科学の境界)	科目ID	LA-310121-Z																																													
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する</p> <p>1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>巷には「マイナスイオン」、「パワーストーン」、「活性水素水」「ホメオパシー」など科学的な根拠がないもの、曖昧なもので溢れています。大学生の科学的な知識があれば、このようなニセ科学(疑似科学)に属するものには絶対だまされるはずはないと過信しがちですが、科学とニセ科学の間に明確な境界線があるわけではなく、白黒がはっきりつかないことがしばしばです。この授業では、社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。受講者にはできるだけ授業に参加できるように、発言、発表する機会を設けたいと思います。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>授業の関連したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める。</p> <p>2000字以上のレポートとしてまとめられることが、GPAにおける「B」に相当する。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。特に3年生の皆さんには積極的に参加して頂き、2年生を引っ張ってほしいと思います。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。</p>																																																
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験0%・レポート80%</p> <p>その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況)</p> <p>再評価: 有</p> <p>授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。</p>																																																
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習: 配付資料、関連資料に目を通してください。</p>																																																

復習:興味のある項目について、文献を調べてください。

試験の受験資格

・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
(レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)

参考書

嘘と絶望の生命科学／榎木英介 著, : 文藝春秋, 2014

メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著, : 名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫, 2010

科学と人間の不協和音／池内了 [著], : 角川書店, 2012

活性酸素／高柳 輝夫 編,大坂 武男 編,大坂 武男 [ほか] 共著,日本化学会 監修, : 丸善

博士漂流時代 : 「余った博士」はどうなるか?／榎木英介 [著], : ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2010

水素水とサビない身体／太田成男 著, : 小学館, 2013

疑似科学入門／池内 了 著, : 岩波書店, 2008

なぜ疑似科学が社会を動かすのか : ヒトはあやしげな理論に騙されたがる／石川幹人著,石川, 幹人, : PHP 研究所, 2016

連絡先(メールアドレス)

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000708			
科目名	主題別選択Ⅱ(環境への適応)	科目ID	LA-310130-Z	
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]			
開講時期	2022年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
<p>・曜日・時間: 木曜 2 限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表 1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する。</p> <p>別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p>				
授業の目的、概要等				
<p>外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物ではほぼ定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に、生物の環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いる。</p>				
授業の到達目標				
<p>1)生体の基本構造を説明することができる。</p> <p>2)生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。</p> <p>3)知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。</p> <p>4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を計画することができる。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
2	6/16	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
3	6/23	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
4	6/30	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
5	7/7	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
6	7/14	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
7	7/21	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
授業方法				
<p>基本的には講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。アクティブラーニングとして、必要であれば、その場で、インターネットにより情報検索を行う。疑問点を抽出する能力を向上させるために、毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。</p>				
授業内容				
<p>生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文(生物の環境適応に関する論文)を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。</p>				
成績評価の方法				
<p>評価: 試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20%</p> <p>再評価: 有</p>				
成績評価の基準				
<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。</p>				
準備学習等についての具体的な指示				
<p>アクティブラーニングとして、予習では予め配布した参考資料(主に英語で書かれた論文)を読んでおくこと。授業内容について疑問点があれば、コメントシートに書く。次回の授業において疑問点について説明する。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案したレポートを提出する。</p>				

試験の受験資格 2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。
教科書 資料を配布する。
参考書 Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,: Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015 ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳.:医学書院, 2005 はじめの一步のイラスト生理学：はじめて学ぶ人のための目で見える教科書／照井直人 編.:羊土社, 2012
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先(メールアドレス) 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000709			
科目名	主題別選択Ⅱ(物理数学演習)	科目ID	LA-310119-Z	
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2-1) 別表4-2) 				
授業の目的、概要等				
<p>私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。</p>				
授業の到達目標				
<p>問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること。GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、演習問題が7割程度解けていることである。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
2	4/14	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
3	4/21	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
4	4/28	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
5	5/12	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
6	5/19	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
7	5/26	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
8	6/2	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
授業方法				
各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を演習時間に充てる。				
授業内容				
物理数学・力学・電磁気学に関する、やや進んだトピックについて説明し、後半に演習問題を解く。				
成績評価の方法				
評価: 試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での小テスト)100%				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。				
参考書				
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版				
履修上の注意事項				
数学・物理学の双方に十分な予備知識を有することが望ましい。				
連絡先(メールアドレス)				
越野 和樹: ikuzak.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
越野 和樹: 毎週月曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 4 階				

時間割番号	000711			
科目名	主題別選択Ⅱ(食品の科学)	科目ID	LA-310123-Z	
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
<p>曜日・時間:木曜日・2 時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。</p>				
主な講義場所				
Zoom による遠隔授業(同期型)				
授業の目的、概要等				
<p>食品は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食品とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性(生体調節機能)」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。本授業では、食の歴史的背景、食品成分の化学的性質を学び、食品の様々な側面についての理解を深めることを目的とする。</p>				
授業の到達目標				
<p>講義、PBL・課題発表により食品を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、PBL や課題発表を行い、自分の考えをレポートにまとめる。 GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55		澤野 頼子
2	4/14	10:05-10:55		澤野 頼子
3	4/21	10:05-10:55		澤野 頼子
4	4/28	10:05-10:55		澤野 頼子
5	5/12	10:05-10:55		澤野 頼子
6	5/19	10:05-10:55		澤野 頼子
7	5/26	10:05-10:55		澤野 頼子
8	6/2	10:05-10:55		澤野 頼子
授業方法				
講義形式およびアクティブラーニング形式(PBL、課題発表など)で行う。				
授業内容				
食の歴史的背景および食品成分の化学的性質について学ぶ。				
成績評価の方法				
評価 : 試験 0% ・ レポート 75% ・ その他(授業への参加度・課題発表) 25%				
再評価: 有				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
<p>講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 授業で扱った事項について、参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。</p>				
試験の受験資格				
定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席講義形式およびアクティブラーニング形式(PBL、課題発表など)で行う。				

(レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)

参考書

食品の科学／上野川修一，田之倉優 編，：東京化学同人，2005

食品学：食品成分と機能性／久保田紀久枝，森光康次郎 編，久保田，紀久枝，1948-，森光，康次郎，1963-，：東京化学同人，2016

ニューフードサイエンス／鮫島邦彦，高橋史生 編著，鮫島，邦彦，1938-，高橋，史生，：三共出版，2005

健康と食生活／吉田勉 編著，吉田，勉，1927-，：学文社，2016

パソコンで学ぶ食品化学：目で見える食品成分とその変化／高野克己，渡部俊弘編著，高野，克己，渡部，俊弘，：三共出版，2005

健康と調理のサイエンス：調理科学と健康の接点／大越ひろ，品川弘子 編著，渡辺敦子，大須賀彰子，藤井恵子，高橋智子，飯田文子 著，：学文社，2017

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000712			
科目名	主題別選択Ⅱ(生物の中の糖)	科目ID	LA-310125-Z	
担当教員	勝又 敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
<p>曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る</p>				
授業の目的、概要等				
<p>糖は生物の中で構造体、エネルギー源をはじめとして、タンパク質、核酸、脂質などと結合して重要な機能を担っている物質である。糖の化学的性質および生体内での機能を、疾病との関連等最新の知見を交えながら講義形式で紹介していく。最後に自分の興味を持った事柄について調べ、プレゼンテーションを行ってもらう(アクティブラーニング)。</p>				
授業の到達目標				
<p>糖の性質と機能について基礎的な知識を身につけ、レポート、プレゼンテーションにまとめられる。 GPA における「B」の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
2	4/14	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
3	4/21	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
4	4/28	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
5	5/12	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
6	5/19	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
7	5/26	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
8	6/2	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
授業方法				
講義形式および一部アクティブラーニングを取り入れる。				
授業内容				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 糖とは何か 2. 糖の種類、および構造、性質 3. 糖の分析法 4. 植物における糖 5. 人の中の糖1 6. 人の中の糖2 7. 糖と疾病 				
成績評価の方法				
<p>評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(発表を含む)等 50% アクティブラーニングを取り入れ以上の通りとする。</p>				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。				
参考書				
コールドスプリングハーバー糖鎖生物学/Ajit Varki [ほか編]鈴木康夫, 木全弘治 監訳,丸善, 2010				
連絡先(メールアドレス)				

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000713																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(宇宙と生命)	科目ID	LA-310127-Z																																													
担当教員	服部 淳彦[HATTORI ATSUSHIKO]																																															
開講時期	2022年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p> <p>2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う。</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>日本人宇宙飛行士が次々と宇宙に飛び立つ光景を見て、宇宙がますます身近な存在として感じられた学生さんも多いのではないだろうか。この授業では、宇宙環境、例えば「無(微小)重量状態」や「宇宙放射線」などが、さまざまな生物(ヒトも含めて)に与える影響について簡単に解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらおう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスをを行う。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>生命科学のトピックス(特に宇宙生物学)について理解し、説明することができる。7割できればGPAにおける「B」に相当する。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>セミナー形式による(各自に発表してもらおう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>国際宇宙ステーションと宇宙環境と生物(概論)</p> <p>無(微小)重力がもたらす脊椎動物への影響</p> <p>無(微小)重力がもたらす無脊椎動物への影響</p> <p>無(微小)重力がもたらす植物への影響</p> <p>重力感受機構</p> <p>宇宙放射線</p> <p>宇宙放射線の生物への影響</p> <p>宇宙医学</p> <p>宇宙医学が地上の医学にもたらすもの</p>																																																
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: その他 100%</p> <p>平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。</p> <p>再評価: 有</p>																																																
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>																																																

準備学習等についての具体的な指示

主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。

連絡先(メールアドレス)

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000714																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(生物間のコミュニケーション)	科目ID	LA-310129-Z																																													
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]																																															
開講時期	2022年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。</p> <p>別表2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>この授業の目的は次の1)～4)である。</p> <p>1)生物間におけるコミュニケーションの方法(ヒトによる言語を含む)とその制御メカニズムを理解する。</p> <p>2)この分野における研究の現状を理解する。</p> <p>3)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させる。</p> <p>4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得する。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>1)生物間におけるコミュニケーションの方法、その制御メカニズム、この分野における研究の現状を説明することができる。</p> <p>2)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。</p> <p>3)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案することができる。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 正則, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		伊藤 正則, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>講義形式で行う。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。アクティブラーニングとして、毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。自身でテーマを見つけ、レポートを作成する。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>ヒトによる言語等の生物間におけるコミュニケーションの方法とその制御メカニズムを説明する。主に、最近の研究論文を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。</p>																																																
<p>成績評価の方法</p> <p>評価:試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20%</p> <p>再評価:有</p>																																																
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>																																																
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案したレポートを提出する。</p>																																																
<p>試験の受験資格</p>																																																

2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。

教科書

必要に応じて参考資料を配布する

参考書

脳とホルモンの行動学：行動神経内分泌学への招待：カラー版／近藤保彦，小川園子，菊水健史，山田一夫，富原一哉 編：西村書店，2010

はじめて学ぶ、脳の構成細胞と情報伝達の基盤／渡辺雅彦著：羊土社，2008-12

行動の神経生物学／ギンター・K.H.ツープンク 著，山元大輔 訳，シュプリンガー・ジャパン，2007

化学受容の科学／東原和成編：化学同人，2012-02

履修上の注意事項

出欠管理システムで出欠を記録する。

連絡先(メールアドレス)

伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000715			
科目名	主題別選択Ⅱ(医療の社会学)	科目ID	LA-310131-Z	
担当教員	藤井 達夫[FUJII Tatsuo]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
曜日・時間: 木曜 2 限 対象学科: 医・歯学科 募集人数: 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、1-10)、2-4)				
授業の目的、概要等				
この授業では、テクノロジーの発展の中で医療が理想とした社会像や、医療が実際に可能にした社会の仕組みを批判的に検討します。その上で、医療との関係において、現在の社会がどこに向かおうとしているのかを考えます。具体的には、18世紀から 20 世紀にかけての近代社会の形成と医療の発展との間の根深く暗い関係を優生思想の観点から議論します。さらに、20 世紀後半に登場する新しい優生思想の影響下で現代の医療が目指す社会像を検討します。今年度は、「優生手術」を手掛かりに、優生思想と障害者問題にも焦点を当てる予定です。				
授業の到達目標				
(1)人文科学・社会科学的な考察から得られる医療に対する知見を深めることができる。 (2)社会のあり方やその仕組みに位置付けて医療の抱える問題を発見し、解決を模索するための視座を得ることができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
2	4/14	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
3	4/21	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
4	4/28	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
5	5/12	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
6	5/19	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
7	5/26	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
8	6/2	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
授業方法				
講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。				
授業内容				
第 1 回 医療が描く理想社会——民族衛生から SDH、そして COVID-19 へ 第 2 回 医療と優生思想 第 3 回 健康優良者からなる社会——ナチス・ドイツの例 第 4 回 健康優良者からなる社会——日本の例 第 5 回 現代の優生思想とそのユートピア 第 6 回 生命が廃棄される社会における障害者——戦後の障害者政策と障害者運動 第 7 回 「青い芝の会」と障害者の自己決定権 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。				
成績評価の方法				
評価 : レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価: 有(再評価方法)レポート				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
必要があれば、授業内で適宜、指示します。				
教科書				

教科書は使用しません。

参考書

ハクスレー『素晴らしい新世界』(講談社文庫、1974 年)

カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』(ハヤカワ epi 文庫、2008 年)

ジグムント・バウマン『近代とホロコースト』(大月書店、2006 年)

横塚晃一『母よ！殺すな』(生活書院、2007 年)

横田弘『障害者殺しの思想』(現代書館、2015 年)

優生手術に対する謝罪を求める会編『優生保護法が犯した罪』(現代書館、2018 年)

マイケル・マーモット『健康格差』(日本評論社、2017 年)

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

連絡先(メールアドレス)

藤井 達夫:fujii.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

藤井 達夫:毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階)

時間割番号	000716																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(ヒトの脳と言語)	科目ID	LA-310133-Z																																													
担当教員	時本 楠緒子[TOKIMOTO Naoko]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間： 木曜・2 限(10:05-10:55)</p> <p>対象学科： 医・歯学科</p> <p>募集人数： 30 人</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。別表 1-7) 人間の心への理解を深める。</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>ヒトに特有の機能とされる言語。なぜヒトだけが言語を持つのでしょうか。講義では言語構造および言語を可能にするヒトの脳構造と心的機能を概観し、失語症、子どもの言語獲得と脳神経系の発達、臨界期仮説を解説します。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた言語の生物学的起源についての知見を紹介します。言語学、心理学、神経科学の側面から、言語への理解を深めましょう。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>(1) 言語の成り立ちとメカニズムを学ぶ。(2) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶとともに、言語コミュニケーションを担うヒトの脳構造について理解する。(3) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>基本的に講義形式で行う。アクティブラーニングの形式を取り入れ、毎回の授業の初めにリアクションペーパーへのフィードバックも予定している。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>4 月 7 日 言語とは 4 月 14 日 言語の研究法・失語症 4 月 21 日 言語獲得と脳 4 月 28 日 言語獲得の臨界期 5 月 12 日 言語の神経基盤 5 月 19 日 言語の神経基盤(2) 5 月 26 日 言語の生物学的起源 6 月 2 日 ヒトの脳と言語</p>																																																
<p>成績評価の方法</p> <p>評価： 試験 % ・ レポート 70 % ・ その他(リアクションペーパー) 30 %</p> <p>再評価： 有(レポート) ・ 無</p>																																																
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																
<p>準備学習等についての具体的な指示</p>																																																

予習は特に求めませんが、授業の理解が難しい場合は、適宜紹介する参考文献で復習してください。また、講義後に疑問点やコメントを書いて頂くリアクションペーパーをもとに解説や議論を行います。

教科書

指定しない

参考書

「カンデル神経科学 第5版」金澤一郎 他監修, メディカルサイエンスインターナショナル, 2014.

「あいまいな会話はなぜ成立するのか」時本真吾, 岩波書店, 2020. その他、抗議中に随時紹介します。

履修上の注意事項

レポート提出の資格は、原則として授業回数の2/3以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000719			
科目名	主題別選択Ⅱ(植物の科学)	科目ID	LA-310124-Z	
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
<p>曜日・時間:木曜日・2 時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>				
主な講義場所				
Zoom による遠隔授業(同期型)				
授業の目的、概要等				
植物は地球上のあらゆる生物の生存を支えている。動物の食物として役立つだけでなく、光合成によって大気圏の二酸化炭素を吸収して酸素を供給し、大気環境を保持する役割をもつ。また、人間は、太古に繁殖していた植物の遺体を化石燃料として、医療現場では植物中の有効成分から誘導された医薬品を利用している。本授業では、植物の構造・成長・代謝などに関する基礎的な知識を講義を通して学び、人類と植物との関わりについて考える。				
授業の到達目標				
講義、PBL・課題発表により植物を歴史のおよび科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。 GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55		澤野 頼子
2	6/16	10:05-10:55		澤野 頼子
3	6/23	10:05-10:55		澤野 頼子
4	6/30	10:05-10:55		澤野 頼子
5	7/7	10:05-10:55		澤野 頼子
6	7/14	10:05-10:55		澤野 頼子
7	7/21	10:05-10:55		澤野 頼子
授業方法				
講義形式およびアクティブラーニング形式(PBL、課題発表など)で行う。				
授業内容				
植物の構造・成長・代謝や人類との関わりについて学ぶ。				
成績評価の方法				
評価 : 試験 0% ・ レポート 75% ・ その他(授業への参加度・課題発表) 25%				
再評価: 有				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 授業で扱った事項について、参考書やインターネット等で知識を整理し、自分なりの考えをまとめる。				
試験の受験資格				
定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席(各回の Zoom 授業への参加および WebClass への課題提出の双方により出席確認を行う) (レポートをもって、定期試験・再試験の代替とする。)				
参考書				
植物生理学/三村徹郎, 鶴見誠二 編著, : 化学同人, 2009				

ベーシックマスター 植物生理学／塩井祐三, 井上弘, 近藤矩朗 共編.:オーム社, 2009

植物生理学概論／桜井英博 [ほか] 共著,桜井, 英博,柴岡, 弘郎(1934-),高橋, 陽介,小関, 良宏,藤田, 知道(1964-),.:培風館, 2017

新しい植物科学 : 環境と食と農業の基礎／神阪盛一郎, 谷本英一 共編,神阪, 盛一郎, 1940-,谷本, 英一,.:培風館, 2010

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000721																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(現代社会と時間)	科目ID	LA-310540-Z																																													
担当教員	飯田 卓[IIDA SUGURU]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間:木曜2限 募集人数:10名以内 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)人間の歴史的営みを理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>ドイツの児童文学作家ミヒャエル・エンデの『モモ』に登場する「灰色の男たち」(時間泥棒)は、次のように語っている。「人間の時間を手中に収めれば、無限の権力を握ることができる」と。だが、時間はどのような意味で権力と言えるのだろうか。また、私たちは毎日のように時間に追われる生活を送っているが、たとえば時間を節約するとはどういうことだろうか。そもそも節約などできるのだろうか。同じ1時間を長く感じたり短く感じたりするのはなぜだろうか。さらに、現代社会において自明なものとして表象される直線的な時間は、時間というものを適切に捉えているのだろうか。時間を直線として、すなわち様々な時点が並列した秩序として捉えることは、時間ではなく空間的なものを想定しているのではないだろうか。時点とは本来、そのつど生成しては消滅してゆく今(現在)を意味するはずであり、そうした意味での今は、点として他の点と並んで残り続けるようなものとは対極をなすものではないだろうか。この授業では、私たちが自明視している時間概念に疑いの眼差しを向けることを通じて時間の本性に迫るとともに、とくに時間と社会との密接なつながりについて考察したい。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>(1)時間に関する基礎概念を身につける。 (2)「主観的時間」と「客観的時間」との関係を理解する。 (3)部分と全体とを関連づけて思考する技法を身につける。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>演習形式、アクティブラーニング</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>主として、文献講読と受講者によるプレゼンテーションを予定している。現代社会と時間に関する文献を用いて、以下の内容を中心に考察する予定である。</p> <p>(1)暦と時計時間 (2)権力としての時間 (3)量的時間・質的時間 (4)線形時間 (5)社会と時間</p>																																																
<p>成績評価の方法</p>																																																

<p>評価：試験 0%・レポート 0%・その他(授業への参加度——発表、質疑応答、毎回の課題による) 100%</p> <p>再評価：有(レポートの予定)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>配布された文献は、次回までに精読しておいてください。</p>
<p>教科書</p> <p>とくに必要ありません。</p>
<p>参考書</p> <p>M.エンデ『モモ』岩波少年文庫(2005年)、伊藤美登里『現代人と時間——もうみんないっしょではいられない』学文社(2008年)、西本郁子『時間意識の近代——「時は金なり」の社会史』法政大学出版局(2006年)、橋本毅彦・栗山茂彦編著『遅刻の誕生——近代における時間意識の形成』三元社(2001年)、内山節『時間についての二章——哲学における時間の問題』岩波書店(2011年)、B.アダム『時間と社会理論』法政大学出版局(1997年)、J.リフキン『タイムウォーズ』等</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>コメントシートを配布し、出欠をとります。</p>

時間割番号	000722																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(ドロモロジーと人間)	科目ID	LA-310541-Z																																								
担当教員	飯田 卓[IIDA SUGURU]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間:木曜2限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:10名以内 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)人間の歴史的営みを理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>情報革命は時間と空間を極度に圧縮することによって、それ以前の革命とはまったく異なる質的变化を個人と社会に引き起こした。P・ヴィリリオはこのような変化を「速度」という観点から考察し、「今・ここ」ではない「いつか・どこか」の前方へと追い立てる強制力を「ドロモロジー」と呼んでいる。これは、「今・ここ」という現在を「いつか・どこか」という未来へと総動員することによって、「今・ここ」という現在を収奪することを意味している(「今・ここ」ではない「いつか・どこか」の為に生きること)。この授業では、国家や政治や社会の体制を、それゆえ社会的存在たる人間の生き方をその内部から規定し突き動かす「ドロモロジー」の原理とその派生的問題について、主として時間の観点から考察し、現代社会における人間の生の意味を問うてみたい。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>(1)ドロモロジーの基本構造について、社会制度(や制度が生み出す問題)と関わらせて理解する。 (2)「今・ここ」(現在)の意味を問い直すことができる。 (3)部分と全体とを関連づけて思考する技法を身につける。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>飯田 卓, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		飯田 卓, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>演習形式、アクティブラーニング</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>主として、文献講読と受講者によるプレゼンテーションを予定している。参考書の欄に挙げたような文献を用いて、以下の内容を中心に考察する予定である。</p> <p>(1)線形時間 (2)ドロモロジー (3)前望構造と進歩史観 (4)生のユーティリティ化 (5)生きられる現在</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加度——発表、質疑応答、毎回の課題による) 100% 再評価: 有(レポートの予定)</p>																																											

<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>配布された文献は、次回までに精読しておいてください。</p>
<p>教科書</p> <p>とくに必要ありません。</p>
<p>参考書</p> <p>P.ヴィリリオ『瞬間の君臨——リアルタイム世界の構造と人間社会の行方』新評論(2003年)、P.ヴィリリオ『速度と政治——地政学から時政学へ』平凡社(2001年)、古東哲明『瞬間を生きる哲学——〈今ここ〉に佇む技法』筑摩書房(2011年)、古東哲明『ハイデガー＝存在神秘の哲学』講談社現代新書(2002年)、佐藤透『人生の意味の哲学——時と意味の探求』春秋社(2012年)、J・レフキン『タイムウォーズ』早川書房(1989)、鷲田清一『だれのための仕事』講談社学術文庫(2011年)、鷲田清一『「待つ」ということ』角川選書(2006年)等</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>コメントシートを配布し、出欠をとります。</p>

時間割番号	000723																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(昆虫にみられる社会性の進化)	科目ID	LA-310542-Z																																													
担当教員	山崎 和久[YAMASAKI Kazuhisa]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科、歯学科 募集人数:20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表 2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 ヒトは社会を高度に発達させ、現代まで繁栄してきた。社会性は哺乳類に限られた機構ではなく、実際には様々な分類群で見られる。そのなかでも昆虫は、最も社会性を多様に進化させた分類群の 1 つである。昆虫には親が子を守り育てる亜社会性から、繁殖階級と労働階級が分業する真社会性まで、多様な社会性の機構が存在する。そのなかでは、個体間の協働や繁殖競争などの特徴的な生態が見られる。本講義では真社会性を持つハチやアリの仲間を中心に、昆虫の多様な社会性とその進化について紹介する。彼らの社会とヒトの社会を比較し、その共通点と相違点について学ぶ。</p>																																																
<p>授業の到達目標 昆虫をはじめとした生物にみられる社会の多様性について理解を深める。また、当該分野における研究手法を学ぶ。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。また、課題発表等を介したアクティブラーニングを実施する。</p>																																																
<p>授業内容 第 1-4 回:社会性の成り立ち 第 5-7 回:社会性の多様化</p>																																																
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加) 30% 再評価: 有(レポート)</p>																																																
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																

準備学習等についての具体的な指示

予習は教員が指定した回に限って要求する。教員が提示したキーワード等に対して、各人が自らの考えをまとめておく。各回の講義の終了後には、教員がアップロードするなどして資料を公開する。そのまとめの項目などを参考に、各人で復習する。意見や疑問点はリアクションペーパーに記述して教員に提出する。

教科書

指定なし。

参考書

- ・生き物の進化ゲーム—進化生態学最前線:生物の不思議を解く— 大改訂版 酒井聡樹ほか(共立出版) 2012
- ・社会性昆虫の進化生態学 松本 忠夫、東正剛 共編(海遊舎) 1993
- ・社会性昆虫の進化生物学 東正剛、辻 和希 共編(海遊舎) 2011

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと授業中の点呼を併用する。また、3分の2以上の出席を前提とし、評価の対象とする。時勢により遠隔授業となる場合も、基本的に形式は同様である。決められた時限に双方向型の授業を行い、そのなかで出席確認を行う。

時間割番号	000724																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(昆虫の社会性の維持機構)	科目ID	LA-310543-Z																																								
担当教員	山崎 和久[YAMASAKI Kazuhisa]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科、歯学科 募集人数:20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表 2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 別表 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 社会性を持つ生物は個体間で協力的行動をとる。この協力的行動は単なる自己犠牲ではなく、自己の利益に繋がる適応的な行動という側面を持つ。ヒトが制度や法令に従って社会を維持することと同様に、他の生物も彼らの社会性を維持するための機構を持つ。本講義では昆虫のなかでも高度に社会性を進化させたハチ・アリ類を中心に、社会性の維持機構を紹介する。彼らがどのような制度に従うことで社会性を維持し得るのか、何が社会性を崩壊させる脅威になり得るのかを理解することで、ヒトが自らの社会を安定的に維持するためのヒントを学ぶ。</p>																																											
<p>授業の到達目標 昆虫をはじめとした生物の社会性の維持機構とその崩壊要因について理解を深める。そこから、ヒトが社会で生きる上での制度の重要性を学ぶ。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>山崎 和久, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		山崎 和久, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。また、課題発表等を介したアクティブラーニングを実施する。</p>																																											
<p>授業内容 第 1-4 回:社会性の成り立ち 第 5-7 回:社会性の維持と制度のかかわり</p>																																											
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加) 30% 再評価: 有(レポート)</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											

準備学習等についての具体的な指示

予習は教員が指定した回に限って要求する。教員が提示したキーワード等に対して、各人が自らの考えをまとめておく。各回の講義の終了後には、教員がアップロードするなどして資料を公開する。そのまとめの項目などを参考に、各人で復習する。意見や疑問点はリアクションペーパーに記述して教員に提出する。

教科書

指定なし。

参考書

- ・生き物の進化ゲーム—進化生態学最前線:生物の不思議を解く— 大改訂版 酒井聡樹ほか(共立出版) 2012
- ・社会性昆虫の進化生態学 松本 忠夫、東正剛 共編(海遊舎) 1993
- ・社会性昆虫の進化生物学 東正剛、辻 和希 共編(海遊舎) 2011

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと授業中の点呼を併用する。また、3分の2以上の出席を前提とし、評価の対象とする。時勢により遠隔授業となる場合も、基本的に形式は同様である。決められた時限に双方向型の授業を行い、そのなかで出席確認を行う。

時間割番号	000725			
科目名	主題別選択Ⅱ(微分方程式演習)	科目ID	LA-310120-Z	
担当教員	越野 和樹[KOSHINO KAZUKI]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2-1) 別表4-2) 				
授業の目的、概要等				
<p>私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。</p>				
授業の到達目標				
<p>問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること。GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、演習問題が7割程度解けていることである。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
2	6/16	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
3	6/23	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
4	6/30	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
5	7/7	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
6	7/14	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
7	7/21	10:05-10:55		越野 和樹, 奈良 雅之
授業方法				
各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を演習時間に充てる。				
授業内容				
物理数学・力学・電磁気学に関する、やや進んだトピックについて説明し、後半に演習問題を解く。				
成績評価の方法				
評価: 試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での小テスト)100%				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。				
参考書				
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版				
履修上の注意事項				
数学・物理学の双方に十分な予備知識を有することが望ましい。				
連絡先(メールアドレス)				
越野 和樹: ikuzak.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
越野 和樹: 毎週月曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 4 階				

時間割番号	000726																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(タンパク質科学の光と影)	科目ID	LA-310122-Z																																								
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-3)人間の歴史的営みを理解する。</p> <p>1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る</p> <p>4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業ではタンパク質研究におけるX線、核磁気共鳴(NMR)、赤外線という電磁波の活用に焦点を当てます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、タンパク質科学の「光と影」について理解を深めます。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める。</p> <p>2000字以上のレポートとしてまとめられることが、GPAにおける「B」に相当する。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。特に3年生の皆さんには積極的に参加してほしいと思います。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>21世紀はタンパク質の時代ともはやされて、この18年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポストドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験0%・レポート 80%</p> <p>その他(授業への参加度 20%)</p> <p>再評価: 有</p> <p>授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。</p>																																											
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											

準備学習等についての具体的な指示

予習: 配付資料に目を通してください。

復習: 興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。

試験の受験資格

・定期試験・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席
(レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)

参考書

タンパク質の生命科学: ポスト・ゲノム時代の主役 / 池内俊彦 著, : 中央公論新社, 2001

ポストゲノム時代のタンパク質科学: 構造・機能・ゲノミクス / Arthur M. Lesk 著, 高木淳一 訳, : 化学同人, 2007

入門構造生物学: 放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く / 高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編, : 共立出版, 2010

タンパク質の構造と機能: カラー図説 / グレゴリー A. ペツコ / 著, ダグマール リンゲ / 著, 横山 茂之 / 監訳, 宮島 郁子 / 訳, : メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005

連絡先(メールアドレス)

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000727																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(生命科学と技術)	科目ID	LA-310137-Z																																													
担当教員	瀬川 勝盛, 澁谷 浩司, 田中 光一, 松田 憲之, 伊藤 暢聡, 佐々木 雄彦, 二階堂 愛, 高地 雄太[SEGAWA Katsumori, SHIBUYA HIROSHI, TANAKA KOICHI, MATSUDA Noriyuki, ITO NOBUTOSHI, SASAKI Takehiko, NIKAIDOU Itoshi, KOUCHI Yuuta]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) <ul style="list-style-type: none"> 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 2-2) 自然現象を探求するための手法を知る 																																																
授業の目的、概要等 難治疾患研究所は、難治疾患をその学理と応用の研究により克服し、人々の健康と社会の福祉に貢献することを理念とします。本研究所では、がん・感染症・生活習慣病など様々な難治疾患を対象として、ビッグデータ・ゲノム編集など最新の技術を駆使して基礎医学研究に取り組んでいます。本授業では、各回、異なる教員がそれぞれ専門の話題を提供し、最前線の研究に触れてもらうことを目的とします。生命科学を飛躍的に発展させたテクノロジーに力点を置いた研究を紹介します。																																																
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>瀬川 勝盛</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>澁谷 浩司</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>田中 光一</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>松田 憲之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>伊藤 暢聡</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>佐々木 雄彦</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>二階堂 愛</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>高地 雄太</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		瀬川 勝盛	2	4/14	10:05-10:55		澁谷 浩司	3	4/21	10:05-10:55		田中 光一	4	4/28	10:05-10:55		松田 憲之	5	5/12	10:05-10:55		伊藤 暢聡	6	5/19	10:05-10:55		佐々木 雄彦	7	5/26	10:05-10:55		二階堂 愛	8	6/2	10:05-10:55		高地 雄太
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		瀬川 勝盛																																												
2	4/14	10:05-10:55		澁谷 浩司																																												
3	4/21	10:05-10:55		田中 光一																																												
4	4/28	10:05-10:55		松田 憲之																																												
5	5/12	10:05-10:55		伊藤 暢聡																																												
6	5/19	10:05-10:55		佐々木 雄彦																																												
7	5/26	10:05-10:55		二階堂 愛																																												
8	6/2	10:05-10:55		高地 雄太																																												
授業方法 講義形式を予定していますが、積極的な質問を歓迎し、これに対する討論を行うなど、アクティブラーニングを取り入れます。																																																
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。																																																
準備学習等についての具体的な指示																																																
試験の受験資格 ・定期試験、再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 (レポートにより定期試験、再試験の代替とする。)																																																

時間割番号	000728																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(生命科学と医学)	科目ID	LA-310138-Z																																								
担当教員	仁科 博史, 岡澤 均, 檜木 俊聡, 古川 哲史, 田賀 哲也, 清水 重臣, 佐藤 憲子[NISHINA HIROSHI, OKAZAWA HITOSHI, OTEKI TOSHIAKI, FURUKAWA TETSUSHI, TAGA TETSUYA, SHIMIZU SHIGEOMI, SATO NORIKO]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) <ul style="list-style-type: none"> 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 2-1) 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る 2-2) 自然現象を探求するための手法を知る 																																										
授業の目的、概要等	<p>難治疾患研究所は、難治疾患をその学理と応用の研究により克服し、人々の健康と社会の福祉に貢献することを理念とします。本研究所では、がん・感染症・生活習慣病など様々な難治疾患を対象として、再生医療・核酸医薬など最新の技術を駆使して基礎医学研究に取り組んでいます。</p> <p>本授業では、各回、異なる教員がそれぞれ専門の話題を提供し、最前線の研究に触れてもらうことを目的とします。医療現場を意識した基礎研究を紹介します。</p>																																										
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>岡澤 均</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜木 俊聡</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>古川 哲史</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>田賀 哲也</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>清水 重臣</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>佐藤 憲子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>仁科 博史</td> </tr> </tbody> </table>			回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		岡澤 均	2	6/16	10:05-10:55		檜木 俊聡	3	6/23	10:05-10:55		古川 哲史	4	6/30	10:05-10:55		田賀 哲也	5	7/7	10:05-10:55		清水 重臣	6	7/14	10:05-10:55		佐藤 憲子	7	7/21	10:05-10:55		仁科 博史
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		岡澤 均																																							
2	6/16	10:05-10:55		檜木 俊聡																																							
3	6/23	10:05-10:55		古川 哲史																																							
4	6/30	10:05-10:55		田賀 哲也																																							
5	7/7	10:05-10:55		清水 重臣																																							
6	7/14	10:05-10:55		佐藤 憲子																																							
7	7/21	10:05-10:55		仁科 博史																																							
授業方法	<p>講義形式を予定していますが、積極的な質問を歓迎し、これに対する討論を行うなど、アクティブラーニングを取り入れます。</p>																																										
授業内容	<p>各回、異なる教員がそれぞれ専門の話題を提供し、最前線の研究に触れてもらうことを目的とします。医療現場を意識した基礎研究を紹介します。</p>																																										
成績評価の基準	<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>																																										
準備学習等についての具体的な指示																																											
試験の受験資格	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験、再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 (レポートにより定期試験、再試験の代替とする。) 																																										

時間割番号	000729																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(危険物の科学)	科目ID	LA-310126-Z																																								
担当教員	勝又 敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 化学物質を扱うために、安全や環境保護など様々な理由から法による規制が行われている。その中で火災予防を目的として危険物が消防法により規定され、その取り扱いの監督者には資格が必要となる。危険物の化学的性質やその火災事例、消火法などを講義形式で紹介していく。最後にグループ討論を行い安全について議論してもらう。</p>																																											
<p>授業の到達目標 危険物の安全な取扱方法を理解し、レポートにまとめることができる。 GPA における「B」の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>勝又 敏行, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		勝又 敏行, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法 講義形式一部アクティブラーニングを取り入れる。</p>																																											
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 関係法令 2. 危険物とは何か 3. 消火法について 4. 第1類～第2類の性質、事故事例等 5. 第3類～第4類の性質、事故事例等 6. 第5類～第6類の性質、事故事例等 7. グループ討論 																																											
<p>成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(グループ討論などを含む)等 50% レポートの内容および授業への参加度を考慮し、以上の通りとする。</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。</p>																																											
<p>参考書 基礎火災現象原論／James G.Quintiere 著,大宮喜文,若月薫 訳,共立出版, 2009</p>																																											
<p>連絡先(メールアドレス) 勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp</p>																																											

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000730			
科目名	主題別選択Ⅱ(老化と寿命)	科目ID	LA-310128-Z	
担当教員	服部 淳彦[HATTORI ATSUSHIKO]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
<ul style="list-style-type: none"> ・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) <ul style="list-style-type: none"> 2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。 2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う。 				
授業の目的、概要等				
<p>「生あるものは必ず死を迎える」というが、果たして本当であろうか。生物学的に言えば、NOである。細菌などの原核生物は、環境さえ良ければ無限に分裂を繰り返す、生き延びることができるのである。一方、我々ヒトを含めた有性生殖を行う動物は、どんなに環境を整えても必ず死が訪れる。この授業では、「老化」に焦点を当て、老化の原因と老化に関連した病気についてははじめに解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスをを行う。</p>				
授業の到達目標				
生命科学のトピックス(加齢現象)について理解し、説明することができる。7割できればGPAIにおける「B」に相当する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
2	6/16	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
3	6/23	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
4	6/30	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
5	7/7	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
6	7/14	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
7	7/21	10:05-10:55		服部 淳彦, 奈良 雅之
授業方法				
セミナー形式による(各自に発表してもらう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。				
授業内容				
<p>老化現象と老化の原因(概要)</p> <p>骨と筋の老化</p> <p>感覚器(視覚・聴覚)の老化</p> <p>皮膚の老化</p> <p>脳の老化</p> <p>血管の老化</p> <p>老化と遺伝子</p> <p>老化と環境要因</p> <p>抗加齢医学</p>				
成績評価の方法				
<p>評価: その他 100%</p> <p>平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。</p> <p>再評価: 有</p>				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習等についての具体的な指示				
主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。				
連絡先(メールアドレス)				

服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000732																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(民主主義を再考する)	科目ID	LA-310132-Z																																								
担当教員	藤井 達夫[FUJII Tatsuo]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間：木曜 2 限 対象学科：医・歯学科 募集人数：25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)1-1)、1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、2-4)、3-5)</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 民主主義は今、危機にあります。その危機は二つの方面から到来しています。一つは、民主主義国の国内から。欧米の民主主義諸国は軒並みポピュリズム化し、権威主義的自由主義に飲み込まれつつあります。もう一つは、中国をはじめとする非民主主義国の台頭です。非民主主義的権威主義国家の国際社会でのプレゼンスの増大は、外側から民主主義諸国を動揺させ始めています。「もしかして、民主主義は時代遅れなのか？」と。そこで、民主主義の理念と制度の基礎を押さえつつ、今年度は、世界のそして日本の民主主義が機能不全に陥った原因について検討します。批判の焦点は近代民主主義の制度的基礎である代表制度——選挙と政党——です。そしてポスト代表制度の民主主義はどうあるべきかについて議論することで、これからの私たちの社会を立て直す道筋を履修生の皆さんと一緒に考えます。</p>																																											
<p>授業の到達目標 (1)民主主義理論の基本的な理解を習得し、現代の社会が抱える問題について議論することができる。 (2)人権、社会的公正さといった規範的な視点から現代社会のあるべき姿について検討し、議論することができる。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>藤井 達夫, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		藤井 達夫, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。</p>																																											
<p>授業内容 第1回 今の政治に満足か？——中国的統治モデルの誘惑—— 第2回 古代の民主主義——クジと非支配 第3回 近代民主主義①——国民主権 第4回 近代民主主義②——代表制度 第5回 代表制度と選挙——その黄金期の社会的条件 第6回 代表制度の行き詰まりとその病理——ポピュリズムと二つの権威主義 第7回 ポスト代表制度の民主主義を構想する——参加と熟議 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。</p>																																											
<p>成績評価の方法 評価：レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価：有(再評価方法)レポート</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示</p>																																											

必要があれば、授業内で適宜、指示します。

教科書

代表制民主主義はなぜ失敗したのか／藤井達夫:集英社, 2021

参考書

不平等を考える : 政治理論入門／斎藤純一:筑摩書房

ポピュリズムとは何か : 民主主義の敵か、改革の希望か／水島治郎:中央公論新社

代議制民主主義 : 「民意」と「政治家」を問い直す／待鳥聡史:中央公論新社

選挙制を疑う／ダーヴィッド・ヴァン・レイブルック:法政大学出版局, 2019

「平成」の正体 : なぜこの社会は機能不全に陥ったのか／藤井達夫:イースト・プレス, 2018

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

連絡先(メールアドレス)

藤井 達夫:fujii.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

藤井 達夫:毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階)

時間割番号	000733																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(英語で学ぶヒトの脳と言語)	科目ID	LA-310134-Z																																								
担当教員	時本 楠緒子[TOKIMOTO Naoko]																																										
開講時期	2022年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間： 木曜・2限(10:05-10:55)</p> <p>対象学科： 医・歯学科</p> <p>募集人数： 20人</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。別表1-7) 人間の心への理解を深める。別表2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>地球上でヒトだけが言語を持ちます。この講義では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を資料として、言語構造および言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、失語症、子どもの言語獲得と脳神経系の発達、臨界期仮説を学びます。また、近年の言語研究において、動物の音声コミュニケーション研究が与える影響についても取り上げる予定です。講義は英語資料に基づき、日本語と英語で行い、言語学、心理学、神経科学の側面から、言語への理解を深めていきます。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>(1) 言語の成り立ちとメカニズムを学ぶ。(2) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶとともに、言語コミュニケーションを担うヒトの脳構造について理解する。(3) 言語と脳に関する英語の文献を読み、議論する。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>時本 楠緒子, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		時本 楠緒子, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>初回から数回は講義形式で行う。以降はアクティブラーニングを取り入れ、受講生が選んだテーマをもとに論文紹介と討論を行う。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>6月9日 Overview of the human language 6月16日 Language circuits in the brain 6月16日 Language acquisition 6月23日 Critical period for language learning 6月30日 Second-language and sign language 7月7日 Animal behavior similar to language 7月14日 Comparison between bird song and human language 7月21日 Comparison between behavior of primates and human language</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価： 試験 0%・レポート(英語) 60%・その他(論文紹介・討論) 40%</p> <p>再評価： 有(レポート提出)</p>																																											
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>講義回の予習は求めませんが、授業の理解が難しい場合は、参考文献で復習してください。論文紹介のため、早めに興味</p>																																											

を絞っていきます。テーマの選択や論文検索については、適宜相談にのります。

教科書

指定しない

参考書

Principles of Neural Science, Sixth Edition, Eric R. Kandel et al., 2012 McGraw-Hill. その他、講義中に随時紹介します。

履修上の注意事項

レポート提出の資格は、原則として授業回数の 2/3 以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000734					
科目名	主題別選択Ⅱ(中国語と中国文化)	科目ID	LA-310544-Z			
担当教員	BAO MIN[BAO Min]					
開講時期	2022年度前期	対象年次	3			
実務経験のある 教員による授業						
<p>・曜日・時間: 木曜2限 ・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-3)人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表1-4)異なる空間の文化を理解する</p> <p>別表3-4)外国文化を理解する</p>						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
<p>言語は文化のキャリアーであります。民族、国家、社会制度、経済形態、価値観、思考方式、風俗習慣等はそのいずれをとっても言語に反映されないものはないです。本授業では、中国語の語音と中国文化、漢字と中国文化、中国語の語彙と中国文化、中国語の文法と中国文化、中国語の数字と中国文化、氏名・別称・地名と中国文化、中国語と中国の生活風俗に関する内容などを紹介します。中国語の短文と共に、日本語訳を配付して解説するので、中国語履修者でなくても、中国文化に興味があれば受講できます。</p>						
授業の到達目標						
授業を通して、中国語と中国文化の関係を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/7	10:05- 10:55		第1回 授業の概要説明、中国語の語音と中国文化	語音による置換と縁起かつぎ 語音と言葉の改造	BAO MIN, 奈良 雅之
2	4/14	10:05- 10:55		第2回 漢字と中国文化	文字に関する迷信と崇拝について 漢字から見た古代女性の社会的地位	BAO MIN, 奈良 雅之
3	4/21	10:05- 10:55		第3回 中国語の語彙と中国文化	語彙と科挙制度 語彙および特有の思想、観念	BAO MIN, 奈良 雅之
4	4/28	10:05- 10:55		第4回 中国語の文法と中国文化	中国語の語彙の兼類現象 中国語の対句芸術と民俗	BAO MIN, 奈良 雅之
5	5/12	10:05- 10:55		第5回 中国語の数字と中国文化	中国語の中の数字文化	BAO MIN, 奈良 雅之
6	5/19	10:05- 10:55		第6回 氏名・別称・地名と中国文化	中国人の姓氏と姓氏観念 地名と文化	BAO MIN, 奈良 雅之
7	5/26	10:05- 10:55		第7回 中国語と中国の生活風俗	食の問題及び関連する言語現象 婚姻と婚姻に関連する言語現象	BAO MIN, 奈良 雅之
8	6/2	10:05- 10:55		第8回 まとめ	これまでの内容を振り返り、中国語と中国文化の関係をまとめる	BAO MIN, 奈良 雅之
授業方法						
<p>講義と演習による。</p> <p>事前にプリントを渡し、関連内容を調べておくこと。毎回2, 3の短文を購読する。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。</p>						
授業内容						
第1回 授業の概要説明、中国語の語音と中国文化						

<p>第2回 漢字と中国文化 第3回 中国語の語彙と中国文化 第4回 中国語の文法と中国文化 第5回 中国語の数字と中国文化 第6回 氏名・別称・地名と中国文化 第7回 中国語と中国の生活風俗 第8回 まとめ</p>
<p>成績評価の方法 試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度) 30% 再評価: 有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示 毎回プリントを配布する。中国語の原文を使い、日本語で説明するが、事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。</p>
<p>試験の受験資格 2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。</p>
<p>教科書 魯宝元著(2006)『漢語與中国文化』、華語教学出版社 プリントを配布します。</p>
<p>参考書 中国文化 55 のキーワード／武田雅哉, 加部勇一郎, 田村容子 編著, 武田, 雅哉, 1958-, 加部, 勇一郎, 1973-, 田村, 容子, 1975-, : ミネルヴァ書房, 2016 テーマで読み解く中国の文化／湯浅邦弘編著, 湯浅, 邦弘, 宮本, 一夫, 横田, 恭三, 中村, 未来, 佐藤, 一好, 宇田川, 幸則, 古田, 茂美, 浅見, 洋二, 谷口, 高志, 草野, 友子, 福田, 一也, 鶴成, 久章, 椛島, 雅弘, 川野, 明正, 近藤, 浩之, 渡邊, 英幸, 町, 泉寿郎, 合山, 林太郎, 陶, 徳民, 柿沼, 陽平, : ミネルヴァ書房, 2016 中国百科／中国国際放送局日本語部編訳 ; 王丹丹 [ほか] 翻訳, 北京放送局日本語部, 王, 丹丹, : 科学出版社東京, 2016</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。</p>

時間割番号	000735					
科目名	主題別選択Ⅱ(中国社会的現在)	科目ID	LA-310545-Z			
担当教員	BAO MIN[BAO Min]					
開講時期	2022年度前期	対象年次	3			
実務経験のある 教員による授業						
<p>曜日・時間:木曜2限・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する</p> <p>別表1-4)異なる空間の文化を理解する</p> <p>別表3-4)外国文化を理解する</p> <p>別表3-5)国際情勢を理解する</p>						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
映像と資料を使いながら、中国の政治・経済・社会に関する最新のトピックを紹介します。本講義を通して現代中国のありのままの姿を理解することを目指します。日本語の資料を使うので、中国語履修者でなくても、中国社会に興味があれば受講できます。						
授業の到達目標						
授業を通して、中国社会を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/9	10:05- 10:55		第1回 授業の概要説明	オリエンテーション、トピックの担当を決める	BAO MIN, 奈良雅之
2	6/16	10:05- 10:55		第2回 中国の素顔	習近平時代の中国社会の全貌	BAO MIN, 奈良雅之
3	6/23	10:05- 10:55		第3回 岐路に立つ米中関係	“アメリカVS中国”未来の覇権争い、米中貿易戦争	BAO MIN, 奈良雅之
4	6/30	10:05- 10:55		第4回 一帯一路の大望とリスク	巨大経済圏構想の実態	BAO MIN, 奈良雅之
5	7/7	10:05- 10:55		第5回 都市部と農村部の格差	中国農村部のいま	BAO MIN, 奈良雅之
6	7/14	10:05- 10:55		第6回 実験都市 深圳	メイド イン チャイナの行方	BAO MIN, 奈良雅之
7	7/21	10:05- 10:55		第7回 報告会	課題に関する報告	BAO MIN, 奈良雅之
授業方法						
講義と演習による。						
事前にプリントを渡し、関連内容を調べておくこと。毎回2, 3の短文を購読する。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。						
授業内容						
第1回 授業の概要説明、担当を決める。						
第2回 中国の素顔						
第3回 岐路に立つ米中関係						
第4回 一帯一路の大望とリスク						
第5回 一国二制度の行方						

<p>第6回 14億人の消費革命</p> <p>第7回 報告会</p> <p>第8回 まとめ</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度) 30%</p> <p>再評価: 有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。</p>
<p>教科書</p> <p>: 明石書店</p> <p>: 小学館</p>
<p>参考書</p> <p>現代中国を知るための 52 章 / 藤野彰 編著, 藤野, 彰, 1955-, : 明石書店, 2018</p> <p>習近平が変えた中国 / 天児慧 編著, 茅原郁生, 関志雄, 佐藤考一, 中兼和津次, 菱田雅晴, 毛里和子 著, 天児, 慧, 1947-, 茅原, 郁生, 1938-, 関, 志雄, 1957-, 佐藤, 考一, 1960-, : 小学館, 2018</p> <p>幸福な監視国家・中国 / 梶谷懐, 高口康太 著, 梶谷, 懐, 1970-, 高口, 康太, 1976-, : NHK 出版, 2019</p> <p>中国「強国復権」の条件 : 「一帯一路」の大望とリスク / 柯隆 著, 柯, 隆, 1963-, : 慶應義塾大学出版会, 2018</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。</p>

時間割番号	000736																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(医歯系のための物理)	科目ID	LA-310117-Z																																													
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2-1)別表2-2)別表2-4) 別表4-2)</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 医療は物理学と大いに関係しています。例えば、人体の動きや歯の矯正治療は力学が関係しており、医療でお馴染みの X 線、MRI、レーザーなど現代医療技術は物理学者によって発見されました。本授業は講義形式で進め、医歯学に関係した物理について理解を深めていきます。</p>																																																
<p>授業の到達目標 医歯学に関係した物理を習得する。 各授業で設定したテーマについて演習(小レポート)を実施するのでそれらについて解答し、総合点(レポート+参加度)で合格点以上をとること。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法 講義と演習</p>																																																
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医歯系のための物理 1:力学 2. 医歯系のための物理 2:流体 3. 医歯系のための物理 3:熱 4. 医歯系のための物理 4:音 5. 医歯系のための物理 5:光 6. 医歯系のための物理 6:磁気 7. 医歯系のための物理 7:放射線 8. まとめ 																																																
<p>成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらった演習内容(小レポート)によって評価する。</p> <p>評価 : レポート 80 % その他(授業の参加度) 20%</p> <p>再評価: 無</p>																																																
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																
<p>準備学習等についての具体的な指示 予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。</p>																																																

<p>試験の受験資格</p> <p>試験は実施しないが、原則 2/3 以上の出席が必要</p>
<p>参考書</p> <p>生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,：共立出版, 2015 物理学入門から医用物理へ：超音波、磁気共鳴、X線理解のために／本間康浩 著,：ブイツーソリューション, 2013 医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,：東京教学社, 2013</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取ると出欠を優先させる。</p>
<p>備考</p> <p>2019 年度の学生授業アンケートで授業に関する指摘は特に無かった。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3</p>

時間割番号	000737																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(人体・医療の物理)	科目ID	LA-310118-Z																																								
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2-1)別表2-2)別表2-4) 別表4-2)</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 生命も含め物質現象は物理学の原理と大いに関係しています。例えば人体の動きや歯の矯正治療は力学、血流の流れは流体力学、また体内に取り込み消費するエネルギーは熱力学の原理に従っています。また、X線、MRI、重粒子線治療など多くの現代医療測定技術は物理学の成果です。本授業は講義形式で進め、人体や医歯学に関係した物理を学んでいきます。</p>																																											
<p>授業の到達目標 人体・医療に関係した物理を習得する。 各授業で設定したテーマについて演習(小レポート)を実施するのでそれらについて解答し、総合点(レポート+参加度)で合格点以上をとること。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>檜枝 光憲, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		檜枝 光憲, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法 講義と演習</p>																																											
<p>授業内容 1. 力学と人体・医療 2. 流体と人体・医療 3. 熱と人体・医療 4. 音と人体・医療 5. 光と人体・医療 6. 磁気と人体・医療 7. 放射線と人体・医療</p>																																											
<p>成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらった演習内容(小レポート)によって評価する。 評価 : レポート 80 % その他(授業の参加度) 20% 再評価: 無</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習等についての具体的な指示 予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。</p>																																											
<p>試験の受験資格</p>																																											

試験は実施しないが、原則 2/3 以上の出席が必要
参考書 生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,：共立出版, 2015 物理学入門から医用物理へ：超音波、磁気共鳴、X線理解のために／本間康浩 著,：ブイツーソリューション, 2013 医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,：東京教学社, 2013
履修上の注意事項 原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取ると出欠を優先させる。
備考 2019 年度の学生授業アンケートで授業に関する指摘は特に無かった。
連絡先(メールアドレス) 檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000740																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(小説の言語と演劇の言語)	科目ID	LA-310548-Z																																													
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]																																															
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表 1-6) 優れた芸術作品に触れて完成を高める</p> <p>別表 1-7) 人間の心への理解を高める</p> <p>別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>別表 3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>私たちは「言語」を用いながらも、「言語」以外の情報から判断することも少なくない。ある程度文化的な背景を共有していれば、非言語的感覚の共有によって意思の疎通が可能になるだろう。そこで本授業では、小説と戯曲(演劇脚本形態の文学作品)の両方を精読することによって、言語だけが唯一の情報である小説の「言語」と、身体表現によってさまざまな情報が補われる演劇の「言語」を比較、分析する。授業を通して、受講者が、「そもそも『言語』とは何なのか」を考え、その答えを共有する契機としたい。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>①日本近代文学を代表する小説と戯曲の両方を読む。</p> <p>②精読を通じ、小説と戯曲の中の「言語」について考察する。</p> <p>③「言語の役割」について、受講者自身が現時点での答えを得る。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																												
<p>授業方法</p> <p>授業で扱う作品を精読して授業に臨む。授業はアクティブラーニングの形式を取り入れ、作品と映像化作品の両方についてコメントシートなど課題を提出する。授業では毎回、リアクションペーパーを課す。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>1) ガイダンス</p> <p>2) ピエール・ロチ『秋の日本』①</p> <p>3) ピエール・ロチ『秋の日本』②</p> <p>4) 芥川龍之介『舞踏会』①</p> <p>5) 芥川龍之介『舞踏会』②</p> <p>6) 三島由紀夫『鹿鳴館』①</p> <p>7) 三島由紀夫『鹿鳴館』②</p> <p>8) 総括</p>																																																
<p>成績評価の方法</p>																																																

<p>期末レポート 60% ・ その他(授業への参加度、毎授業でのリアクションペーパー、提出物など)40%</p> <p>再評価: 有(再レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>作品を精読し、コメントシートなど課題は期日を守って提出すること。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>3分の2以上の授業に出席していること。</p> <p>10分以内の遅刻、早退は、3回で1回分の欠席としてカウントする。</p>
<p>教科書</p> <p>秋の日本／ピエール・ロチ [著]; 村上菊一郎, 吉永清訳:角川書店, 1953</p> <p>鹿鳴館／三島由紀夫著:新潮社, 1984</p> <p>必要に応じて授業内で配布。</p>
<p>参考書</p> <p>必要に応じて授業内で配布。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>授業内で扱う作品数は、進行度で変化する。 出欠は毎回取るが、出欠そのものよりも、授業内アンケートやリアクションペーパーの内容を重要視する。</p>
<p>備考</p> <p>リアクションペーパーや課題を、遅れることなく丁寧に取り組み提出しているかを重要視する。</p>

時間割番号	000742			
科目名	主題別選択Ⅱ(発がんと確率過程)	科目ID	LA-310550-Z	
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
がん細胞は体細胞の遺伝子に変異が蓄積することによって生じる。遺伝子の変異は偶然によって生じる確率的な事象である。確率的な現象の時間発展は確率過程として記述される。この講義では発がんのプロセスを確率過程として記述し、解析する手法について説明する。				
授業の到達目標				
発がんのプロセスを確率過程として記述し、解析するために必要な理論について理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/7	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
2	4/14	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
3	4/21	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
4	4/28	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
5	5/12	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
6	5/19	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
7	5/26	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
8	6/2	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
授業方法				
講義とアクティブラーニングを実施する				
授業内容				
発がんのプロセスを体細胞の遺伝子に突然変異が蓄積する確率的な事象として捉え、その時間発展である確率過程の理論について説明する。				
<ul style="list-style-type: none"> ・確率論の基礎 ・確率過程 ・がんの基礎知識 ・ランダムウォーク ・ライトフィッシャーモデル ・モランモデル 				
成績評価の方法				
出席、レポート、筆記試験などを参考に総合的に判断する。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
準備は特に不要。各自しっかりと復習すること。				
連絡先(メールアドレス)				
中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
中林 潤:月曜～金曜				
A.M.10:00 - P.M. 05:00				
国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9				

時間割番号	000743																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(視覚情報と言語)	科目ID	LA-310551-Z																																								
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]																																										
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する 別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-6) 優れた芸術作品に触れて完成を高める 別表 1-7) 人間の心への理解を高める 別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表 3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 私たちは「言語」を用いながらも、「言語」以外の情報から判断材料を得ようとすることが多い。ではその情報を得られない人には、どのように伝えるのか。本授業では、目の見えない人物が登場する文学作品から「言語による情報のみで表現する」場合と、「言語を含む情報で表現する」場合の、作家の言語の扱いについて考察する。可能であれば、授業内で「見えない」状況を作り、それを言語のみで正しく伝える試みも企画している。授業を通して、受講者が、「そもそも『言語』とは何なのか」を考え、その答えを共有する契機としたい。</p>																																											
<p>授業の到達目標 ①古典と日本近代文学を代表する作品の両方を読む。 ②「言語」とそれ以外の機能について考察する。 ③「言語の役割」について、受講者自身が現時点での答えを得る。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>木谷 真紀子, 奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	2	6/16	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	3	6/23	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	4	6/30	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	5	7/7	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	6	7/14	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之	7	7/21	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																							
2	6/16	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																							
3	6/23	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																							
4	6/30	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																							
5	7/7	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																							
6	7/14	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																							
7	7/21	10:05-10:55		木谷 真紀子, 奈良 雅之																																							
<p>授業方法 扱う作品を精読して授業に臨むこと。授業はアクティブラーニングの形式を取り入れ、作品と映像化作品の両方についてコメントシートなど課題を提出する。授業では毎回、リアクションペーパーを課す。</p>																																											
<p>授業内容 1) ガイダンス 2) 謡曲「弱法師」 3) 日本の伝統芸能について 4) 説経節「しんとく」 5) 三島由紀夫「弱法師」① 6) 三島由紀夫「弱法師」② 7) 総括</p>																																											
<p>成績評価の方法 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>成績評価の基準 期末レポート 60% ・ その他(授業への参加度、毎授業でのリアクションペーパー、提出物など) 40%</p>																																											

再評価： 有(再レポート)
準備学習等についての具体的な指示 必ず作品を精読して臨み、コメントシートなど課題は期日を守って提出すること
試験の受験資格 3分の2以上の授業に出席していること。 10分以内の遅刻、早退は、3回で1回分の欠席としてカウントする。
教科書 近代能楽集／三島由紀夫：新潮社 必要に応じて授業内で指示。
参考書 必要に応じて授業内で指示。
履修上の注意事項 授業内で扱う作品数は、進行度で変化する。 出欠は毎回取るが、出欠そのものよりも、授業内アンケートやリアクションペーパーの内容を重要視する。
備考 毎回のリアクションペーパーや課題に丁寧に取り組み、遅れることなく提出しているかを重要視する。

時間割番号	000745			
科目名	主題別選択Ⅱ(数理で理解する発がん)	科目ID	LA-310553-Z	
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]			
開講時期	2022 年度前期	対象年次	3	
実務経験のある 教員による授業				
授業の目的、概要等				
がん細胞は体細胞の遺伝子に変異が蓄積することによって生じる。遺伝子の変異は偶然によって生じる確率的な事象である。確率的な現象の時間発展は確率過程として記述される。この講義では発がんのプロセスを確率過程として記述し、解析する手法について説明する。				
授業の到達目標				
発がんのプロセスを確率過程として記述し、解析するために必要な理論について理解する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/9	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
2	6/16	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
3	6/23	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
4	6/30	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
5	7/7	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
6	7/14	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
7	7/21	10:05-10:55		中林 潤, 奈良 雅之
授業方法				
講義とアクティブラーニングを実施する				
授業内容				
発がんのプロセスを体細胞の遺伝子に突然変異が蓄積する確率的な事象として捉え、その時間発展である確率過程の理論について説明する。				
<ul style="list-style-type: none"> ・確率論の基礎 ・確率過程 ・がんの基礎知識 ・ランダムウォーク ・ライトフィッシャーモデル ・ Moranモデル 				
成績評価の方法				
出席、レポート、筆記試験などを参考に総合的に判断する。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
準備は特に不要。各自しっかりと復習すること。				
連絡先(メールアドレス)				
中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー				
中林 潤:月曜～金曜 A.M.10:00 - P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9				

時間割番号	000746																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(外国につながる多様な人々と医療)	科目ID																																														
担当教員																																																
開講時期	2022年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間:木曜2限 対象学科:医学部医学科、歯学部歯学科 募集人数: 40人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する 1-4) 異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 1-7)人間の心への理解を深める 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 この授業では、日本で暮らす「外国につながる言語文化的に多様な人々」(日本国籍者も含む)について、特に医療の観点から考えていきます。医療に関わるみなさんが今後どのように「外国につながる人々」と関わっていきたいか／関わっていか／関わっていくことが求められるかについて自分自身の「やり方」と「あり方」を講義と対話を通じて検討し、意識化・言語化していきます。クラスで検討したいトピックがある場合には第一回の授業時にお知らせください。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国につながる人々が置かれている状況について医療と関連づけながら説明できる 2. 外国につながる人々の医療に関する情報を必要に応じて検索したり関連機関に問い合わせたりすることで自ら得ることができる 3. 外国につながる人々との自らの関わり方について言語化し、人に説明することができる 																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
<p>授業方法 講義、アクティブラーニングの形式を取り入れたディスカッション、質疑応答、グループディスカッションの全体共有</p>																																																
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①2つの異なる文化の見方 ――文化の中に人がいるか人の中に文化があるか ②在留資格と日本の医療制度・多文化共生と医療 ③医療通訳と第三者返答 ④やさしい日本語と医療 ⑤国際移動とメンタルヘルス 																																																

<p>⑥「移民の女性化」と医療</p> <p>⑦日本で働く「外国人材」と医療</p> <p>⑧まとめ——日本社会と「移民・難民」</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価：レポート 40%、授業への参加度（リアクションペーパー含む）30%、課題 30%</p> <p>再評価：有（試験もしくはレポート）</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>初回のための予習：文化とは何か、異文化とは何かについて自分自身の考えを言語化しておいてください。</p> <p>第2回以降：毎回短い動画(10分-15分程度)の視聴をお願いします。</p> <p>毎回の復習：リアクションペーパー</p>
<p>教科書</p> <p>なし(全てオリジナル教材で授業を進めます)</p>
<p>参考書</p> <p><外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル> https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000795505.pdf</p> <p><厚生労働省「医療通訳に関する資料 一覧」> https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000056944.html</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>原則的に3分の2以上の出席を期末考査・再考査等の受験資格とする。</p>
<p>備考</p> <p>キーワード：内なるグローバル化、社会言語文化的多様性と医療、在留資格、医療通訳、移民・難民、移民の女性化</p>

時間割番号	000747																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(外国につながる多様な人々と教育)	科目ID																																									
担当教員																																											
開講時期	2022年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある 教員による授業																																											
<p>曜日・時間:木曜2限 対象学科:医学部医学科、歯学部歯学科 募集人数: 40人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する 1-4) 異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 1-7)人間の心への理解を深める 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 この授業では、日本で暮らす「外国につながる言語文化的に多様な人々」(日本国籍者も含む)について、特に教育の観点から考えていきます。医療に関わるみなさんが今後どのように関わっていきたいか／関わっていけるか／関わっていくことが求められるかについて自分自身の「やり方」と「あり方」を講義と対話を通じて検討し、意識化・言語化していきます。クラスで検討したいピックがある場合には第一回の授業時にお知らせください。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国につながる人々が置かれている状況について教育と関連づけながら説明できる 2. 外国につながる人々の教育に関する情報を必要に応じて検索したり関連機関に問い合わせたりすることで自ら得ることができる 3. 外国につながる人々との自らの関わり方について言語化し、人に説明することができる 																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		奈良 雅之,	2	6/16	10:05-10:55		奈良 雅之,	3	6/23	10:05-10:55		奈良 雅之,	4	6/30	10:05-10:55		奈良 雅之,	5	7/7	10:05-10:55		奈良 雅之,	6	7/14	10:05-10:55		奈良 雅之,	7	7/21	10:05-10:55		奈良 雅之,
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
2	6/16	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
3	6/23	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
4	6/30	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
5	7/7	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
6	7/14	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
7	7/21	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
<p>授業方法 講義、アクティブラーニングの形式を取り入れたディスカッション、質疑応答、グループディスカッションの全体共有</p>																																											
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①2つの異なる文化の見方 ――文化の中に人がいるか人の中に文化があるか ②外国につながる子どもたちと日本語 ③外国につながる子どもたちと継承語 ④外国につながる子どもたちと教育制度 ⑤子どもたちのことばとアイデンティティ ⑥外国につながる大人たちと教育・ボランティアによる学習支援 																																											

⑦まとめ—越境と教育
成績評価の方法 評価：レポート 40%、授業への参加度（リアクションペーパー含む）30%、課題 30% 再評価：有（試験もしくはレポート）
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 初回のための予習：文化とは何か、異文化とは何かについて自分自身の考えを言語化しておいてください。 第2回以降：毎回短い動画(10分-15分程度)の視聴をお願いします。 毎回の復習：リアクションペーパー
教科書 なし(全てオリジナル教材で授業を進めます)
参考書 <外国人児童生徒等教育の現状と課題> https://www.mext.go.jp/content/20210526-mxt_kyokoku-000015284_03.pdf
履修上の注意事項 原則的に3分の2以上の出席を期末考査・再考査等の受験資格とする。
備考 キーワード：内なるグローバル化、社会言語文化的多様性と教育、教育制度、ことばとアイデンティティ、外国につながる子ども、外国につながる大人、ボランティア

時間割番号	000748																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(医療行動経済学における患者の意思決定)	科目ID																																														
担当教員																																																
開講時期	2022年度前期	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
曜日・時間:木曜2限 募集人数:40人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-5), 1-7)																																																
授業の目的、概要等 行動経済学では、合理的な意思決定から系統的に逸脱する傾向、すなわち意思決定のバイアスについての研究がなされている。本講義では、医療現場で起こる行動経済学的な意思決定のバイアスを学ぶ。まず基本的な行動経済学の枠組みを学び、その後、患者やその家族が意思決定をする際に起きやすいバイアスを学習する。どうすればがん治療で適切な意思決定支援ができるのだろうか、どうすればがん検診の受診率を上げられるのだろうか、などを行動経済学的な枠組みで理解する。																																																
授業の到達目標 1. 行動経済学の基礎を理解できるようになる 2. 医療者として医療現場で起こりやすい意思決定のバイアスを理解できるようになる																																																
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	10:05-10:55		奈良 雅之	2	4/14	10:05-10:55		奈良 雅之	3	4/21	10:05-10:55		奈良 雅之	4	4/28	10:05-10:55		奈良 雅之	5	5/12	10:05-10:55		奈良 雅之	6	5/19	10:05-10:55		奈良 雅之	7	5/26	10:05-10:55		奈良 雅之	8	6/2	10:05-10:55		奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
2	4/14	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
3	4/21	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
4	4/28	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
5	5/12	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
6	5/19	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
7	5/26	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
8	6/2	10:05-10:55		奈良 雅之																																												
授業方法 講義形式。アクティブラーニングとして、講義内でのグループワークと講義後のリアクションペーパーの提出を課す。																																																
授業内容 1. イントロダクション 2. 行動経済学の基礎1 3. 行動経済学の基礎2 4. 医療現場における患者の意思決定1 5. 医療現場における患者の意思決定2 6. 医療現場における患者の意思決定3 7. 医療現場における患者家族の意思決定 8. まとめ																																																
成績評価の方法 評価：試験 50% ・ レポート 50% ・ その他(講義の参加度と講義毎のリアクションペーパーの内容) 50% 再評価：無																																																

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義後に講義の内容を復習し、リアクションペーパーを提出する。

教科書

特に指定しない

参考書

大竹 文雄・平井 啓 編著『医療現場の行動経済学—すれ違う医者と患者』東洋経済新報社 2018 年
筒井義郎・佐々木俊一郎・山根承子・グレッグ・マルデワ著『行動経済学入門』東洋経済新報社 2017 年

履修上の注意事項

出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理する。

時間割番号	000749																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(医療行動経済学における医療者の意思決定)	科目ID																																									
担当教員																																											
開講時期	2022年度前期	対象年次	3																																								
実務経験のある教員による授業																																											
<p>曜日・時間:木曜2限 募集人数:40人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-5), 1-7)</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 行動経済学では、合理的な意思決定から系統的に逸脱する傾向、すなわち意思決定のバイアスについての研究がなされている。本講義では、医療現場で起こる行動経済学的な意思決定のバイアスを学ぶ。まず基本的な行動経済学の枠組みを学び、その後、医療者が意思決定をする際に起きやすいバイアスを学習する。医療者は医療の専門家であるが、医療者自身も様々な行動経済学的なバイアスのもとで意思決定をしがちであることを理解する。</p>																																											
<p>授業の到達目標 1. 行動経済学の基礎を理解できるようになる 2. 医療者として医療現場で起こりやすい意思決定のバイアスを理解できるようになる</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/9</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/16</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/23</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/30</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td></td> <td>奈良 雅之,</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/9	10:05-10:55		奈良 雅之,	2	6/16	10:05-10:55		奈良 雅之,	3	6/23	10:05-10:55		奈良 雅之,	4	6/30	10:05-10:55		奈良 雅之,	5	7/7	10:05-10:55		奈良 雅之,	6	7/14	10:05-10:55		奈良 雅之,	7	7/21	10:05-10:55		奈良 雅之,
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/9	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
2	6/16	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
3	6/23	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
4	6/30	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
5	7/7	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
6	7/14	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
7	7/21	10:05-10:55		奈良 雅之,																																							
<p>授業方法 講義形式。アクティブラーニングとして、講義内でのグループワークと講義後のリアクションペーパーの提出を課す。</p>																																											
<p>授業内容 1. イントロダクション 2. 行動経済学の基礎1 3. 行動経済学の基礎2 4. 医療現場における医療者の意思決定1 5. 医療現場における医療者の意思決定2 6. 医療現場における医療者の意思決定3 7. まとめ</p>																																											
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 % ・ レポート 50% ・ その他(講義の参加度と講義毎のリアクションペーパーの内容) 50% 再評価: 無</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											

準備学習等についての具体的な指示

講義後に講義の内容を復習し、リアクションペーパーを提出する。

教科書

特に指定しない

参考書

大竹 文雄・平井 啓 編著『医療現場の行動経済学—すれ違う医者と患者』東洋経済新報社 2018 年
筒井義郎・佐々木俊一郎・山根承子・グレッグ・マルデワ著『行動経済学入門』東洋経済新報社 2017 年

履修上の注意事項

出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理する。

主題別人文社会科学セミナー・講義

● 医学科・歯学科(3年生):2022年度 主題別人文社会科学セミナー・講義スケジュール

		3時限(11:10~12:00) ※Zoomによる実施															
		文化			生命			言語			制度			時間			
月日	曜日	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	
4月7日	木	オリエンテーション															
4月14日	木	オリエンテーション															
4月21日	木	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	
4月28日	木																4
5月12日	木																5
5月19日	木																6
5月26日	木																7
6月2日	木	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	
6月9日	木																1
※6月16日	木																2
6月23日	木																3
6月30日	木																4
7月7日	木	5															
7月14日	木	6															
7月21日	木	7															
8月25日	木	予備日															
※ 6/16はオンデマンド																	
9月15日	木	医療と法	医療と社会	ナセミナー	医療と法	医療と社会	ナセミナー	医療と法	医療と社会	ナセミナー	医療と法	医療と社会	ナセミナー	医療と法	医療と社会	ナセミナー	
9月22日	木	2															
9月29日	木	3															
10月6日	木	専門科目															
10月13日	木	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	医療と法	医療と社会	セミナー	
10月20日	木																5
10月27日	木																6
11月10日	木																7
11月17日	木																総括セミナー(オンデマンド)
11月24日	木	合同総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			
12月1日	木	総括セミナー			合同総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			
12月8日	木	総括セミナー			総括セミナー			合同総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			
12月15日	木	総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			合同総括セミナー			総括セミナー			
12月22日	木	総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			合同総括セミナー			
1月12日	木	総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			
1月19日	木	総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			総括セミナー			
1月26日	木	予備日															

時間割番号	000801																																																																																												
科目名	人文社会科学講義(医療と社会)	科目ID	LA-310201-Z																																																																																										
担当教員	三枝 七都子[SAIGUSA Natsuko]																																																																																												
開講時期	2022 年度通年	対象年次	3																																																																																										
実務経験のある 教員による授業																																																																																													
<p>曜日・時間:木曜3限 11:10—12:00 対象学科:医学部医学科・歯学部歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-2)「社会制度や仕組みについての基本を理解する」 別表 1-5)「人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る」 別表 1-9)「市民としての倫理観を養う」 別表 2-3)「言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る」</p>																																																																																													
<p>授業の目的、概要等 医療は医療従事者と患者間という個人的なかかわりに焦点があてられがちです。しかし、一歩引いた視点で見ると、医療とは、そうした相互行為だけでは捉えきれない、さまざまな社会事象と結びついていることに気づくことができます。この授業では、医療社会学という領域であつかわれてきた主題を通して、1. 医療従事者と患者間のかかわりがどのような特徴を持つのか、2. 医療が社会の中で如何にして機能し、そしてそれがどのような社会問題と結びついているのかなどを学びます。具体的には、前半の講義では医療を社会的な視点で見ることの意義を説明した上で、日本の医療制度の概要について学びます。後半の講義では、医療にまつわる具体的なトピックを取り上げ、受講者同士の議論も交えながら、医療的な視点にとどまらない多角的な視点で能動的に事象を捉えていくことに挑戦していきます。</p>																																																																																													
<p>授業の到達目標 1) 医療が社会の内部で機能するものであることを理解し、社会にあたる/または社会から受ける影響を説明できる。 2) 現在の医療が抱える問題点・課題について説明ができ、その解決に向け多角的な視点から考察し議論することができる。 3) 「あたりまえ」のものの見方を問い直すことができる。</p>																																																																																													
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/7</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/14</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/21</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>4/28</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/12</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/19</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/26</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/2</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/9</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/16</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/23</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>6/30</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/7</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/14</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/21</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>16</td><td>9/15</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>17</td><td>9/22</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/14	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	4/21	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	4/28	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/12	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/19	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	5/26	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/2	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/9	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/16	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	6/23	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	6/30	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/7	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	7/14	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	7/21	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	16	9/15	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	17	9/22	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																									
1	4/7	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
2	4/14	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
3	4/21	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
4	4/28	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
5	5/12	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
6	5/19	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
7	5/26	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
8	6/2	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
9	6/9	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
10	6/16	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
11	6/23	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
12	6/30	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
13	7/7	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
14	7/14	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
15	7/21	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
16	9/15	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									
17	9/22	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																									

18	9/29	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
19	10/13	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
20	10/20	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
21	10/27	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
22	11/10	11:10-12:00		三枝 七都子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
授業方法				
授業は講義と議論のハイブリットでおこないます。議論の際は、受講者同士での意見交換をおこないます。また、講師も含めた全体での対話も積極的におこない、思考のプロセスを全体で共有しながら、それぞれが考える楽しさを体験できるように授業していきます。				
授業内容				
【前半】				
第1回 医療社会学とは				
第2回 日本の医療制度について				
【後半】				
第3回 トピック①—出生前診断第1部				
第4回 トピック②—出生前診断第2部				
第5回 トピック③—人工内耳				
第6回 全体のまとめ				
第7回 テスト				
成績評価の方法				
評価 : 試験 60 % ・ レポート 0 % ・ その他(授業への参加度:事前学習の取り組みや、議論への参加など) 40%				
再評価: 有(レポート)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
授業のなかで適宜予習・復習に必要な資料を提示します。				
教科書				
教科書は指定しません。授業に必要な文献・資料はその都度コピーして配布します。				
参考書				
・中川輝彦・黒田浩一郎「よくわかる医療社会学」(ミネルヴァ書房、2010年)				
・猪飼周平「病院の世紀の理論」(有斐閣、2010年)				
履修上の注意事項				
・出欠管理システムの記録と、教員による出欠調査(リアクションペーパーの提出)を併用します。 ・議論への積極的な参加を重視します。				

時間割番号	000802																																																																																																	
科目名	人文社会科学講義(医療と法)	科目ID	LA-310202-Z																																																																																															
担当教員	飛田 綾子[TOBITA AYAKO]																																																																																																	
開講時期	2022 年度通年	対象年次	3																																																																																															
実務経験のある 教員による授業																																																																																																		
<p>曜日・時間:木曜 3限(11時10分から12時まで)</p> <p>対象学科:医学部医学科・歯学部歯学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。</p> <p>1-4)異なる空間の文化を理解する。</p> <p>1-9)市民としての倫理観を養う。</p>																																																																																																		
<p>授業の目的、概要等</p> <p>いま日本の社会保障は重大な岐路に立っています。増大する医療費、年金制度への不安、労働環境の悪化、育児環境の不整備など様々な問題が指摘されています。また、財政赤字の増大も度々ニュースになっています。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大は日本の医療体制の問題点を浮き彫りにした、とも言われています。こうした問題への適切な処方箋とはいかなるものでしょうか。その答えを導き出すための知識をこの授業では提示したいと思います。具体的には、そもそも社会保障の目的や機能とはなにか、といった議論からはじめ、現在の日本の社会保障制度の概要を説明します。適宜、アメリカやドイツなど他国との比較の視点も盛り込みつつ、日本の抱える問題点についても考えます。</p>																																																																																																		
<p>授業の到達目標</p> <p>①国民皆保険・皆年金を実現している日本の社会保障制度と、日本国憲法とのつながりを理解する。</p> <p>②各々の社会保障制度が抱えている問題を、財政や制度内の不平等など多角的側面から考察し、説明できるようになる。</p>																																																																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/7</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/14</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/21</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>4/28</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/12</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/19</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/26</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/2</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/9</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/16</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/23</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>6/30</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/7</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/14</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/21</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>16</td><td>9/15</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>17</td><td>9/22</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>18</td><td>9/29</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/14	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	4/21	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	4/28	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/12	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/19	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	5/26	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/2	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/9	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/16	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	6/23	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	6/30	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/7	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	7/14	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	7/21	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	16	9/15	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	17	9/22	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	18	9/29	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																														
1	4/7	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
2	4/14	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
3	4/21	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
4	4/28	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
5	5/12	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
6	5/19	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
7	5/26	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
8	6/2	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
9	6/9	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
10	6/16	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
11	6/23	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
12	6/30	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
13	7/7	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
14	7/14	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
15	7/21	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
16	9/15	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
17	9/22	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														
18	9/29	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																														

19	10/13	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
20	10/20	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
21	10/27	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
22	11/10	11:10-12:00		飛田 綾子, 木谷 真紀子, 藤井 達夫

授業方法

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。ニュースで伝えられている話題を授業ではより詳しく、時に批判的に取り上げます。アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、社会保障の存在意義や税金の負担への不信感の原因など、具体的問題をディスカッションする機会を適宜実施する予定です。

授業内容

第 1 回 社会保障制度の概要（憲法とのかかわり、社会保障の存在意義、海外との比較からみた日本の社会保障の達成度など）

第 2 回 現役世代と社会保障(医療制度の概要、労働環境の問題点など)

第 3 回 子ども世代と社会保障(子ども子育て支援制度の概要、子どもを取り巻く環境について)

第 4 回 高齢者世代と社会保障(年金制度・介護保険制度の概要など)

第 5 回 少数者と社会保障(障がい者福祉や生活保護の概要など)

第 6 回 日本の社会保障について(授業の振り返り)

第 7 回 テスト

成績評価の方法

評価：試験 55 % ・ レポート 0% ・ その他(授業内容を踏まえた上でのリアクションペーパー) 45%

再評価：有(再評価方法 レポート) ・ 無 知識の確実な修得、及び課題を説得力を持って論じているかを重視する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

社会保障に関するニュースは、財源調達のための消費税率の引き上げや海外の医療従事者によるデモ行進など、日々様々に伝えられています。そうしたニュースに敏感になり、授業内容と関連付ける習慣を身につけてください。これが予習復習となります。こうしたニュースに関しては、リアクションペーパー等で簡単に記述してもらおうと考えています。レジュメを読み直すことも有用です。

教科書

特に指定しません。

参考書

権丈善一『ちょっと気になる社会保障 V3』(勁草書房、2020 年)

同『ちょっと気になる医療と介護 増補版』(勁草書房、2018 年)

井出英策『日本財政 転換の指針』(岩波新書、2013 年)

神野直彦『「人間国家」への改革 参加保障型の福祉社会をつくる』(NHK 出版、2015 年)

履修上の注意事項

①WebClass 上の出欠システムの記録と教員の出欠調査を併用します。前者については授業で説明します。②教員の出欠調査は、リアクションペーパーの提出等で行います。(出欠システムの記録とリアクションペーパーの2つが揃って出席と認めます。)③原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、テストの受験資格を得られません。④遅刻 3 回で欠席 1 回とカウントします。

備考

キーワード: 社会保障、日本国憲法、生存権、税、財政

時間割番号	000803																																																																																																																										
科目名	主題別人文社会科学セミナー(文化と人間)	科目ID	LA-310203-Z																																																																																																																								
担当教員	藤井 達夫[FUJII Tatsuo]																																																																																																																										
開講時期	2022 年度通年	対象年次	3																																																																																																																								
実務経験のある 教員による授業																																																																																																																											
<p>曜日・時間:木曜 3 限</p> <p>受講資格:「文化と人間」選択者</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>1-4) 異なる空間の文化を理解する</p> <p>1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p>																																																																																																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本セミナーの目的は以下の二点になる。第一に、履修者の各々が取り上げる具体的な事例から、「文化」とは何かについて考えること。第二に、「文化」をめぐる思考を論文として表現すること。これらの目的を達成するために、セミナーでは、各履修者に関心のある文化的事例のプレゼンテーションをしてもらい、グループ内でのディスカッションを行う。統括セミナーでは、論文のテーマおよび内容をスライドでプレゼンテーションをもらい、セミナー論文を仕上げる。</p>																																																																																																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>1 具体的な事例から文化について掘り下げて考えることができる。</p> <p>2 わかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができる。</p> <p>3 論理的で説得的な文章を書くことができる。</p>																																																																																																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/7</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/14</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/21</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>4/28</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/12</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/19</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/26</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/2</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/9</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/16</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/23</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>6/30</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/7</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/14</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/21</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>16</td><td>9/15</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>17</td><td>9/22</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>18</td><td>9/29</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>19</td><td>10/13</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>20</td><td>10/20</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>21</td><td>10/27</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>22</td><td>11/10</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> <tr><td>23</td><td>11/17</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	11:10-12:00		藤井 達夫	2	4/14	11:10-12:00		藤井 達夫	3	4/21	11:10-12:00		藤井 達夫	4	4/28	11:10-12:00		藤井 達夫	5	5/12	11:10-12:00		藤井 達夫	6	5/19	11:10-12:00		藤井 達夫	7	5/26	11:10-12:00		藤井 達夫	8	6/2	11:10-12:00		藤井 達夫	9	6/9	11:10-12:00		藤井 達夫	10	6/16	11:10-12:00		藤井 達夫	11	6/23	11:10-12:00		藤井 達夫	12	6/30	11:10-12:00		藤井 達夫	13	7/7	11:10-12:00		藤井 達夫	14	7/14	11:10-12:00		藤井 達夫	15	7/21	11:10-12:00		藤井 達夫	16	9/15	11:10-12:00		藤井 達夫	17	9/22	11:10-12:00		藤井 達夫	18	9/29	11:10-12:00		藤井 達夫	19	10/13	11:10-12:00		藤井 達夫	20	10/20	11:10-12:00		藤井 達夫	21	10/27	11:10-12:00		藤井 達夫	22	11/10	11:10-12:00		藤井 達夫	23	11/17	11:10-12:00		藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																																																							
1	4/7	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
2	4/14	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
3	4/21	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
4	4/28	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
5	5/12	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
6	5/19	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
7	5/26	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
8	6/2	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
9	6/9	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
10	6/16	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
11	6/23	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
12	6/30	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
13	7/7	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
14	7/14	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
15	7/21	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
16	9/15	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
17	9/22	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
18	9/29	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
19	10/13	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
20	10/20	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
21	10/27	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
22	11/10	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							
23	11/17	11:10-12:00		藤井 達夫																																																																																																																							

24	11/24	11:10-12:00		藤井 達夫
25	12/1	11:10-12:00		藤井 達夫
26	12/8	11:10-12:00		藤井 達夫
27	12/15	11:10-12:00		藤井 達夫
28	12/22	11:10-12:00		藤井 達夫
29	1/12	11:10-12:00		藤井 達夫
30	1/19	11:10-12:00		藤井 達夫
授業方法				
履修者のプレゼンテーションとディスカッションによるセミナー形式の授業				
授業内容				
A～C 班セミナーでは、まずプレゼンテーションをする上での注意すべき点について説明を行う。その上で、履修生各自の関心に基づいて、取り上げたいテーマを設定し、プレゼンテーションをしてもらう。 総括セミナーでは、テーマを掘り下げ、論文の構想についてプレゼンテーションをってもらう。プレゼンテーションに対する他の履修生および教員のコメントを参考にして、論文を仕上げる。				
成績評価の方法				
評価 : セミナー論文 70%、その他(課題への取り組み, 議論への参加度など)30% 再評価: 有				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習等についての具体的な指示				
セミナーでのプレゼンテーションの準備とセミナー内で提示される課題の取り組み				
試験の受験資格				
初回オリエンテーションに出席した上で、セミナー(7回)、医療と法(7回)、医療と社会(7回)、総括セミナー(8回)のそれぞれについて、3分の2以上の出席があること。				
教科書				
プリントを配布する。				
参考書				
適宜、セミナー内で紹介していく。				
履修上の注意事項				
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。 セミナーでの積極的な参加を重視する。				
備考				
セミナー論文の提出資格: 原則的として初回オリエンテーションに出席した上で、年間授業のそれぞれについて3分の2以上の出席をすること。				

時間割番号	000804																																																																																		
科目名	主題別人文社会科学セミナー(生命と人間)	科目ID	LA-310204-Z																																																																																
担当教員	宇田川 誠[UDAGAWA Makoto]																																																																																		
開講時期	2022 年度通年	対象年次	3																																																																																
実務経験のある 教員による授業																																																																																			
<p>曜日・時間：木曜 3 限 対象学科：医学科・歯学科 受講資格：主題「生命と人間」選択者 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：</p> <p>1-3)人間の歴史的営みを理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 1-7)人間の心への理解を深める 1-9)市民としての倫理観を養う 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 2-5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>生命倫理学とは、生命にかかわる倫理的問題を研究対象とする学際的な学問です。生命のはじまりに関わる問題(生殖補助医療、遺伝子操作、人工妊娠中絶など)、生命のおわりに関わる問題(終末期医療、脳死臓器移植、安楽死など)、よりよく人生を生きることに関わる問題(エンハンスメントなど)といったものが生命倫理の問題としてよく注目されますが、それだけでなく、医療資源配分などの公衆衛生に関わる倫理的問題や、研究参加者保護などの医学研究に関わる倫理的問題なども含みます。</p> <p>この授業では、生命倫理に関するテーマを一つ選び、問いを立て、論文を執筆してもらいます。資料を調査し、根拠に基づいて議論を組み立て、ディスカッションを通して議論を洗練させていくという作業を通して、生命倫理の問題について知見を深めてもらいたいと考えています。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>(1)「生命と人間」をめぐる諸問題について主な論点を理解し、それらを批判的に検討しながら自分なりの見方を確立する (2)自分で問いを立て、資料を調査し、根拠に基づいて自分の主張を論証していく能力を養う (3)他者と建設的な議論ができるようになる</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/7</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/14</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/21</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>4/28</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/12</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/19</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/26</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/2</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/9</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/16</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/23</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>6/30</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/7</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/14</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/21</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/14	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	4/21	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	4/28	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/12	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/19	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	5/26	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/2	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/9	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/16	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	6/23	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	6/30	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/7	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	7/14	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	7/21	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/7	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																															
2	4/14	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																															
3	4/21	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																															
4	4/28	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																															
5	5/12	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																															
6	5/19	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																															
7	5/26	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																															
8	6/2	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																															
9	6/9	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																															
10	6/16	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																															
11	6/23	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																															
12	6/30	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																															
13	7/7	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																															
14	7/14	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																															
15	7/21	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																															

16	9/15	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
17	9/22	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
18	9/29	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
19	10/13	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
20	10/20	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
21	10/27	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
22	11/10	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
23	11/17	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
24	11/24	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
25	12/1	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
26	12/8	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
27	12/15	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
28	12/22	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
29	1/12	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
30	1/19	11:10-12:00		宇田川 誠, 木谷 真紀子, 藤井 達夫

授業方法

授業はセミナー方式で実施し、受講者による報告・議論を中心に進めていきます。

受講者には、セミナー論文で取り上げたいテーマについて報告すること、他の受講者の報告に対して積極的に応答(質問・コメント)することが求められます。

授業内容

第1回:オリエンテーション

第2回:論文のまとめ方について

第3~7回:セミナー論文についての報告と議論

成績評価の方法

評価 :レポート(セミナー論文) 60%

その他(授業への参加度) 40%(議論への参加、課題への取り組み)

再評価: 有(再評価方法:レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

受講者には、1人2回セミナー論文で取り上げたいテーマについて報告してもらいます。各自、資料を調査し、授業で報告する準備をすすめてください。報告後は、授業中の議論を参考に調査・考察を進め、セミナー論文の執筆に取り組んでください。

教科書

教科書は特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。

参考書

参考書等は授業中に紹介します。

履修上の注意事項

セミナー論文の提出資格:3分の2以上の授業に出席していること。出欠については、管理システムより教員自身が取れる出欠を優先させます。

時間割番号	000805																																																																																																	
科目名	主題別人文社会科学セミナー(言語と人間)	科目ID	LA-310205-Z																																																																																															
担当教員	木谷 真紀子[KITANI Makiko]																																																																																																	
開講時期	2022 年度通年	対象年次	3																																																																																															
実務経験のある 教員による授業																																																																																																		
<p>別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表 1-6) 優れた芸術作品に触れて完成を高める</p> <p>別表 1-7) 人間の心への理解を高める</p> <p>別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>別表 2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける</p> <p>別表 2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p> <p>別表 3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける</p>																																																																																																		
<p>授業の目的、概要等</p> <p>アカデミックライティングを身につける。自らが定めたテーマに基づき、自ら「問い」を立て、その現時点での結論を出すべく、どのような方法で調査、分析、検討、考察するかを考える。自らのテーマに沿った調査方法やデータの収集方法を適切に選択できるよう説明し、考える。</p> <p>論文執筆のための調査、考察、分析、実際の執筆を通し、「言語で」「文字」として表現することに肉薄することを目標とする。</p>																																																																																																		
<p>授業の到達目標</p> <p>(1)「言語」について考える。</p> <p>(2)自らで問題を設定し、考察、分析したうえで結論を出す能力を養う。</p> <p>(3)人文社会分野の論文を書くさまざまな方法を知る。</p> <p>(4)論理的な文章を書く力を身につける。</p>																																																																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/7</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/14</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/21</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>4</td><td>4/28</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/12</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/19</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/26</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/2</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/9</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/16</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/23</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>12</td><td>6/30</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/7</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/14</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/21</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>16</td><td>9/15</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>17</td><td>9/22</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> <tr><td>18</td><td>9/29</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>木谷 真紀子</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	11:10-12:00		木谷 真紀子	2	4/14	11:10-12:00		木谷 真紀子	3	4/21	11:10-12:00		木谷 真紀子	4	4/28	11:10-12:00		木谷 真紀子	5	5/12	11:10-12:00		木谷 真紀子	6	5/19	11:10-12:00		木谷 真紀子	7	5/26	11:10-12:00		木谷 真紀子	8	6/2	11:10-12:00		木谷 真紀子	9	6/9	11:10-12:00		木谷 真紀子	10	6/16	11:10-12:00		木谷 真紀子	11	6/23	11:10-12:00		木谷 真紀子	12	6/30	11:10-12:00		木谷 真紀子	13	7/7	11:10-12:00		木谷 真紀子	14	7/14	11:10-12:00		木谷 真紀子	15	7/21	11:10-12:00		木谷 真紀子	16	9/15	11:10-12:00		木谷 真紀子	17	9/22	11:10-12:00		木谷 真紀子	18	9/29	11:10-12:00		木谷 真紀子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																														
1	4/7	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
2	4/14	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
3	4/21	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
4	4/28	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
5	5/12	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
6	5/19	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
7	5/26	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
8	6/2	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
9	6/9	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
10	6/16	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
11	6/23	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
12	6/30	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
13	7/7	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
14	7/14	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
15	7/21	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
16	9/15	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
17	9/22	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														
18	9/29	11:10-12:00		木谷 真紀子																																																																																														

19	10/13	11:10-12:00		木谷 真紀子
20	10/20	11:10-12:00		木谷 真紀子
21	10/27	11:10-12:00		木谷 真紀子
22	11/10	11:10-12:00		木谷 真紀子
23	11/17	11:10-12:00		木谷 真紀子
24	11/24	11:10-12:00		木谷 真紀子
25	12/1	11:10-12:00		木谷 真紀子
26	12/8	11:10-12:00		木谷 真紀子
27	12/15	11:10-12:00		木谷 真紀子
28	12/22	11:10-12:00		木谷 真紀子
29	1/12	11:10-12:00		木谷 真紀子
30	1/19	11:10-12:00		木谷 真紀子

授業方法

講義、全体での討論、発表、個別指導を適宜組み合わせる。提出を前提にして授業を行うため、課題は期限を守って提出すること。

授業内容

全体オリエンテーション

【個別セミナー】

- 2)オリエンテーション:論文とは何か
- 3)テーマ初回提出、文献調査の方法
- 4)アンケート、インタビューなどの調査方法の説明
- 5)アウトライン提出、グループ内発表と意見交換
- 6)アウトライン返却、指導
- 7)中間発表①
- 8)中間発表②

【総括セミナー】

- 9)オリエンテーション
- 10)中間発表をふまえて
- 11)グループごと意見交換
- 12)アウトライン 2 回目提出、引用の方法について
- 13)パラグラフ・ライティング①
- 14)パラグラフ・ライティング②
- 15)自己評価
- 16)一年の総括

なお、各回の授業内容は、受講者の学習状況に即して変更する場合がある。

成績評価の方法

レポート(セミナー論文) 60% ・ その他(授業への積極的参加(討論での発言、課題への取り組みなど)) 40%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

ほぼ毎週課題を出す。自分のテーマに関して各週の課題に取り組むだけでなく、クラスメイトのテーマや課題についても意見アドバイスを述べられるようにする。

なお、欠席した場合には、その回のプリントやスライドを次週までによく読んでおくこと。

試験の受験資格

3分の2以上の授業に出席していること。

遅刻、欠席は、0.5回分の欠席としてカウントする。

教科書

授業内で指示、

参考書

大学生のための文章表現練習帳／坂東実子：国書刊行会，2016

履修上の注意事項

出席は、授業内アンケートや授業内課題の提出によって判断する。

時間割番号	000806																																																																																																						
科目名	主題別人文社会科学セミナー(制度と人間)	科目ID	LA-310206-Z																																																																																																				
担当教員	面 一也[OMOTE KAZUYA]																																																																																																						
開講時期	2022 年度通年	対象年次	3																																																																																																				
実務経験のある 教員による授業																																																																																																							
<p>曜日・時間:木曜 3 限(11 時 10 分～12 時)</p> <p>対象学科:医学科、歯学科</p> <p>受講資格:主題「制度と人間」コースであること。</p> <p>募集人数:35 人程度</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2, 1-3, 1-5, 1-9, 3-5</p>																																																																																																							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>私たちは日ごろ、政治的・社会的な諸制度との関わりの中で生活している。最初は〈人間が制度をつくる〉のだが、ひとたび制度ができあがると、今度は制度が人間に影響を及ぼして、いわば〈制度が人間をつくる〉ようになる。もしその制度に“問題”があるなら、人間はおかしくなってしまうだろう。</p> <p>この授業では、そのような“問題”を自ら発見し、関連する先行研究(文献や資料)を読み、自分自身の考えによる“応答”を、論文にまとめていく。論文には求められる書き方があり、ということは、読み方がある。どのように書いたらよいか、どのような文献や資料を調べたらよいか、といったことをアドバイスするので、この授業を通じて、論文のよい書き方と読み方を身につけてほしい。</p>																																																																																																							
<p>授業の到達目標</p> <p>1「制度と人間」に関わる問題を自ら発見する。</p> <p>2 自ら設定した論文のテーマに関連する文献や資料を調べ、それらを正確に読み解き、かつ批判的に考察する能力を養う。</p> <p>3 以上の成果をセミナー論文にまとめ、論文の書き方と読み方を身につける。</p>																																																																																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/7</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/14</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/21</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>4</td><td>4/28</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/12</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/19</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/26</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/2</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/9</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/16</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/23</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>12</td><td>6/30</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/7</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/14</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/21</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>16</td><td>9/15</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>17</td><td>9/22</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>18</td><td>9/29</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> <tr><td>19</td><td>10/13</td><td>11:10-12:00</td><td></td><td>面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/14	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	4/21	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	4/28	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/12	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/19	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	5/26	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/2	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	9	6/9	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	10	6/16	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	11	6/23	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	12	6/30	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	13	7/7	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	14	7/14	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	15	7/21	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	16	9/15	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	17	9/22	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	18	9/29	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	19	10/13	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																																																			
1	4/7	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
2	4/14	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
3	4/21	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
4	4/28	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
5	5/12	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
6	5/19	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
7	5/26	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
8	6/2	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
9	6/9	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
10	6/16	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
11	6/23	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
12	6/30	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
13	7/7	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
14	7/14	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
15	7/21	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
16	9/15	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
17	9/22	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
18	9/29	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			
19	10/13	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																																																																																			

20	10/20	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
21	10/27	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
22	11/10	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
23	11/17	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
24	11/24	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
25	12/1	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
26	12/8	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
27	12/15	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
28	12/22	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
29	1/12	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
30	1/19	11:10-12:00		面 一也, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
授業方法				
<p>セミナー形式で行なう。受講者は1人につき2回(個別セミナーと総括セミナーで1回ずつ)、セミナー論文の構想について報告が求められる。授業ではアクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、各構想について議論をするとともに、参考文献や構成等のアドバイスをを行なう。また授業後に、リアクション・ペーパーの提出を課す。</p>				
授業内容				
<p>第 1 回 イントロダクション:論文の基本的な書き方を中心に 第 2-7 回 セミナー論文の構想について報告、議論、アドバイス</p> <p>以上(第 1-7 回)を、個別セミナーと総括セミナーで、計 2 回行なう。</p>				
成績評価の方法				
<p>評価 : 試験 % ・ レポート 70% ・ その他(リアクション・ペーパー) 30%</p> <p>再評価: 有(レポート)</p>				
成績評価の基準				
<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>				
準備学習等についての具体的な指示				
<p>受講者は1人につき2回、セミナー論文の構想について報告が求められる。論文の草稿に相当するので、論理的に一貫性のある報告となるように準備すること。</p> <p>また、他の受講者の報告についても、議論への参加やリアクション・ペーパーによって、積極的な応答が求められる。どのようにすれば論文がよりよくなるか、という提案をお互に行なうことを通じて、論文の質を高めるようにしてほしい。</p>				
試験の受験資格				
<p>3分の1以上の欠席で、論文を提出する資格を失う。</p>				
教科書				
<p>教科書は用いず、必要に応じて文献や資料を配布する。</p>				
参考書				
<p>授業内で適宜指示する。</p>				
履修上の注意事項				
<p>出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が授業時にとる出欠とを併用する。</p>				

時間割番号	000807																																															
科目名	主題別人文社会科学セミナー(時間と人間)	科目 ID	LA-310207-Z																																													
担当教員	飯田 卓[IIDA SUGURU]																																															
開講時期	2022 年度通年	対象年次	3																																													
実務経験のある 教員による授業																																																
<p>曜日・時間:木曜3限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)人間の歴史的営みを理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 2-5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>本セミナーでは、時間の観点から人間について考察します。ただし、時間の存在を自明視するわけには行きません。例えば時間を「t」で表し、空間上の軌跡として捉えれば(時間の空間化)、こと足りるといったわけではありません。むしろまず問題にしなければならないのは、「t」で表したり微分操作をしたりする以前の時間であると言えるでしょう。また、人間の意識や行為から独立して時間が存在すると想定したうえで、そのような外在的時間が一方的に人間を規定・拘束する在り方を考察するだけでは不十分でしょう。時間の実在を認める立場には、常識的見方だけでなく、キリスト教における世界創造説、近代以降の大部分の自然科学、多くの人文・社会科学が含まれますが、むしろここでの目的は、そのような立場を批判的に吟味しながら、時間と人間について考察することにあります。</p> <p>時間を実体として捉えるのでもなく、主観や意識に還元するのでもなく、時間と人間について考察しようとするれば、時間の量的側面(物理的・客観的時間等)、または時間の質的側面(過去・現在・未来様相、体験時間等)の一方のみをもって時間の本質とみなしてしまうのではなく、両者の相互反映的な関係を問うことが求められるでしょう。すなわち、時間を二つ以上の出来事(変化・運動)の相関(例えば天体の運動・時計等と人間の意識・行為等との相関)と捉えた上で、両者を媒介するような意味というものに注目し、時間というものが、さまざまな社会・文化・歴史的状況に置かれた人間を経由してはじめてその時間的意味を獲得し(例えば目的・関心によって先取りされる未来との関わりが、「～するのに時間がない」「～までにまだ時間がある」という仕方では時間の実質と意味を与える)、同時にこのような仕方では構成された時間を背景(前提)として、人間(の時間構成)もまた成立するという、いわば自己言及的な循環から時間と人間との関係を考察する必要がある、ということです。時間という概念は、そのうちに人間の意識や行為を含んでいるのです。この意味で、時間への問いとは人間への問いでもあり、その解明の作業は同時に自己反省の作業となるはずでです。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>(1)変化・運動、継起、同時性、持続、流れ、同一性、瞬間、過去・現在・未来、連続性といった時間に関する基礎概念を身につける。 (2)時間を、出来事(変化・運動)と同一視するのではなく、二つ以上の出来事(とくに周期的な出来事)の相関のうちに捉える視点を身につける。 (3)人間の時間性について理解する。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>11:10-12:00</td> <td></td> <td>飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>11:10-12:00</td> <td></td> <td>飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>11:10-12:00</td> <td></td> <td>飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>11:10-12:00</td> <td></td> <td>飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>11:10-12:00</td> <td></td> <td>飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19</td> <td>11:10-12:00</td> <td></td> <td>飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26</td> <td>11:10-12:00</td> <td></td> <td>飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2</td> <td>11:10-12:00</td> <td></td> <td>飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/7	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	2	4/14	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	3	4/21	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	4	4/28	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	5	5/12	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	6	5/19	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	7	5/26	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫	8	6/2	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/7	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																												
2	4/14	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																												
3	4/21	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																												
4	4/28	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																												
5	5/12	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																												
6	5/19	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																												
7	5/26	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																												
8	6/2	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫																																												

9	6/9	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
10	6/16	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
11	6/23	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
12	6/30	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
13	7/7	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
14	7/14	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
15	7/21	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
16	9/15	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
17	9/22	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
18	9/29	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
19	10/13	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
20	10/20	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
21	10/27	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
22	11/10	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
23	11/17	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
24	11/24	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
25	12/1	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
26	12/8	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
27	12/15	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
28	12/22	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
29	1/12	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫
30	1/19	11:10-12:00		飯田 卓, 木谷 真紀子, 藤井 達夫

授業方法

演習形式、アクティブラーニング

授業内容

授業は演習形式で進めてゆきますので、各回とも受講者各自による発表・質問・ディスカッションが中心となります。前半(グループ別)では、受講者の興味・関心に沿って比較的平易な時間に関する文献をいくつか選び、それらを全員で講読します。具体的には受講者のあいだで分担(発表・質問担当)を決め、発表担当者には PowerPoint を用いて内容の要約と問題提起を行っていただきます。そして発表された内容をもとにディスカッションを行うという仕方でも進めてゆきます。後半(総括セミナー)では、各自の興味・関心にしたがって研究した成果を発表していただきます。

成績評価の方法

評価：試験 0% ・ セミナー論文 70% ・ その他(授業への参加度) 30%

再評価：有(セミナー論文再提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

配布された文献は、次回までに精読しておいてください。

教科書

とくに必要ありません。参考までに、これまでのセミナーで用いた文献(論文集)を一部挙げておきます。広中平祐・井上慎一・金子務[編]『時間と時——今日を豊かにするために』日本学会事務センター学会出版センター(2002年)、村上陽一郎[編]『東京大学教養講座 3 時間と人間』東京大学出版会(1981年)、向坊隆ほか『東京大学公開講座 時間』東京大学出版会(1980年)、伏見康治・柳瀬睦男[編]『時間とは何か』中央公論社(1974年)、渡辺慧・渡辺ドロテア『時間と人間』中央公論社(1979年)、田山忠行[編]『時を編む人間——人文科学の時間論』北海道大学出版会(2015年)、井上俊・上野千鶴子・大澤真幸・見田宗介・吉見俊哉[編]『岩波講座 現代社会学 6 時間と空間の社会学』岩波書店(1996年)、田島節夫・坂本賢三・市川浩・坂部恵・村上陽一郎[編]『講座現代の哲学 1 時間・空間』弘文堂(1977年)、大森莊蔵・滝浦静雄・中村雄二郎・藤沢令夫[編]『新岩波講座哲学 7 トポス 空間 時間』岩波書店(1985年)、小安増生・白井利明[編]『発達科学ハンドブック 3 時間と人間』新曜社(2011年)、橋本毅彦・栗山茂久[編]『遅刻の誕生——近代日本における時間意識の形成』三元社(2001年)、「別冊・数理科学 時間論の諸パラダイム」サイエンス社(2004年)等

参考書

教場にて適宜指示しますが、さしあたり以下の文献を挙げておきます。アリストテレス『アリストテレス全集 3 自然学』岩波書店(1987年)、H.ベルクソン『意識に直接与えられたものについての試論』ちくま学芸文庫(2002年)、E.フッサール『内的時間意識の現象学』みすず書房(1970年)、M.ハイデガー『存在と時間』岩波文庫(2013年)、E.ミンコフスキー『生きられる時間——現象学的・精神病理学的研究』みすず書房(1972年)、E.マツハ『時間と空間』法政大学出版局(2008年)、P.ホーウィッチ『時間に向きはあるか』丸善(1992年)、R.モリス『時間の矢』地人選書(1987年)、B.リベット『マインド・タイム——脳と意識の時間』岩波書店(2005年)、P.J.ズワルト『時間について』紀伊國屋書店(1980年)、G.J.ウィットロウ『時間 その性質』法政大学出版局(1993年)、J.メイザー『ゼノンのパラドックス——時間と空間をめぐる 2500年の謎』白揚社(2009年)、R.ペドヴィン『時間と空間をめぐる 12の謎』岩波書店(2012年)、B.アダム『時間と社会理論』法政大学出版局(1997年)、渡辺慧『時』河出書房新社(2012年)、大森荘蔵『時間と自我』青土社(1992年)、滝浦静雄『時間』岩波新書(1976年)、植村恒一郎『時間の本性』勁草書房(2002年)、入不二基義『時間は実在するか』講談社現代新書(2002年)、中島義道『「時間」を哲学する』講談社現代新書(1996年)、青山拓央『タイムトラベルの哲学』ちくま文庫(2011年)、野家啓一『物語の哲学』岩波現代文庫(2005年)、真木悠介『時間の比較社会学』岩波現代文庫(2003年)、今村仁司『近代性の構造——「企て」から「試み」へ』講談社選書メチエ(1994年)、木村敏『時間と自己』中公新書(1982年)、広井良典『生命と時間——科学・医療・文化の接点』勁草書房(1994年)、本川達雄『ゾウの時間 ネズミの時間』中公新書(1992年)、森田邦久編著『〈現在〉という謎——時間の空間化批判』勁草書房(2019年)、森田邦久『時間という謎』春秋社(2020年)、A.ハート=デイヴィス『時間の図鑑』悠書館(2012年)等

履修上の注意事項

コメントシートを配布し、出欠をとります。

東京医科歯科大学全学共通科目履修規則

〔平成16年4月1日〕
規則第217号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(授業科目の編成)

第2条 全学共通科目における授業科目は、次の4系をもって編成する。

- 自由教育講義系
- 自由教育実習系
- 自由教育セミナー系
- 基礎教育系

(授業科目及び単位数)

第3条 前条の各系に属する授業科目及び修得すべき単位数等は、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の授業科目及び修得すべき単位数等は、教養部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(1単位当たりの授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間
- (2) 実験及び実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

- (1) 学習目標を十分に満たすこと
- (2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

(履修届)

第5条 学生は、別に定める授業科目の中から、履修しようとする授業科目を所定の期日までに届け出なければならない。

(定期試験)

第6条 履修した授業科目については、試験を行う。

2 前項の規定にかかわらず、実験、実習を伴う授業科目又は試験を行うことが困難な授業科目等で、平常の学修の成果を評価して成績を与えることが適切と認められる場合には、試験によらず、指定した課題についての報告等をもって試験に代えることができる。

3 第1項の試験については、別に定める。

4 試験に合格したときは、所定の単位を与える。

(学習の評価)

第7条 履修した授業科目の成績については、別表2により学習の評価を行う。

2 前項の規定にかかわらず、前条第2項に該当する授業科目のうち、第1項により難しい場合の学習の評価は、別表3により行う。

3 第1項及び第2項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。

4 教養部長は、学習の評価の結果を学生に通知する。

(再履修)

第8条 前条により、「不可」又は「不合格」の評価を得た授業科目については、所定の手続きにより再履修することができる。

(懲戒)

第9条 教養部長は、懲戒に相当すると思われる行為があったときは、学則第58条に定める懲戒の手続きをとるものとする。なお、手続きについては別に定める。

(進級要件)

- 第10条 別表1(1)に定める単位をすべて修得しなければ、第2学年に進級することができない。
- 2 別表1(2)に定める単位をすべて修得しなければ、第3学年に進級することができない。
- 3 別表1(3)に定める単位をすべて修得しなければ、第4学年に進級することができない。
- 4 別表1(4)に定める単位をすべて修得しなければ、卒業することはできない。
- 5 全学共通科目の単位の認定については、教養部教授会の議を経て、教養部長がこれを行う。
- 6 教養部長は、前項の認定の結果について各学部長に通知する。
- 7 2年以内に、別表1(1)に定める単位をすべて修得することができない学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。ただし、当該期間には、休学の期間を算入しない。
- 8 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
- 9 第7項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、教養部長が再審議の必要性があると判断したときは、教養部長は、教務委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(歯学部口腔保健学科編入学生の履修)

第11条 学則第18条及び第18条の2に定める歯学部口腔保健学科編入学生の全学共通科目に係る履修については、別に定める。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、全学共通科目の履修に関する必要な事項は、教養部教授会が別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成16年3月31日に在学し、引き続き本学の在学者となったもの(以下「在学者」という。)及び平成16年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者の教育課程の履修については、この規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成18年3月31日規則第10号)

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)および平成18年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成20年3月31日規則第8号)

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日において現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成20年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表(1)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成21年3月19日規則第11号)

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成22年3月30日規則第40号）

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1、別表2及び別表3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第14号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年2月25日規則第3号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月4日規則第12号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日規則第72号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（平成29年3月31日規則第53号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成30年5月1日規則第31号）

この規則は、平成30年5月1日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

附 則（令和元年10月23日規則第 号）

この規則は、令和元年10月23日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

附 則（令和2年 3月31日規則第138号）

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

別表 1
(1)第 1 学年

授 業 科 目			修 得 す べ き 単 位 数					備 考	
			医 学 部			歯 学 部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学 専攻	検査技 術学専 攻		口腔保 健衛生 学専攻		口腔保 健工学 専攻
自由教育講義系	人文科学・社会科学	哲学Ⅰ						選択科目 1科目 2単位	
		哲学Ⅱ							
		倫理学Ⅰ							
		倫理学Ⅱ							
		心理学Ⅰ							
		心理学Ⅱ							
		宗教学Ⅰ							
		宗教学Ⅱ							
		芸術Ⅰ							
		芸術Ⅱ							
		歴史学AⅠ							
		歴史学AⅡ							
		歴史学BⅠ							
		歴史学BⅡ							
		民俗学Ⅰ							
		民俗学Ⅱ							
		科学史Ⅰ							
		科学史Ⅱ							
		文学AⅠ	8	8	8	8	8		
		文学AⅡ							
		文学BⅠ							
		文学BⅡ							
		法学Ⅰ							
		法学Ⅱ							
		政治学Ⅰ							
		政治学Ⅱ							
		経済学Ⅰ							
		経済学Ⅱ							
		社会学AⅠ							
		社会学AⅡ							
社会学BⅠ									
社会学BⅡ									
社会心理学Ⅰ									
社会心理学Ⅱ									
社会思想史Ⅰ									
社会思想史Ⅱ									
文化人類学Ⅰ									
文化人類学Ⅱ									

		Japanese Culture and Society I							
		Japanese Culture and Society II							
		グローバル教養科目(注1)							
		人文社会科学特論(注1)							
	自然科学	物理学入門	1 (注2)		1 (注2)	1 (注2)		選択科目	
		生物学入門							
		化学入門							
		数学Ⅰ	1		1	1		必修科目	
		物理学Ⅰ	1		1	1			
		数学Ⅱ	1 (注3)			1 (注3)		医学 科・歯 学科 は、選 択科 目。検 査技術 学専攻 は、必 修科 目。	
		物理学Ⅱ			1				
		統計学		1	1		1	必修科目	
		化学	2		2	2			
		化学基礎		1			1		1
		生物学	2		2	2			
		細胞生物学基礎		1			1		1
		人体の生物学基礎		1			1		1
自由教育実習系	外国語	英語	4	4	4	4	4	4	必修科目
		日本語(注4)							選択科目
		ドイツ語							
		フランス語	4	4	4	4	4	4	1科目 4単位
		中国語							
		スペイン語							
	自然科学	物理学実験	1			1			必修科目
		化学実験	1			1			
		生物学実験	1			1			
サイエンスPBL入門		1			1				

	科学基礎実験			1				看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻は、選択科目。検査技術学専攻は、必修科目。	
				1 (注5)					1 (注5)
		科学基礎演習							
		情報科学		1	1		1		1
	情報処理	1			1			必修科目	
保健 体育	スポーツ・健康科学	1	1	1	1	1	1	必修科目	
	フィットネスマネジメント	1	1	1	1	1	1		
自由 教育 セミナー系	共通 領域	共通領域セミナー科目	2	1	1	2	1	1	必修科目(具体的な科目名は、全学共通科目教育要項に定める。)
基礎 教育系	共通 領域	教養総合講座	1	1	1	1	1	1	必修科目
第1学年 小計			34	26	31	34	26	26	

(注)

- 1 詳細は、全学共通科目教育要項に定める。
- 2 医学部医学科、保健衛生学科検査技術学専攻及び歯学部歯学科の学生については物理学入門、生物学入門、化学入門のうちから1科目(1単位)を選択する。
- 3 医学部医学科及び歯学部歯学科の学生については数学Ⅱ、物理学Ⅱのうちから1科目(1単位)を選択する。
- 4 外国人留学生のみ履修できる。
- 5 保健衛生学科看護学専攻及び口腔保健学科の学生については科学基礎実験又は科学基礎演習のいずれか1科目(1単位)を選択する。